

ProGator 北米向け SelectSpray アタッチ メント

シリアル番号 HD200: 175001 ~
シリアル番号 HD300 : 155001 ~



JOHN DEERE

取扱説明書

HD200、HD300

OMUC34024 A6 版 (JAPANESE)

John Deere Turf Care

北米版
Printed in U.S.A.

概要

John Deere の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます

弊社はお客様に感謝し、末永く機械を安全に満足してご利用いただけるよう願っています。

MX00654,000020B-40-17SEP25

オペレータマニュアルの使用

作業を始める前に、安全に関する情報をはじめとしてオペレータマニュアルの内容を一通り確認してください。

OJ02005,000013D-40-01NOV12

機械の用途

この機械は、一般的な芝生の噴霧作業専用に設計されています。他の方法に使用すると、使用目的に反していると見なされます。

この機械は、有害物質から適切に保護するように設計された機械と共に使用してください。オペレータは適切な保護具を着用してください。

国の環境保護基準や法的要件の対象である農業用途にこの噴霧器を使用することは許可されていません。噴霧器の使用が許可されるかどうか不明な場合は、最寄りの管轄機関にお問い合わせください。

メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。また、メーカーの指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも使用目的の必須要素です。

本機の操作、整備および修理は、本機のすべての特性を理解し、関連する安全上の規則（事故の防止策）を熟知している者に限り行うことができます。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。

製造時の仕様を超える燃料供給の設定や出力の超過を行った場合、本機の保証対象外となる場合があります。

この機械を勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

MX00654,0000255-40-06DEC12

メッセージ

このマニュアルには、潜在的な安全上の懸念、機械の損傷に注意をうながす特殊なメッセージに加え、役に立つ運転情報や整備情報が掲載されています。すべての情報を注意深く読み、けがや機械の損傷を防止してください。



注意：けがを防止してください。この記号とテキストは、危険要素や手順を無視した場合に発生する可能性がある、オペレータや近くにいる人の潜在的な危険または死亡事故の可能性について強調しています。

重要：損傷を防止してください。このテキストは、機械の損傷の原因になる可能性があるオペレータの操作や条件を伝えるために使用されています。

注記：オペレータが機械を運転または整備するときに役立つ一般情報は、このマニュアル全体にわたって掲載されています。

MX00654,000020D-40-04AUG25

整備関連文書

この機械のパーツカタログやテクニカルマニュアルのコピーをお求めの場合は、次の John Deere Technical Information Store にアクセスしてください：

<https://techpubs.deere.com/>

または、次の連絡先までご連絡ください：

- **米国/カナダ：** 1-800-522-7448
- **その他の地域：** 最寄りの John Deere 販売店

TH84124,0000199-40-04AUG25

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<https://partscatalog.deere.com/jdrc/> にアクセスしてください。

TC00531,00000E9-40-04AUG25

目次

	ページ		ページ
製品識別		電気部品	15-2
製品の互換性	00-1	ポンプおよび油圧部品*	15-2
識別番号の記録	00-1	個人用洗浄タンク構成部品	15-2
		コントロールボックスの取り付け	15-2
安全ラベル (説明文あり)		シリンダサポートブラケット (HD300) の取 り付け	15-3
安全ラベルの位置	05-1	噴霧器の取り付け	15-3
機械の安全ラベルの意味	05-2	噴霧器電源ワイヤハーネスの取り付け	15-4
危険	05-2	コンソール配線用ワイヤハーネスの取付 け	15-7
警告	05-2	噴霧器タンク構成部品の取り付け	15-8
警告	05-3	噴霧器メインワイヤハーネスのコントロー ルボックスへの接続	15-9
注意	05-3	後部ワイヤハーネスの接続	15-10
警告	05-3	フレームクランプの取り付け	15-11
注意	05-4		
警告	05-4		
安全ラベル (説明文なし)		構成部品の概要	
安全ラベルの位置：噴霧器タンク	06-1	溶剤タンク	20-1
安全ラベルの位置：スプレーブーム (5.5 m (18 ft))	06-2	マニホールド (バルブスタック)	20-2
安全ラベルの位置：スプレーブーム (4.6 ~ 6.4 m (15 ~ 21 ft))	06-2	ポンプ	20-3
機械の安全ラベル (説明文なし) の意味	06-2		
飲料水によるけがの防止	06-3	コントロールの操作	
化学的危険によるけがの防止	06-3	デジタル手動コントロールボックス	35-1
タンクの中に入らない	06-3	自動比率制御ボックス	35-1
オペレータマニュアルを読む	06-3		
押し潰されてけがをする危険の防止	06-3	操作	
可動部品によるけがの防止	06-4	スプレー先端の操作	40-1
オペレータマニュアルを読む、可動部品に 近づかない、立入り禁止	06-4	スプレーチップの選択	40-1
動いているブームによるけがの防止	06-4	フラッド型スプレーチップ	40-1
ブームの旋回区域でのけがの防止	06-4	超低ドリフト型スプレーチップ	40-1
		フラットファン型スプレーチップ	40-2
		デジタル手動コントロールボックスの使用	40-2
		自動比率制御ボックスの使用	40-3
安全		自動比率制御ボックスの構成	40-6
作業機のオペレータマニュアルの安全に関 する注意事項の確認	10-1	自動レートコントローラ校正	40-9
噴霧器の安全な操作	10-1	FLO および PRS による調整	40-10
安全な駐車	10-1	自動比率制御ボックスでの散布量のプログ ラミング	40-10
薬剤の安全な混合および取り扱い	10-1	噴霧器の操作	40-12
薬剤の容器のラベルの確認	10-2	個人用洗浄水タンクの使用	40-13
化学製品の安全な取り扱い	10-2	噴霧器タンクの充填と排水	40-13
安全メンテナンスの慣行	10-2	三方弁の使用	40-14
適切な衣服の着用	10-2	攪拌機の使用	40-15
高圧流体の回避	10-3	スロットルバルブの調整	40-15
薬剤の適切な廃棄	10-3	システム逃し圧力の設定 (ダイアフラムポン プのみ)	40-15
廃棄物や薬剤の取り扱い	10-3	ブームウイングの使用	40-16
		ブームウイング延長部の使用 (4.6/6.4 m (15/ 21 ft) ブームのみ)	40-16
車両の準備		ブーム高さの調整	40-17
機械の準備	15-1	ブームウイングレベルの調整	40-18
コントロールユニット取り付けブラケット キットの部品	15-1	噴霧器の上昇および下降	40-19
タンク構成部品	15-1		

次のページへ

本文書は翻訳版です。このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、
発行時の情報に基づいています。予告なしに変更されることがあります。

ページ

輸送	40-19
----------	-------

取り外しと保管

取り外し前の作業機の準備	25-1
油圧ホースの切り離し	25-1
後部ワイヤハーネスの接続解除	25-1
サポートスタンドを使用しない噴霧器の取 り外し	25-1
オプションのサポートスタンドを使用した 噴霧器の取り外し	25-3
安全な保管	25-5
冬季準備と保管	25-5
保管からの復帰	25-6
コントロールボックスの取り外しと保管	25-7

取り付け

オプションのサポートスタンドを使用しな い作業機への噴霧器の取り付け	30-1
オプションのサポートスタンドのある機械 への噴霧器の取り付け	30-1

オプションのアタッチメントとキット

エダクターの使用	45-1
フォームマーカの使用	45-2
手動および電動ホースリールの使用	45-3
リンスタンの使用	45-4

整備

整備間隔：標準の装備	50-1
整備間隔：オプションの装備	50-1
部品	50-1
グリース	50-1
噴霧器の清掃	50-2
インラインストレナーの整備	50-4
噴霧器の出力の確認	50-4
電源ヒューズとアクチュエータブーム回路 遮断機の点検	50-4
メインシステムヒューズの点検	50-5
噴霧器とキットのヒューズの点検	50-5
ブームウィングスプリングのテンションの 調整	50-5
ブームウィングのピボットの潤滑	50-6
通気式フィルカバーの点検と清掃	50-6
フォームマーカキットの整備	50-7
グラウンドホイールの潤滑	50-10
ジャッキスタンドの潤滑	50-11
ホースリールの整備	50-11
ダイヤフラムポンプの整備	50-12
テスト流量計の取り付け	50-16

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用	55-1
SelectSpray HD200 HD300	55-1

仕様

HD200	60-1
オプション機器	60-1
ノズル流量	60-1
ダイヤフラムポンプの性能表	60-2
渦巻ポンプ性能表	60-3

John Deere 品質に関する声明

John Deere 品質	-1
---------------------	----

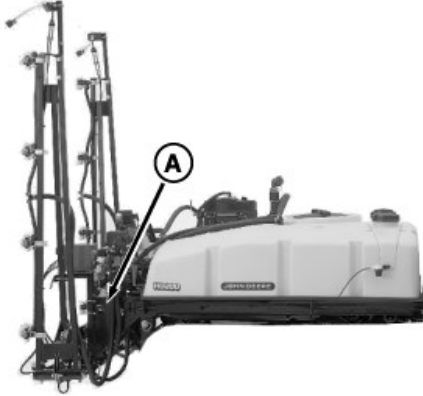
製品識別

製品の互換性

HD200 / HD300 噴霧器装置は、ProGator™ ユーティリティビークルと互換性があります。

OUO2005,0000141-40-16JUL15

識別番号の記録



TCT011753—UN—26NOV14

HD200 シリアル番号 (175001～)

HD300 シリアル番号 (155001～)

整備について詳しくは、認定サービスセンターにお問い合わせください。必ず製品のモデルとシリアル番号をお知らせください。

装置のモデルとシリアル番号を確認し、情報を以下の空欄に記録してください。

購入日：

販売店名：

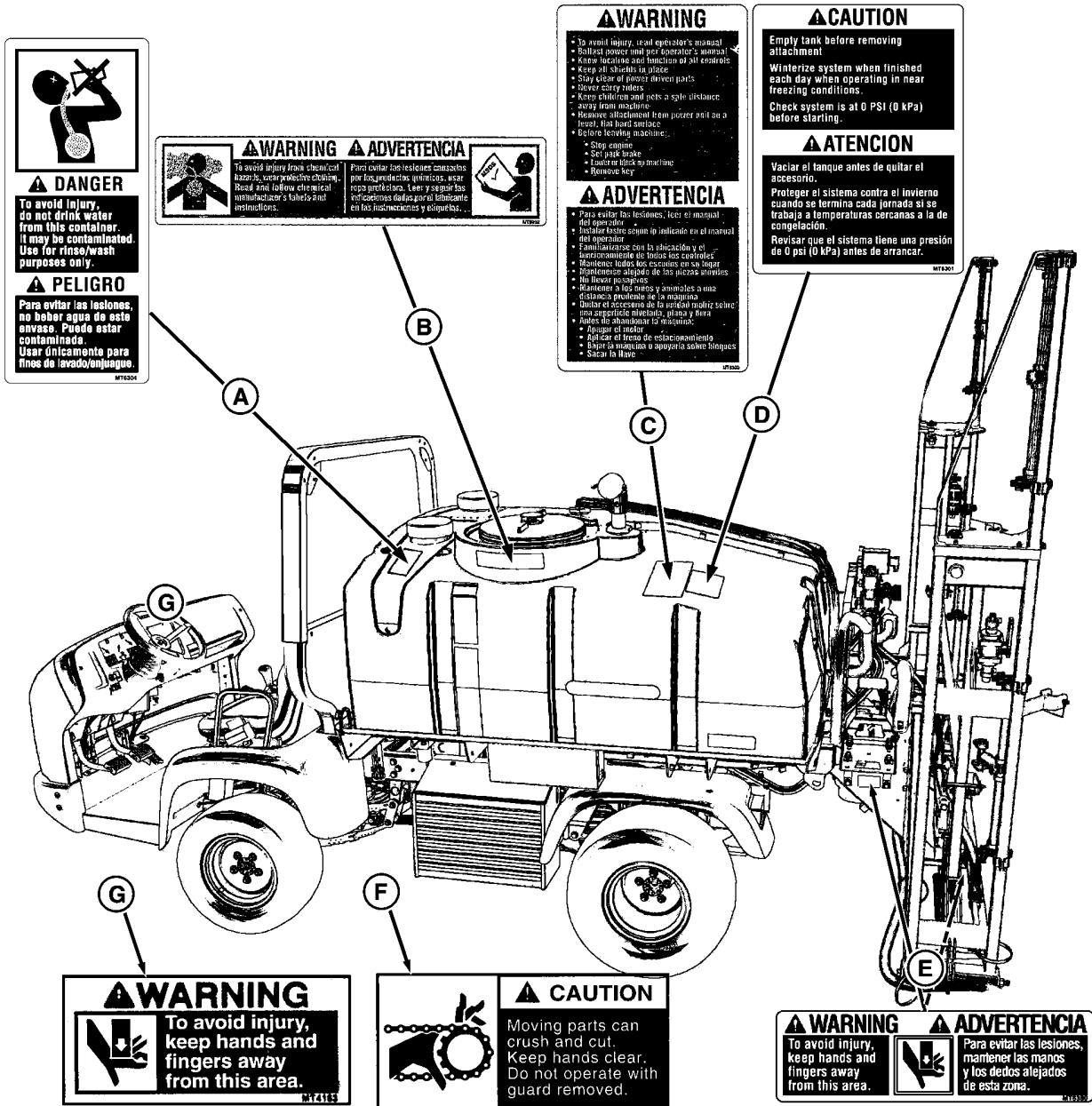
販売店電話番号：

製品シリアル番号 (A)：

YCWRHFR,1766982771547-40-28DEC25

安全ラベル (説明文あり)

安全ラベルの位置



A : 危険 MT6304
B : 警告 MT6302
C : 警告 MT6300
D : 注意 MT6301

E : 警告 MT6380
F : 注意 MX3605 (場所 : オプションのホースリールキット)
G : 警告 MT4163 (オプションの電動アクチュエータキット用)

TCT012261—UN—26JAN15

OUMX068.0000B0A-40-26JAN15

機械の安全ラベルの意味



MXAL42363—UN—22MAY13

このセクションに掲載している機械の安全ラベルは、安全に関わる潜在的な安全上の危険に対する注意を喚起するために機械の重要な部分に表示されています。「危険」または「警告」の安全ラベルは、特定の危険の近くにあります。

オペレータマニュアルでは、必要に応じて「注意」の文字と安全警告マークとともに特別な安全に関するメッセージを記載し、安全に関わる潜在的な安全上の危険についても説明しています。

お使いの機械の安全ラベルには、安全警告マークとともに「危険」、「警告」、および「注意」の文字が表示されています。「危険」では、ほとんどの重大な危険を特定しています。

- 危険：シグナルワード「危険」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う危険な状況を示しています。
- 警告：シグナルワード「警告」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。
- 注意：シグナルワード「注意」は、回避しなかった場合、人が軽度または中程度の傷害を負う可能性がある危険な状況を示しています。「注意」は、人が傷害を負う可能性がある事象に関連する危険な行為を警戒するためにも使用される場合があります。

なくなったり、損傷したりしている安全ラベルは交換してください。適切な安全ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを使用してください。

サプライヤから供給される部品については、この取扱説明書に掲載していない安全情報がさらに存在する可能性があります。

フランス語またはスペイン語の安全ラベルおよびオペレータマニュアル

この機械の取扱説明書および安全ラベルのフランス語版またはスペイン語版は、認定整備工場を通じて入手できます。最寄りの整備工場にお問い合わせください。

注記：テキストラベルおよびテキストなしラベルの両方を以下に示します。お使いの機械には、これらの種類のいずれかのラベルが貼付されています。

MP47322,00F4601-40-07JAN26

危険

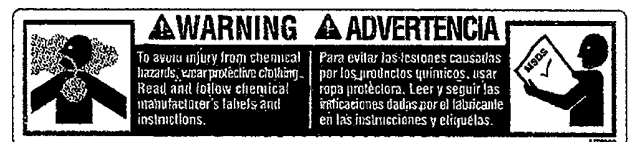


MT6304—UN—27NOV12

けがを防ぐため、この容器の水を飲まないでください。汚染されている場合があります。リンス / 洗浄専用の水です。

OUMX068,0000B12-40-26JAN15

警告



MT6302—UN—24NOV12

薬剤によるけがを防ぐために保護服を着用してください。薬剤メーカーのラベルおよび取扱説明書をお読みください。

OUMX068,0000B13-40-26JAN15

警告

⚠ WARNING

- To avoid injury, read operator's manual
- Ballast power unit per operator's manual
- Know location and function of all controls
- Keep all shields in place
- Stay clear of power driven parts
- Never carry riders
- Keep children and pets a safe distance away from machine
- Remove attachment from power unit on a level, flat hard surface
- Before leaving machine:
 - Stop engine
 - Set park brake
 - Lower or block up machine
 - Remove key

⚠ ADVERTENCIA

- Para evitar las lesiones, leer el manual del operador
- Instalar lastre según lo indicado en el manual del operador
- Familiarizarse con la ubicación y el funcionamiento de todos los controles
- Mantener todos los escudos en su lugar
- Mantenerse alejado de las piezas móviles
- No llevar pasajeros
- Mantener a los niños y animales a una distancia prudente de la máquina
- Quitar el accesorio de la unidad moltriz sobre una superficie nivelada, plana y dura
- Antes de abandonar la máquina:
 - Apagar el motor
 - Aplicar el freno de estacionamiento
 - Bajar la máquina o apoyarla sobre bloques
 - Sacar la llave

MT6300

MT6300—UN—24NOV12

- けがを防止するため、オペレータマニュアルをお読みください。
- オペレータマニュアルにしたがってパワーユニットをバラストしてください。
- すべてのコントロールの位置と機能を理解してください。
- すべてのシールドを所定の位置に取り付けてください。
- 動力で駆動されている部品には近づかないでください。
- 絶対に他の人を同乗させないでください。
- お子様やペットを作業機に近づけないでください。
- 動力装置から装置を取り外す場合は、水平で平らな硬い面の上で行ってください。
- 機械から離れる前に：

- エンジンを停止します。
- パーキングブレーキをかけてください。
- 作業機を下に降ろすかブロックしてください。
- キーを抜きます。

OUMX068,0000B14-40-26JAN15

注意

⚠ CAUTION

Empty tank before removing attachment.

Winterize system when finished each day when operating in near freezing conditions.

Check system is at 0 PSI (0 kPa) before starting.

⚠ ATENCION

Vaciar el tanque antes de quitar el accesorio.

Proteger el sistema contra el invierno cuando se termina cada jornada si se trabaja a temperaturas cercanas a la de congelación.

Revisar que el sistema tiene una presión de 0 psi (0 kPa) antes de arrancar.

MT6301

MT6301—UN—24NOV12

装置を取り外す前にタンクを空にしてください。

凍結条件で運転するときは、作業終了後に必ずシステムの防寒処置をしてください。

始動の前にシステムの圧力が 0 kPa (0 PSI) であることを確認してください。

OUMX068,0000B15-40-26JAN15

警告

⚠ WARNING

To avoid injury, keep hands and fingers away from this area.



⚠ ADVERTENCIA

Para evitar las lesiones, mantener las manos y los dedos alejados de esta zona.

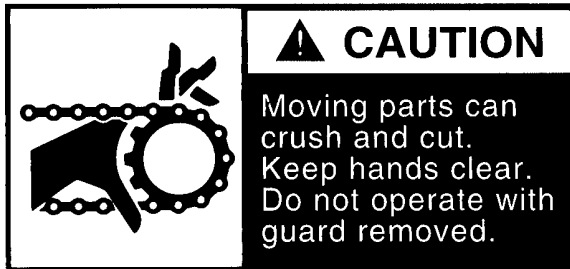
MT6380

MT6380—UN—24NOV12

けがを防止するため、この部分に手と指を近づけないでください。

OUMX068,0000B16-40-27JAN15

注意



MX3605—UN—24NOV12

オプションの電気ホースリールキットの場合

可動部品が当たると手を切るおそれがあります。手を近づけないでください。ガードを外した状態で作業しないでください。

MX00654,0000230-40-24NOV12

警告



MT4163—UN—24NOV12

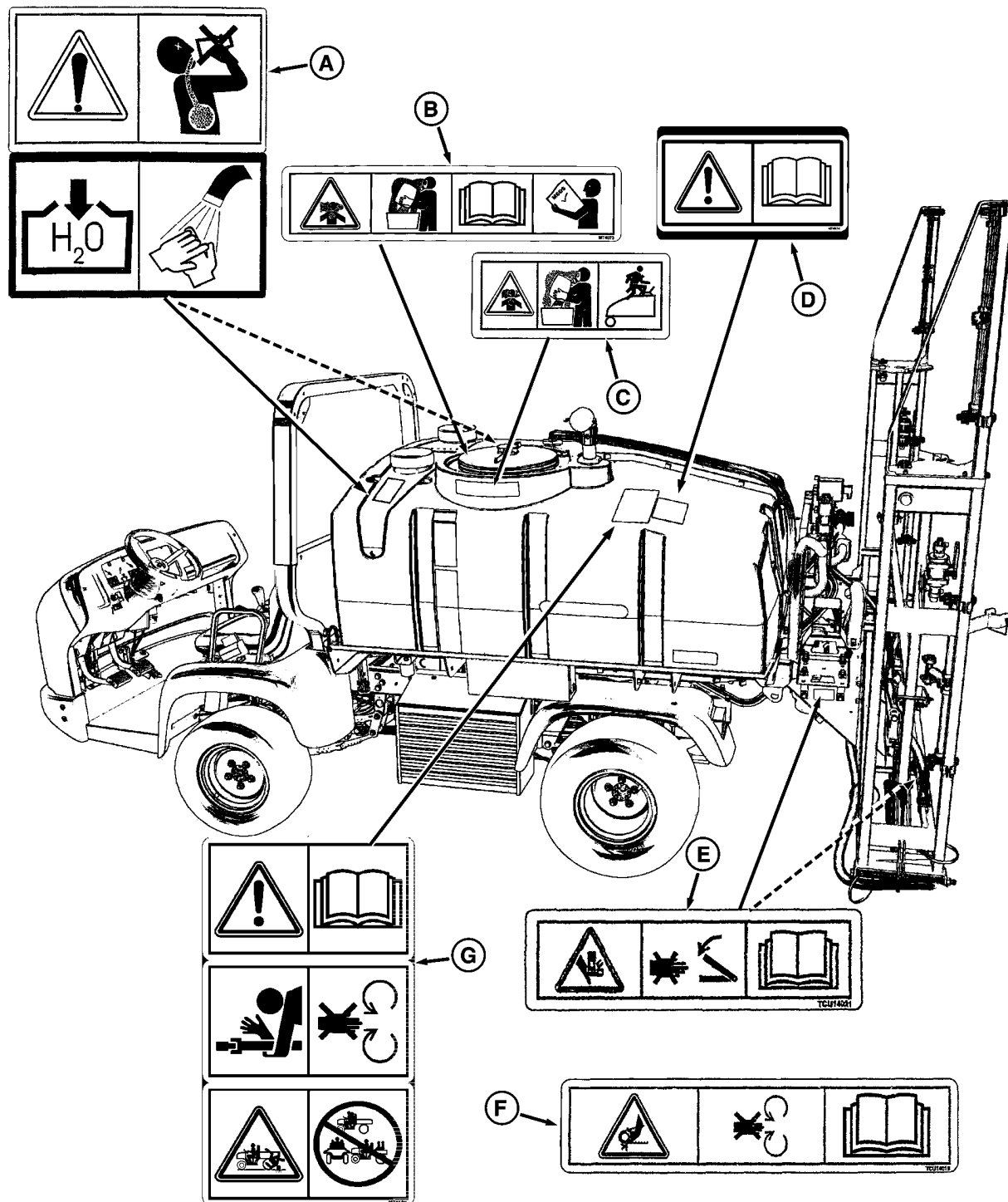
オプションの電動アクチュエータキット用です。

けがを防止するため、この部分に手と指を近づけないでください。

OUMX068,0000B17-40-27JAN15

安全ラベル (説明文なし)

安全ラベルの位置：噴霧器タンク



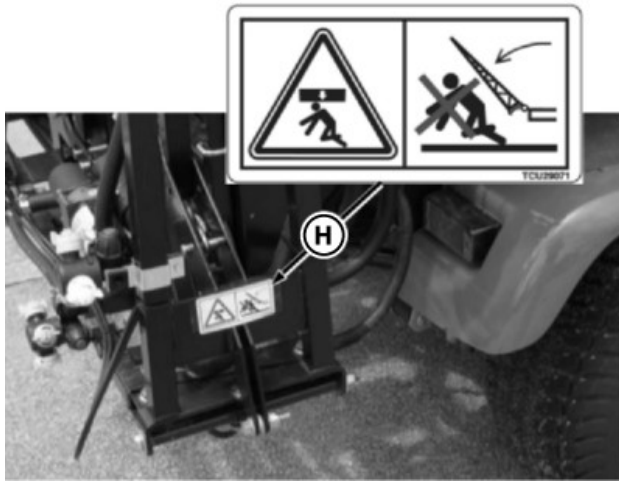
- A : 飲料水によるけがの防止 MT4295
 B : 化学的危険によるけがの防止 MT4072
 C : タンクの中に入らない MT6073
 D : オペレータマニュアルを読む MT4074

- E : 押し潰されてけがをする危険の防止 TCU14021
 F : 可動部品によるけがの防止 TCU14019
 G : オペレータマニュアルを読む、可動部品に近づかない、立入り禁止 TCU28908

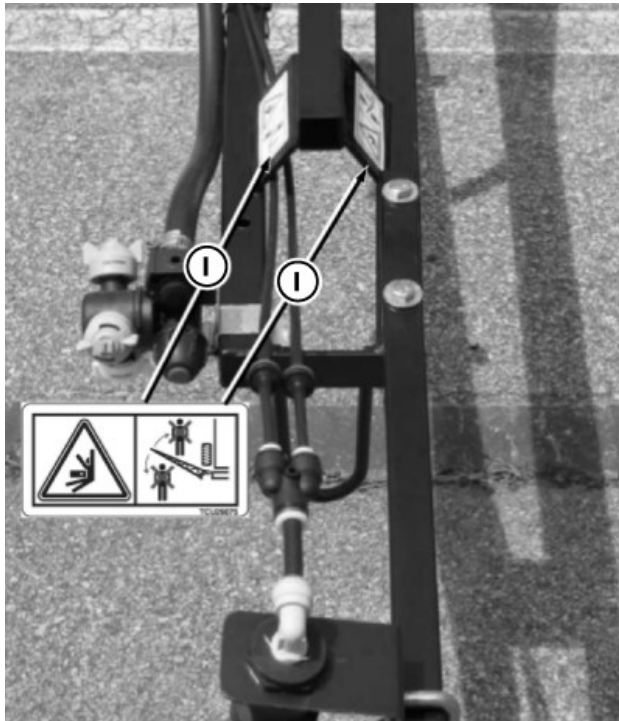
TCT012262—UN—26JAN15

OUMX068,0000B0B-40-27JAN15

安全ラベルの位置 : スプレーブーム (5.5 m
(18 ft))



TCT012263—UN—27JAN15

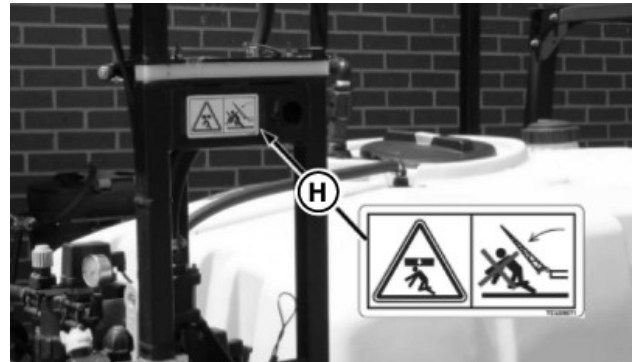


TCT012264—UN—27JAN15

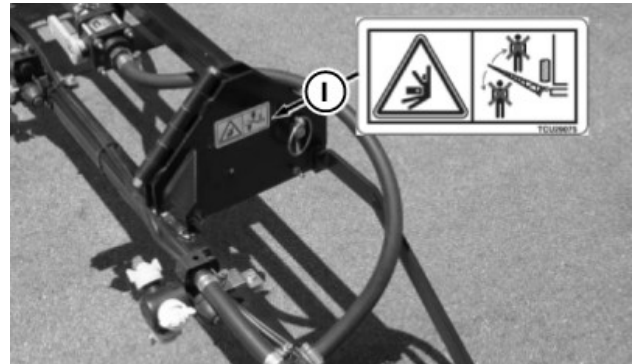
H : 動いているブームによるけがの防止 TCU29071
I : ブームの旋回区域でのけがの防止 TCU29075

OUMX068,0000B18-40-27JAN15

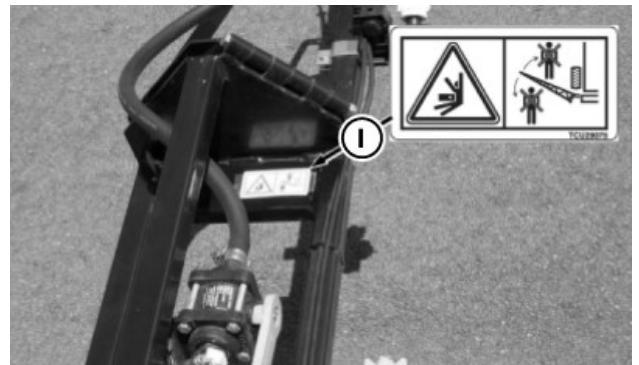
安全ラベルの位置 : スプレーブーム (4.6 ~ 6.4
m (15 ~ 21 ft))



TCT012265—UN—27JAN15



TCT012266—UN—27JAN15



TCT012267—UN—27JAN15

H : 動いているブームによるけがの防止 TCU29071
I : ブームの旋回区域でのけがの防止 TCU29075

OUMX068,0000B19-40-27JAN15

機械の安全ラベル (説明文なし) の意味



TCT005498—UN—11SEP12

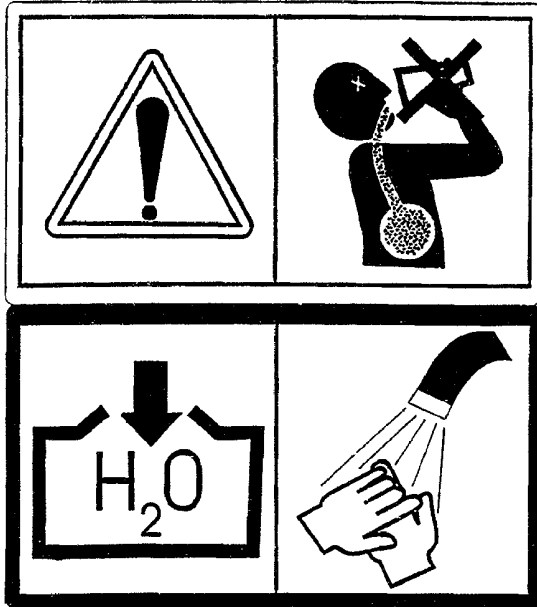
このセクションに掲載している機械の安全ラベルは、安全に関わる潜在的な安全上の危険に対する注意を喚起するために機械の重要な部分に表示されています。

お使いの機械の安全ラベルには、安全警告マークとともに「危険」、「警告」、および「注意」の文字が表示

示されています。「危険」は最も重大な危険要素を示します。

MX00654,0000389-40-01JAN26

飲料水によるけがの防止

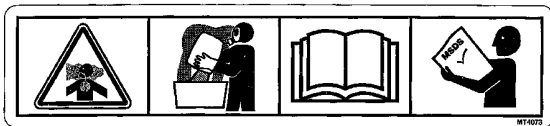


MT4295—UN—24NOV12

けがを防ぐため、この容器の水を飲まないでください。汚染されている場合があります。リンス / 洗浄専用の水です。

OUMX068,0000B0D-40-27JAN15

化学的危険によるけがの防止

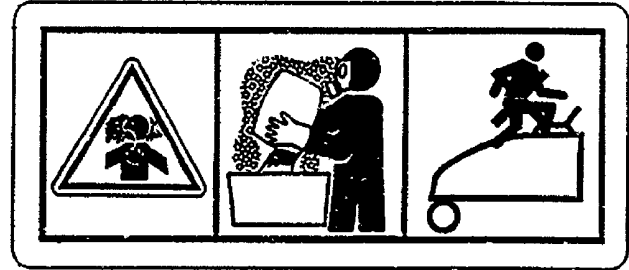


MT4072—UN—24NOV12

薬剤によるけがを防ぐために保護服を着用してください。薬剤メーカーのラベルおよび取扱説明書をお読みください。

OUMX068,0000B0E-40-27JAN15

タンクの中に入らない

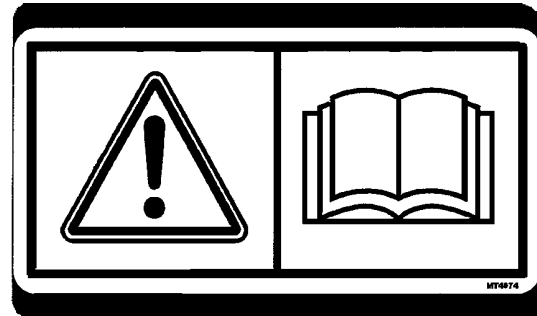


TCT012268—UN—27JAN15

化学的危険によるけがを防止するため、タンクの中に入らないでください。

OUMX068,0000B1D-40-27JAN15

オペレータマニュアルを読む



MT4074—UN—24NOV12

装置を取り外す前にタンクを空にしてください。

凍結条件で運転するときは、作業終了後に必ずシステムの防寒処置をしてください。

始動の前にシステムの圧力が 0 kPa (0 PSI) であることを確認してください。

OUMX068,0000B0C-40-27JAN15

押し潰されてけがをする危険の防止



TCU14021—UN—24NOV12

けがを防止するため、この部分に手と指を近づけないでください。

OUMX068,0000B10-40-27JAN15

可動部品によるけがの防止



TCU14019—UN—24NOV12

オプションの電気ホースリールに取り付けます。

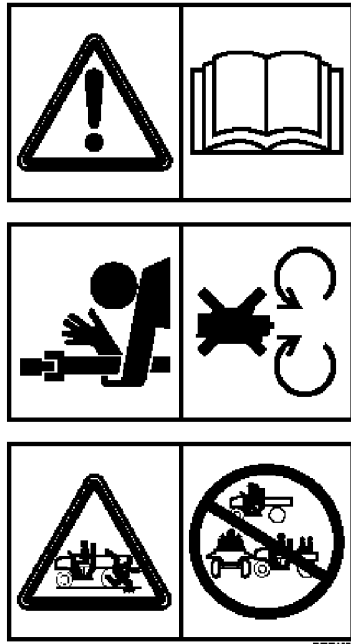
可動部分により押し潰され、切断される可能性があります。手を近づけないでください。ガードを外した状態で操作しないでください。

OUMX068,0000B11-40-27JAN15

- エンジンを停止します。
- パーキングブレーキをかけてください。
- 作業機を下に降ろすかブロックしてください。
- キーを抜きます。

OUMX068,0000B0F-40-27JAN15

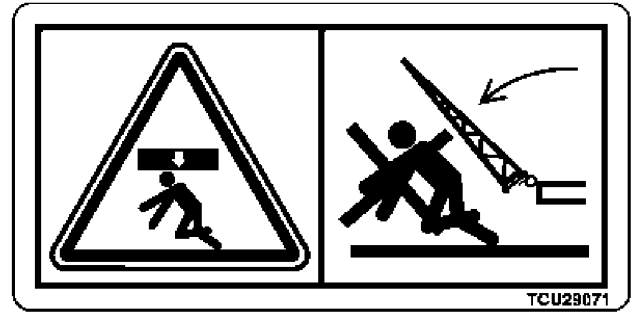
オペレータマニュアルを読む、可動部品に近づかない、立入り禁止



TCU28908—UN—15DEC12

- けがを防止するため、オペレータマニュアルをお読みください。
- オペレータマニュアルにしたがってパワーユニットをパラストしてください。
- すべてのコントロールの位置と機能を理解してください。
- すべてのシールドを所定の位置に取り付けてください。
- 動力で駆動されている部品には近づかないでください。
- 絶対に他の人を同乗させないでください。
- お子様やペットを作業機に近づけないでください。
- 動力装置から装置を取り外す場合は、水平で平らな硬い面の上で行ってください。
- 機械から離れる前に：

動いているブームによるけがの防止



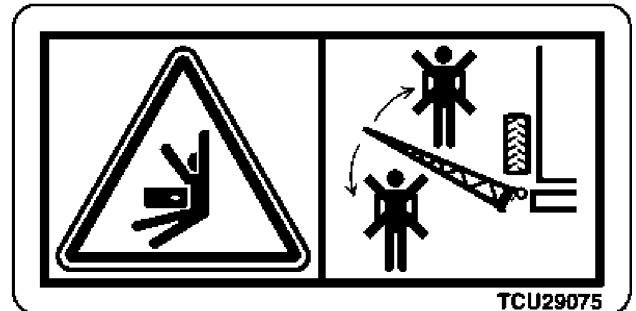
TCU29071

TCU29071—UN—13DEC12

けがを防止するため、動いているブームから離れてください。

OUMX068,0000B1E-40-27JAN15

ブームの旋回区域でのけがの防止



TCU29075

TCU29075—UN—13DEC12

けがを防止するため、ブームの旋回区域から離れてください。

OUMX068,0000B1F-40-27JAN15

安全

作業機のオペレータマニュアルの安全に関する注意事項の確認

お使いの作業機のオペレータマニュアルに記載されている安全な操作に関する注意事項全般を確認し、安全に関する情報の理解を深めてください。

MX00654.000020E-40-16NOV12

噴霧器の安全な操作

- 作業機とアタッチメントのオペレータマニュアルをよく読んでください。装置のコントロールと正しい使用法を一通り理解してください。作業機を停止する方法とコントロールをすぐに解除する方法を確認してください。
- お子様やトレーニングを受けていない人が作業機を操作しないようにしてください。
- 操作する前に必要な調整を行ってください。エンジンの動作中は、指示されない限りいかなる調整も行わないでください。
- 作業機を不在にする場合はすべての注意事項を守ってください。修理、調整または点検作業を行う前に、エンジンを停止してください。アタッチメントを下げ、パーキングブレーキをかけてエンジンを停止し、キーを抜いてください。
- 後退するまえに作業機の後方を確認してください。後退は慎重に行ってください。
- お子様をはじめとする他の人間を作業機やアタッチメントに乗せないでください。同乗者は異物に当たったり振り落とされてけがを負う可能性があります。また、同乗者はオペレータの視界を妨げるため作業機の安全運転が損なわれることがあります。
- 本製品のメーカーの承認を受けたアタッチメントとアクセサリのみを使用してください。
- 作業機が異常な振動を発生する場合は、エンジンを停止してただちに原因を調べてください。振動の発生は多くの場合何らかのトラブルを意味します。
- 本製品を長期間保管する場合は、必ずオペレータマニュアルの「保管」に関するセクションで重要事項の詳細を参照してください。
- 他の人やペットが作業領域に入らないようにしてください。付近に人が入ってきた場合は作業機を止めてください。
- 物と当たった場合は作業機を止めて点検を行ってください。修理を行ってから操作を始めてください。作業機は適切にメンテナンスし、正常な動作状態を維持してください。すべてのシールドとガードを所定の位置に取り付けてください。
- 噴霧器を使用する前後に必ず全体の点検を行ってください。システムを加圧する前に、すべての継手とホースがしっかり取り付けられていることを確認してください。ガードとシールドが良好な状態にあり、所定の位置に固定されていることを確認してください。操作する前に必要な調整を行ってください。
- 風が強い天候条件では噴霧器を絶対に使用しないでください。

- 噴霧器の充填、清掃または整備を行う前に、システム内の圧力を必ず解放してください。
- ノズルの先端や噴霧器の他の部品を口に付けて汚れを吹くようなことはしないでください。圧縮空気を使用してください。
- ユーティリティビークルのベッドに噴霧器を取り付けている場合は、噴霧器のタンクを満杯にした状態でベッドを上にはげないでください。整備作業や他の目的で上にはげる前に、一番下の充填ラインより下までタンクをドレンしてください。

MX00654.000020F-40-19NOV12

安全な駐車

- 車両は傾斜地ではなく水平な場所に止めてください。
- 下に下げることができるカーゴボックスや作業機、他のアタッチメントを、すべて完全に下まで下げてください。
- パーキングブレーキをロックします。
- エンジンを停止します。
- キーを取り外します。
- 運転席から離れる前に、エンジンとすべての可動部品が停止するまで待ってください。
- 作業機の整備を行う前に、マイナスのバッテリーケーブルを外すか、スパークプラグの配線を取り外してください (ガソリンエンジンの場合)。

MX00654.0000210-40-06DEC12

薬剤の安全な混合および取り扱い

- 薬剤を取り扱う際は完全防護の保護着を着用し、保護ゴーグルとゴム手袋でご自身を保護してください。
- 薬剤の容器のラベルに記載された指示事項に従ってください。
- 薬剤の容器は適切な工具で慎重に開けてください。
- 薬剤の注入、計量および混合はよく換気された場所で行ってください。
- 薬剤用に使用する機器はすべてその作業専用としてください。
- 薬剤を取り扱う場所では、喫煙、飲酒および食事をしないでください。
- 薬剤を撒くために噴霧器を使用した後は、石鹸水のシャワーを浴びることをお勧めします。
- 噴霧作業完了後、薬剤使用時に着用していた衣服はすべて別にして洗濯してください。

MX00654.0000211-40-16NOV12

薬剤の容器のラベルの確認

- 薬剤は危険です。間違った農薬を選択または使用すると、人、動物、植物、土壌、またはその他の資産を破損します。作業に合った正しい薬剤を選び、慎重に使用してください。
- 容器を開ける前に、容器のラベルに記載されている指示事項、注意事項、および警告を確認してください。製品を使用する際はラベルの指示に必ず従い、指定された使用用途、使用量、使用回数を守り必要時のみ使用してください。
- 混合時を除いて、容器をしっかりと閉じてください。
- 薬剤の容器からラベルをはがさないでください。薬剤はすべて元の容器で保管してください。
- 容器のラベルに記載されている組み合わせ以外の薬剤を混合しないでください。
- 薬剤を使用しない時は容器のラベルに従って保管してください。

MX00654,0000212-40-16NOV12

化学製品の安全な取り扱い

- 有害な化学薬品に直接さらされると、深刻な障害を引き起こすことがあります。John Deere 社製装置と併用されると有害な薬剤には、殺虫剤、除草剤、殺菌剤などが含まれます。
- 安全データシート (SDS) は、化学製品に関する具体的な情報を提供します：物理的危険や健康上の危険、安全手順、緊急時の対処方法が記載されています。
- SDS は薬剤の購入時に薬剤販売店から入手する必要があります。
- 有害な薬剤を使用する作業を開始する前に、SDSを確認してください。どんな危険があるか、そして作業を安全に行う方法を正確に理解してください。推奨される身体保護装置を常に装着してください。

MX00654,0000213-40-13DEC19

安全メンテナンスの慣行

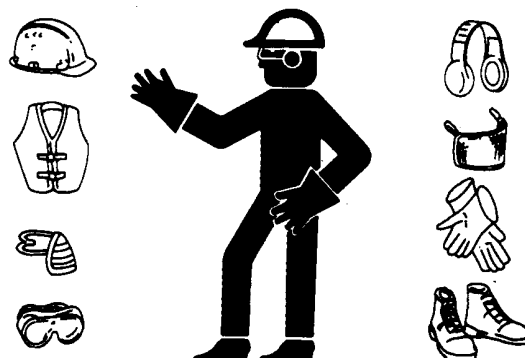
- 資格を備えた、十分なトレーニングを受けた成人作業員に限りこの作業機の整備を行ってください。
- 作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。作業域を清潔で乾いた状態に保ってください。
- 危険な一酸化炭素が溜まるような限られたスペースでエンジンを動作させないでください。
- 作業機が動いている間は、絶対に作業機やアタッチメントの潤滑、整備または調整を行わないでください。安全装置を所定位置に配置し、動作状態を維持してください。金具の締め付けを維持してください。
- 可動部品に巻き込まれないように、手、足、衣服、装飾品および長い髪を近づけないでください。
- アタッチメントを整備する前に、アタッチメントを

地面まで、あるいは既存のアタッチメントの機械ストッパまで完全に下げてください。すべての電源を外してエンジンを止めてください。パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。作業機を冷ましてください。

- バッテリーを外すかスパークプラグの配線を外してから (ガソリンエンジンの場合)、修理作業を行ってください。
- 作業機やアタッチメントを整備する前に、油圧部品やスプリング等のエネルギーを貯めた部品から慎重に圧力を解放してください。
- アタッチメントや切断装置を地面または機械ストッパまで下げて油圧を解放し、油圧コントロールレバーを動かしてください。
- 整備作業で持ち上げる必要のある作業機またはアタッチメントの要素をしっかりと支えてください。必要であればジャッキスタンドや固定用整備ラッチで構成部品を支えてください。
- パーキングブレーキをロックするまでエンジンを絶対に動作させないでください。
- すべての部品を良好な状態、および正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗、または破損している部品は交換してください。摩耗または損傷している安全ステッカーと指示ステッカーをすべて交換してください。
- すべての金具を頻繁に点検し、装置の安全な動作条件を維持してください。
- 作業機や安全装置を改造しないでください。作業機やアタッチメントに対して許可されていない改造を行うと、機能や安全性能に影響するおそれがあります。

MX00654,0000214-40-16NOV12

適切な衣服の着用



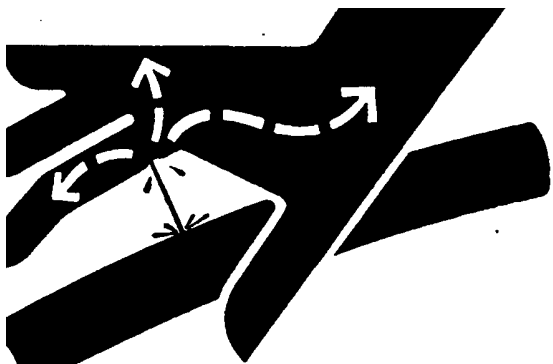
TS206—UN—15APR13

- ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。
- 操作条件によっては、車両の操作中にオペレータと同乗者が適切な安全具を着用する必要があります。作業機を操作する前に、経験済みの状況や発生する可能性がある状況に対して十分に準備してください。

- 現地の安全規制により、保護メガネやヘルメット等の追加安全具の着用が求められる場合があります。
- 必ず厚手の靴と長ズボンを着用してください。裸足やサンダル履きで装置を操作しないでください。
- 薬剤を取り扱ったり噴霧器を使用する際は、適正な服装と安全器具を着用してください。使用する薬剤については SDS を参照し、適正な身体保護装置を使用しているか確認してください。

MX00654,0000215-40-13DEC19

高圧流体の回避



X9811—UN—23AUG88

- 物理的な損傷、ねじれ、経時変化および暴露により油圧ホースやラインが破損する場合があります。ホースやラインを定期的に点検してください。損傷しているホースやラインは交換してください。
- 作動油の接続部は物理的な損傷や振動により緩む可能性があります。定期的に接続部を点検してください。緩んだ接続部を締め付けます。
- 圧力のかかった液体が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをする恐れがあります。油圧パイプや他のパイプを外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかりと締めてください。
- ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。
- 事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A) から入手可能です。米国およびカナダでこの情報を得るには、1-800-822-8262 までお電話ください。

MX00654,0000216-40-16NOV12

薬剤の適切な廃棄

- 余った噴霧剤を適切に処理することは非常に重要です。タンクの溶液が余った場合は、水で希釈して以前に散布した場所に使用するのが最善です。

- 溶液をドレンや湖または川に絶対に廃棄しないでください。
- 薬剤の容器は、噴霧器のタンクに洗浄水を追加して3回洗い流す必要があります。空の薬剤容器を燃やさないでください。容器はリサイクル施設で廃棄してください。

MX00654,0000217-40-16NOV12

廃棄物や薬剤の取り扱い

使用済みのオイル、燃料、クーラント、ブレーキ液、バッテリーなどの廃棄物は環境および人にとって有害です。

- 飲料容器を廃液に使用しないでください。誤飲の恐れがあります。
- 廃棄物のリサイクルや処分の方法については、現地のリサイクルセンターまたは認定取扱店にお問い合わせください。
- 製品安全データシート (MSDS) は、化学製品に関する具体的な情報を提供します。物理的危険や健康上の危険、安全手順、緊急時の対処方法が記載されています。各機械で使用されている薬剤製品の販売業者はその製品の MSDS を提供する責任があります。

OUO2005,0000224-40-16AUG13

車両の準備

機械の準備

機械の要件

お使いの機械は、噴霧器ポンプ運転用の補助油圧キットを装備している必要があります。機械が PTO コントロールレバーを装備している場合は、機械後部の 2 本のクイックカプラー、補機タンク、オイルクーラー、補助キットが取り付けられています。

HD300 PrecisionSprayer アタッチメントを使用する場合は、追加の部品や改造が必要です。

- 4 ポストロップス
- タイヤ圧を 110 kPa (16 psi) に調整します。

組み立ての準備

1. 機械を安全に駐車します。
2. 機械の取扱説明書の指示に従って、カーゴボックスを取り外します。
3. 油圧リフトまたは後部ピボットを使用するアタッチメントを取り外します。

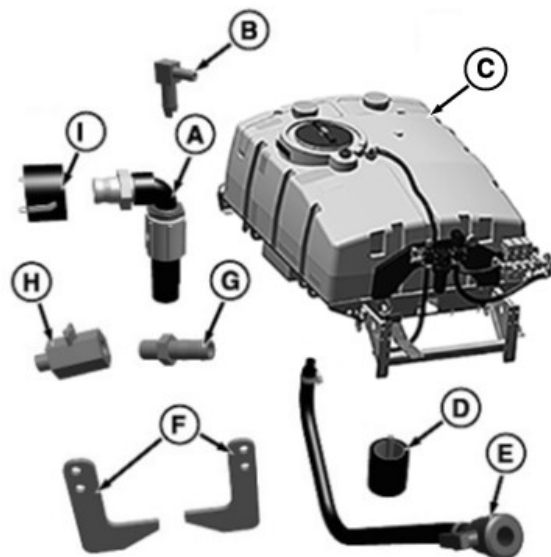
MX00654,0000219-40-09MAY18

コントロールユニット取り付けブラケットキットの部品

数量	説明
1	ブラケット、コントロールボックス取り付け
1	ブラケット、ラムマウント
1	ブラケット、アーム、ラムダブルソケット
1	マウント、ラム U ボルト
2	座金、丸
2	ナット、六角 M6 ナイロック
2	ねじ、フランジ付き M6

MX00654,0000258-40-30OCT19

タンク構成部品



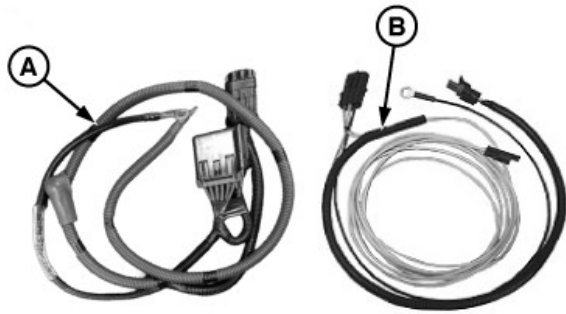
TC102021—UN—06JUL21

数量	説明
1	アセンブリ、フィラー (A)
1	継手、バープホース、1/4 in. (B)
1	タンクアセンブリ、噴霧器 (C)
2	ダウンストップ (55 mm) (D)
1	ホースアセンブリ、タンクドレン (E)
2	クランプ、フレーム (F)
1	継手、バープ、1/2 MPT x 3/8 HB (G)
1	バルブ (H)
1	キャップ、ダスト (I)
1	ブラケット、サポート*
6	ナット、ナイロック、M10
6	ボルト、六角、M10x35
1	座金、平形、M26
1	クランプ、ホース、1/2 in.
1	エルボ、1/2 FTP x 1/2 MPT
1	ホース、3/8 in. x 12 in.
1	ホース、透明
4	クランプ、ホース、3/8 in.
2	ボルト、M6x60*
2	ロックナット、M6*
3	J クリップ
1	エルボ、ねじ付き、90 度
1	エルボ、ホースバープ、90 度

*モデル HD300 専用部品。

KJ60627,0001014-40-08JUL21

電気部品

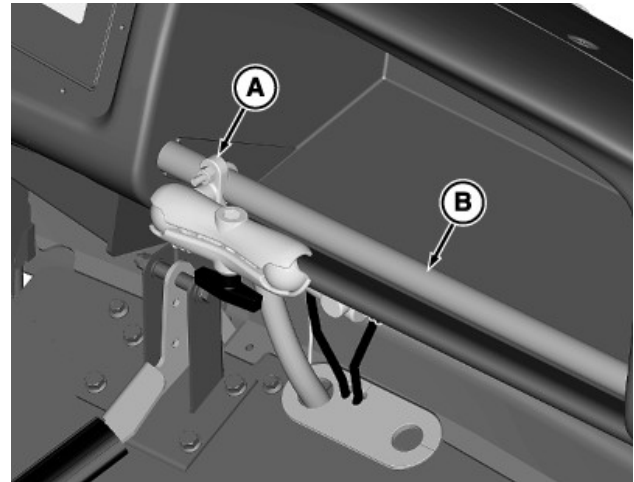


TC699120—UN—24DEC25

数量	説明
1	電源ワイヤハーネス (A)
1	コンソール用ワイヤハーネス (B)
8	結束ストラップ

YCWRHFR,1766982942769-40-28DEC25

コントロールボックスの取り付け ブラケットの取り付け



TCT016280—UN—06SEP18

1. アーム (A) を ProGator™ グローブボックスバー (B) に取り付けます。

ポンプおよび油圧部品*

数量	説明
1	継手、エルボ
2	ホースアッセンブリ、油圧
1	ボールバルブ、三方
3	継手、アダプタ
1	ダストキャップ、赤
1	ダストキャップ、黄
1	ホース、1 in. 直径
2	クイックコネクター、オス
2	クランプ、ホース

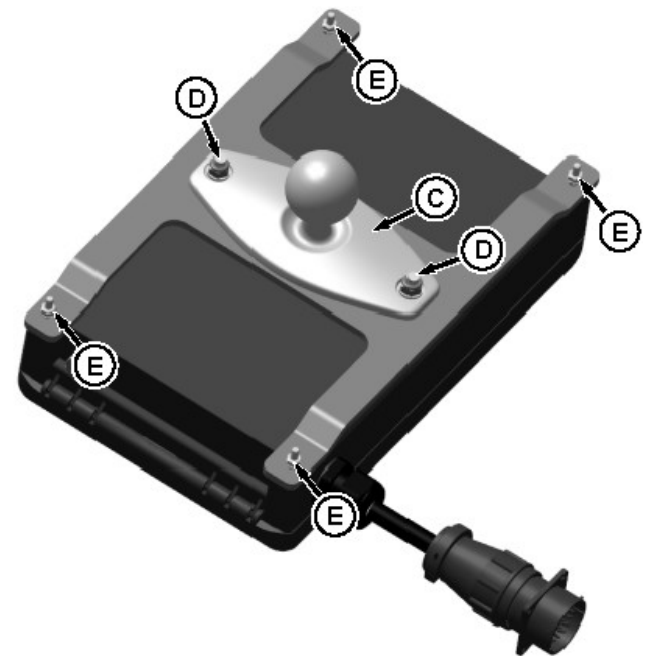
*ポンプは別のキットに付属しています。

MX00654,0000242-40-22OCT19

個人用洗浄タンク構成部品

量	説明
1	エルボ
1	ボールバルブ
1	ホースバンプ
1	ホース
1	ホースクランプ

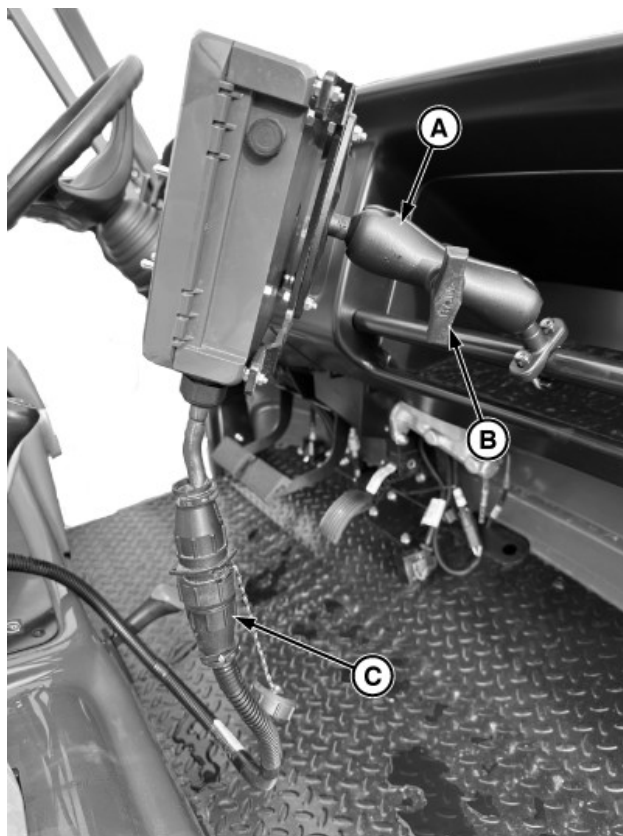
OUO2005,0000149-40-16NOV12



TC101311—UN—27OCT19

2. フランジ付きボルト 2 本 (D)、座金、ロックナットを使って、ボールマウントブラケット (C) をコントロールボックスブラケットに取り付けます。
3. 既存のコントロールボックスのスタッドボルトと付属のナット 4 個 (E) を使って、コントロールボックスをコントロールボックスブラケットに取り付けます。

コントロールボックスの取り付け



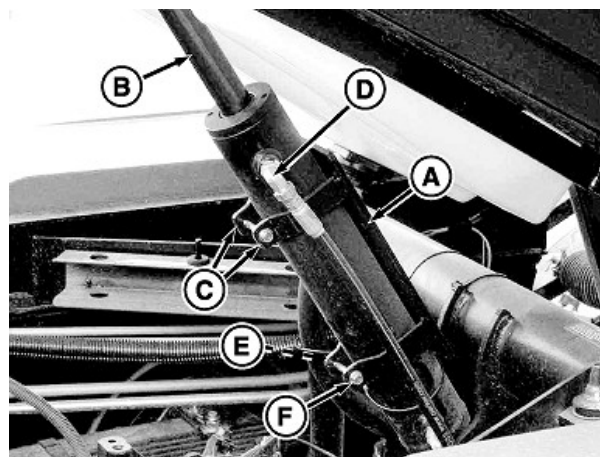
TC699122—UN—24DEC25

1. ボールマウントブラケットをアームソケット (A) に取り付けて、必要な向きに調整してノブ (B) を締め付けます。
2. ワイヤハーネス (C) を接続します。

YCWRHFR,1766982992554-40-30DEC25

シリンダサポートブラケット (HD300) の取り付け

注記：噴霧器のタンクを取り付ける前に、シリンダサポートブラケットを取り付けることを推奨します。



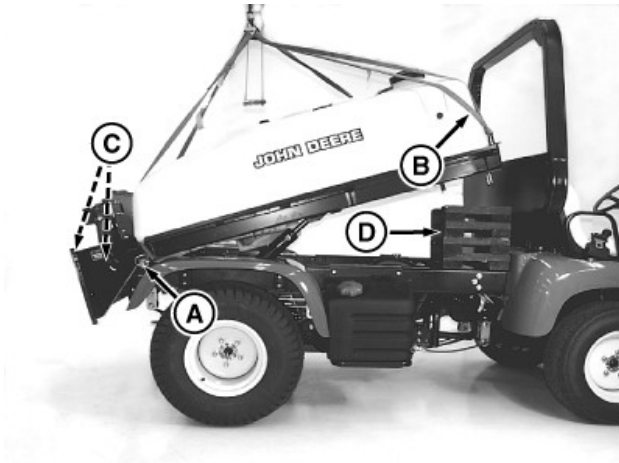
TCT005980—UN—19NOV12

1. リフトシリンダを十分伸長させてサポートブラケット (A) をシリンダのロッド (B) 上でスライドさせます。
2. サポートブラケットをシリンダのロッドの上に取り付けます。
3. サポートブラケットの 2 つの溝 (C) をシリンダの上側の油圧ホース (D) と整列し、サポートブラケットをシリンダのベース上でスライドさせます。
4. 2 個の M6 X 60 ボルト (E) と 2 個の M6 ロックナット (F) を緩く取り付けます。
5. サポートブラケットの平面をタンクに向け、シリンダの末端から約 6 cm (2 1/2 in.) になるように位置を調整します。留め具をしっかり締め付けます。
6. タンクを上下に移動させてサポートブラケットと噴霧器のフレームの間のクリアランスを確認します。必要に応じてサポートブラケットの調整を行います。

OUC2005,000014B-40-19NOV12

噴霧器の取り付け

⚠ 注意： けがをしないでください。機械の部品やアタッチメントは重量があります。構成部品やアタッチメントの吊り上げ、取り付けまたは取り外しをするために適切な耐荷重を持つ安全なリフト装置を使用してください。



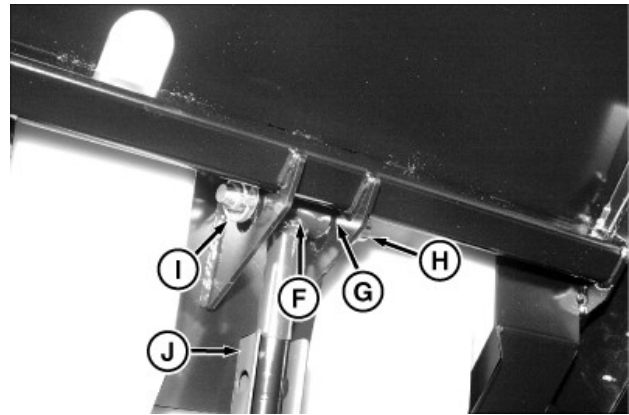
TCT004616—UN—20AUG12

1. 装置がホイスティングで釣り合うように、噴霧器にリフトストラップまたはチェーンを取り付けます。リア側の取り付け穴 (A) には直接接続しないでください。
2. リフトストラップを噴霧器のフレームのフロント側にあるリフトループ (B) に取り付けます。
3. フレームの後部 (C) の周りにストラップを取り付けます。
4. 作業機のフレームと噴霧器のフレームの間に安全スタンド (D) を取り付けます。
5. 図のように、タンクまたはフレームを作業機の上まで持ち上げます。



TCT004617—UN—07AUG12

6. 作業機後部の取り付け穴を整列してピボットピン (E) を取り付けます。ピボットピンをクイックロックピンで固定します。



TCT004618—UN—07AUG12

7. リフトシリンダのロッドエンド (F) の穴とフレーム (G) の穴を整列します。接続ピン (H) を取り付け、M26 平座金とスプリングロックピン (I) で固定します。
8. ロッドエンドと油圧シリンダの間から安全スタンド (J) を取り外します。安全スタンドを作業機の保管場所に設置します。
9. 噴霧器からホイスを外し、リフトシリンダのレバーでタンクを下まで完全に下げます。

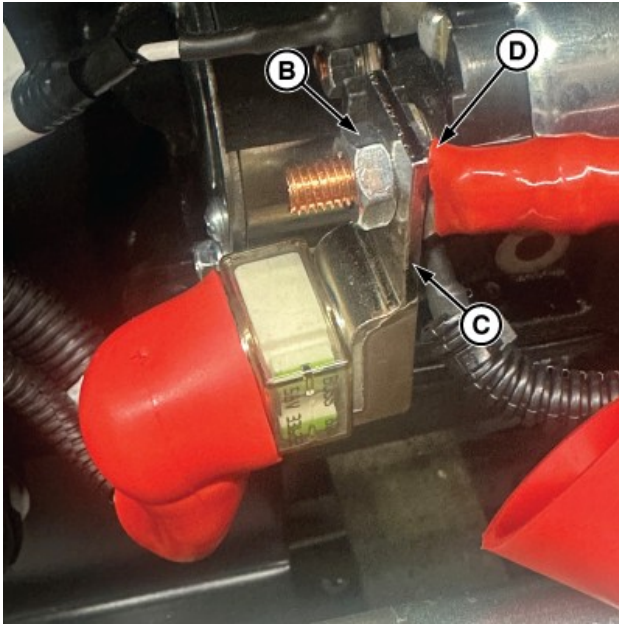
MX00654,0000252-40-05DEC12

噴霧器電源ワイヤハーネスの取り付け



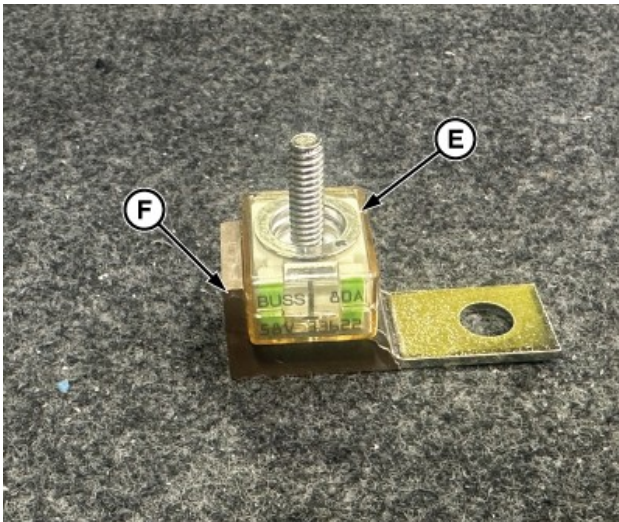
APY597556—UN—24OCT23

1. 赤いブーツカバー (A) を取り外して、ロックナット (B) を露出させます。



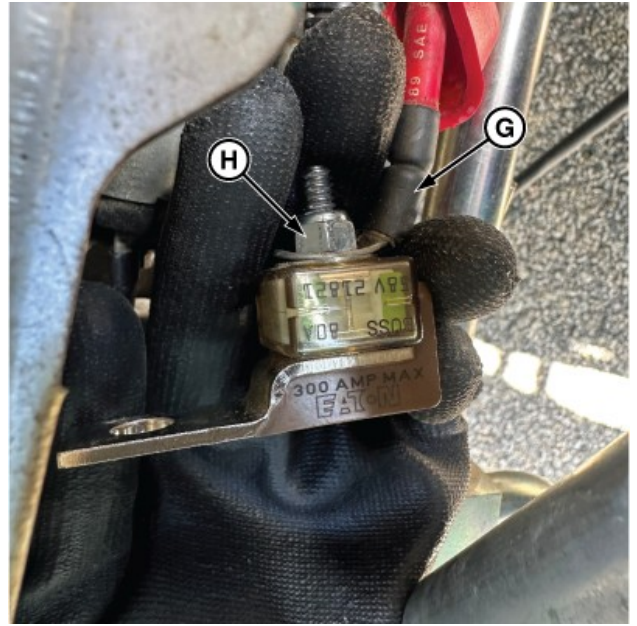
APY597557—UN—24OCT23

2. ナット (B) をスタータから緩めて取り外します。
3. バスバー (C) と赤いバッテリーケーブル (D) をスタータから取り外します。



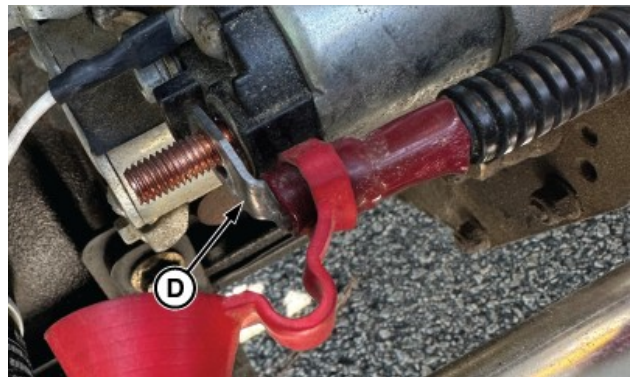
APY597532—UN—20OCT23

4. ヒューズ (E) をバスバー (F) に取り付けます。



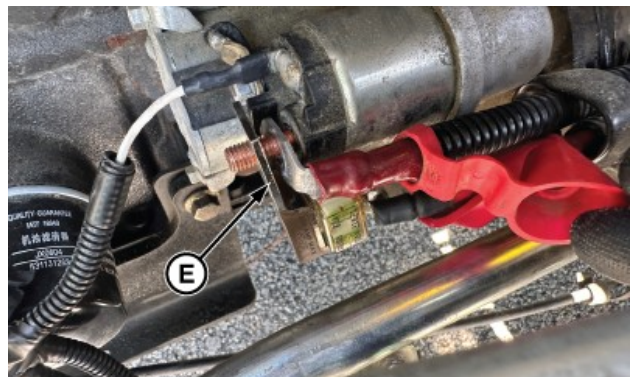
APY597533—UN—20OCT23

5. 噴霧器電源ワイヤハーネスの赤いケーブル (G) のリングターミナルをバスバー (E) に取り付けます。
6. ロックナット (H) をバスバーアセンブリに取り付けて締め付けます。



APY597534—UN—20OCT23

7. 赤いバッテリーケーブル (D) のリングターミナルをスタータソレノイドターミナルに取り付けます。



APY597535—UN—20OCT23

8. バスバー (E) を噴霧器電源ワイヤハーネスから、ヒューズが ProGator の後部に向いている状態で、スタータソレノイドのターミナルに配置します。



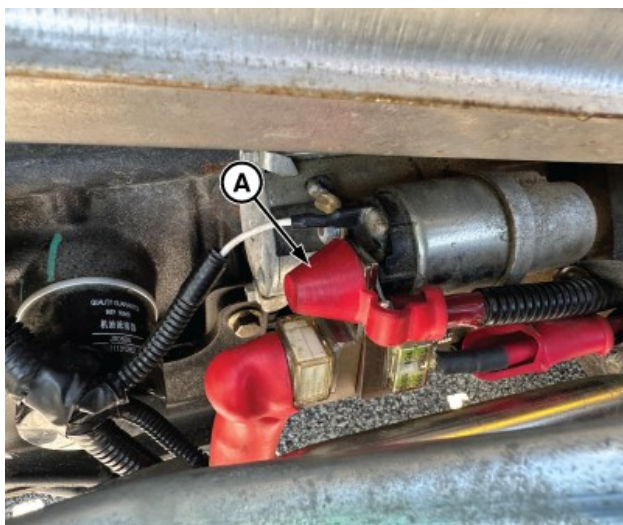
APY597536—UN—20OCT23

9. バスバー (C) を ProGator ワイヤハーネスから、ヒューズが ProGator の前部に向いている状態で、スタータソレノイドのターミナルに配置します。



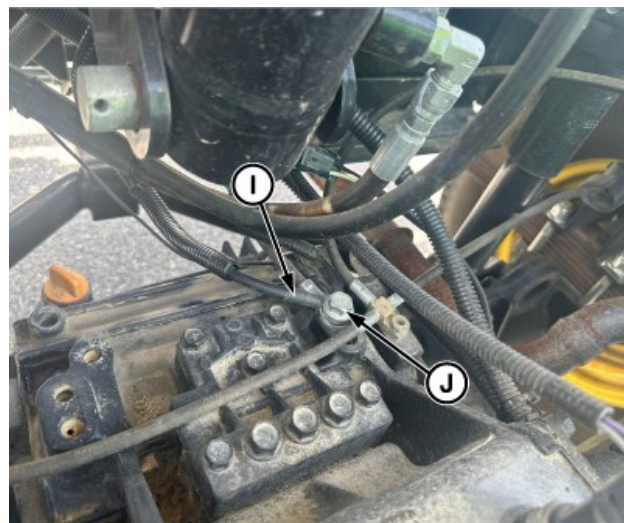
APY597537—UN—20OCT23

10. ロックナット (B) を取り付けて締め付けます。



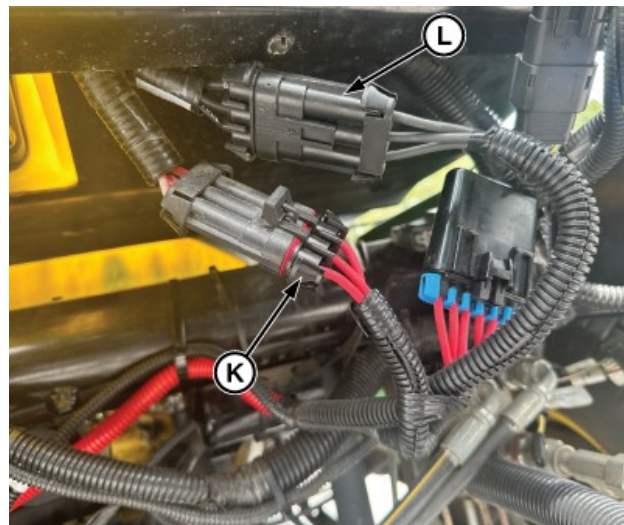
APY597538—UN—20OCT23

11. 赤いブーツカバー (A) をスタータソレノイドの上に配置します。



APY597539—UN—20OCT23

12. 噴霧器電源ワイヤハーネスの黒いアースケーブルのリングターミナル (I) をトランスアクスルアースボルト (J) に取り付けます。



APY597540—UN—20OCT23

13. オスの電源ワイヤハーネスコネクタ (K) とメスの接地 (L) を、噴霧器のメインワイヤハーネス上にある適合する接続部に接続します。



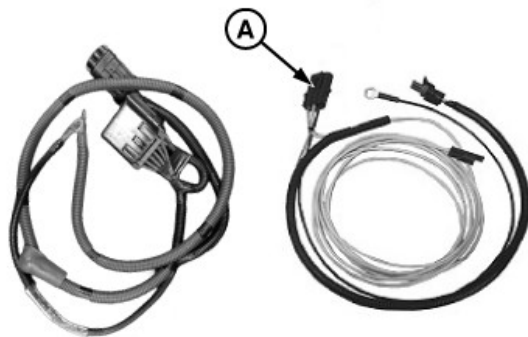
APY597541—UN—20OCT23

14. スプレー電源ワイヤハーネスの赤いケーブル (M) を、バッテリーケーブル (N) に沿ってスタートソレノイド (O) まで送ります。ケーブルは損傷の危険源から離して送り、リテイナで固定します。

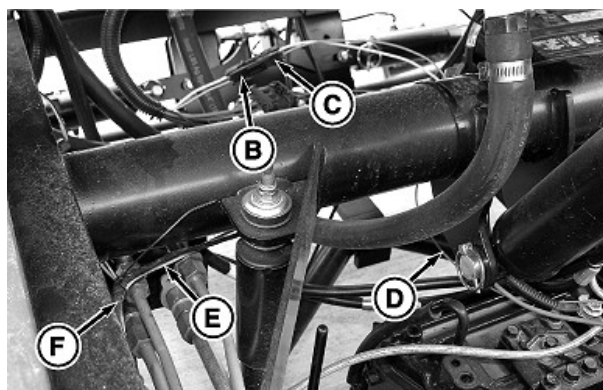
gvg6119,1698053267310-40-24OCT23

コンソール配線用ワイヤハーネスの取り付け

注記： 正面ワイヤハーネスの3 配線コネクタ (A) は、オプションの自動比率制御キットで使います。

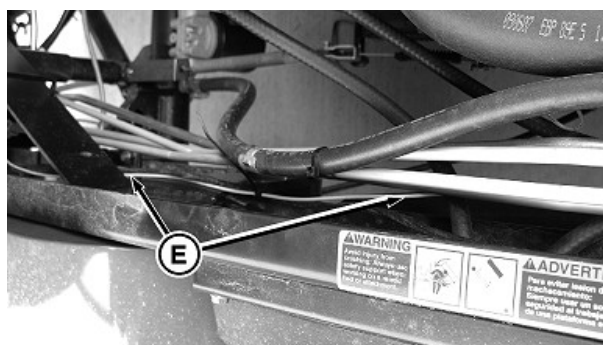


TC699121—UN—24DEC25



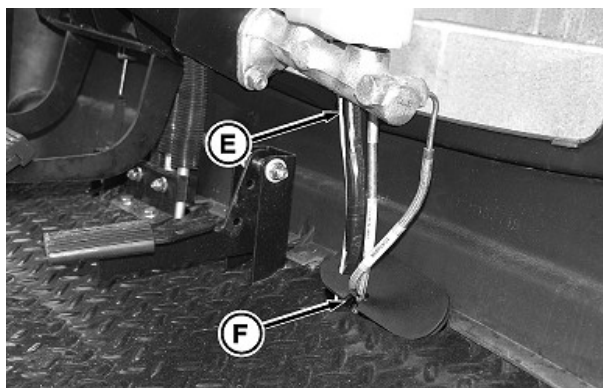
TCT005988—UN—19NOV12

1. 噴霧器メインワイヤハーネスのピンクと黄色の配線コネクタ (B) をコンソールワイヤハーネスのピンクと黄色の配線コネクタ (C) に接続します。
2. コンソールワイヤハーネスのピンクワイヤ (D) をトランスアクスル越しに送ります。
3. コンソールワイヤハーネスの黄色ワイヤ (E) を、右側フレームレールに沿って機械ワイヤハーネス (F) に送ります。



TCT005989—UN—19NOV12

4. コンソールワイヤハーネスの黄色ワイヤ (E) を、機械ワイヤハーネスの内部右側フレームレールに沿って前方に送ります。



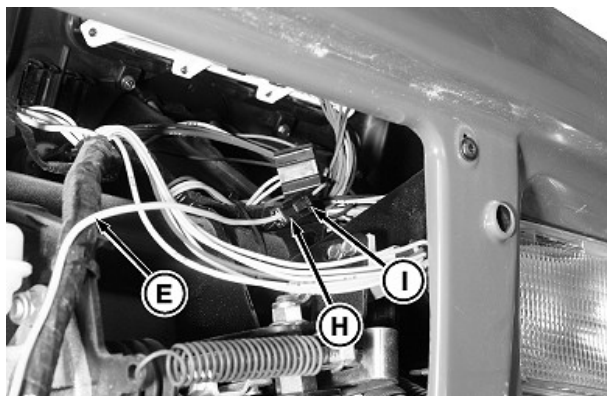
TCT005990—UN—19NOV12

5. 黄色ワイヤ (E) をキャブフロアの下に機械ワイヤハーネスに沿って、またキャブフロア前端にある開口部 (F) に通して送ります。



TCT005991—UN—19NOV12

6. タブのグリル (G) を握って外側に引き、フロントグリルを取り外してワイヤハーネスにアクセスできるようにします。



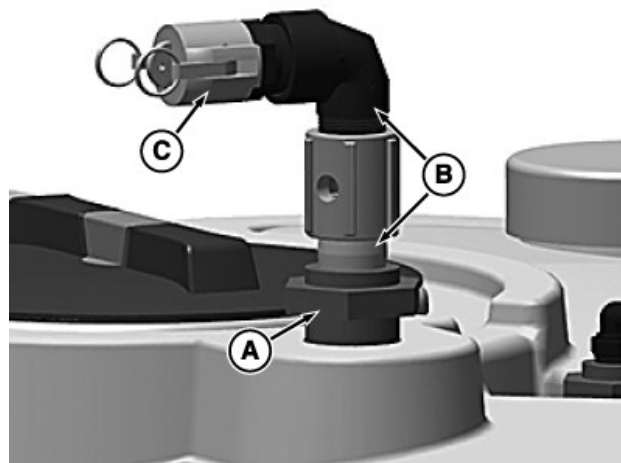
TCT005992—UN—19NOV12

7. 黄色ワイヤ (E) をダッシュボードの下の機械ワイヤハーネスに沿って上方に送ります。
8. 黄色ワイヤ上のコネクタ (H) を機械ワイヤハーネスコネクタ (I) に取り付けます。
9. 取り付けたワイヤをワイヤタイで固定します。
10. グリルを元に戻します。

YCWRHFR,1766983104402-40-30DEC25

噴霧器タンク構成部品の取り付け

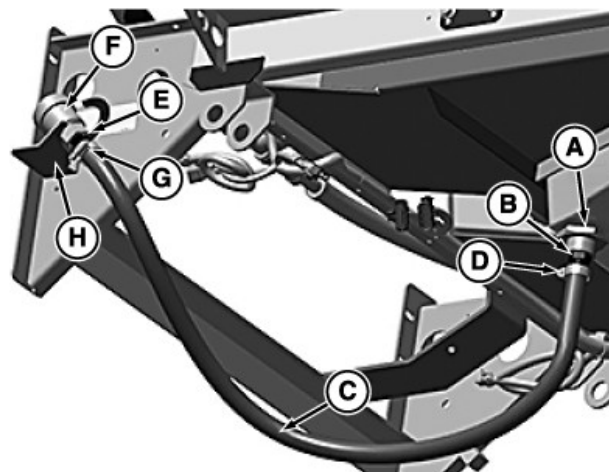
注記： 最良の結果を得るためには、すべてのねじ継手に耐薬品性パイプシーラントを塗布します。



TC102022—UN—13JUL21

1. プラスチック製保護キャップをタンク上側の注入口 (A) から取り外して廃棄します。
2. フィラーチューブ (B) を注入口にねじ込みます。図のようにクイックカプラー開口部をタンクの左側に向けて完全に締め付けます。
3. ダストキャップ (C) を取り付けます。

タンク排液ホース

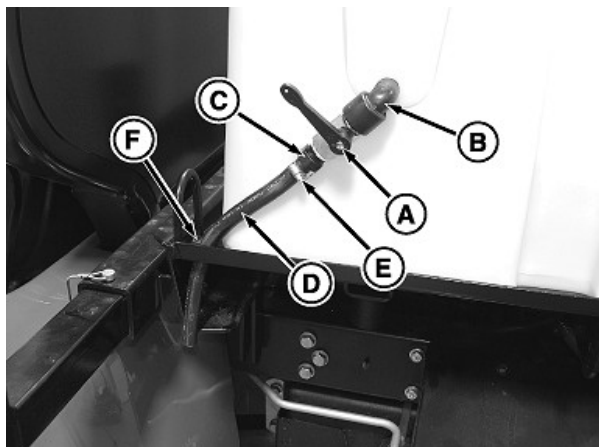


TC102023—UN—13JUL21

1. タンクを上げて適切に保持し、タンクドレン (A) にアクセスします。
2. ねじシーラントを継手に使用して、ストレート 3/4 in ホースバープをタンクドレン (A) への NPT ねじ継手 (B) に取り付けます。
3. ドレンチューブ (C) をストレートホースバープ継手 (B) に取り付け、ホースクランプ (D) で固定します。
4. ねじシーラントを継手に使用して、2 番目の 3/4 in ホースバープをドレンバルブ (F) への NPT ねじ付き継手 (E) に組み付けます。
5. ホースクランプ (G) を使用して、ドレンチューブ (C) を 2 番目のストレートホースバープ継手 (E) に固定します。
6. ドレンホースを機械のリアフレームの下に通し、図

のようにドレンバルブ (F) をクレードル (H) の中にセットします。

個人用洗浄水タンクホース



TCT005995—UN—19NOV12

1. ボールバルブ (A) をエルボ (B) に取り付けます。
2. ホースバーブ (C) をボールバルブに取り付けます。
3. 図のようにエルボアセンブリを噴霧器洗浄水タンクの左前隅にあるねじ穴に取り付けます。
4. ホースクランプ (E) でホース (D) をホースバーブに取り付けます。
5. ホースを噴霧器フレームの穴 (F) に通して取り回します。

KJ60627,0001015-40-13JUL21

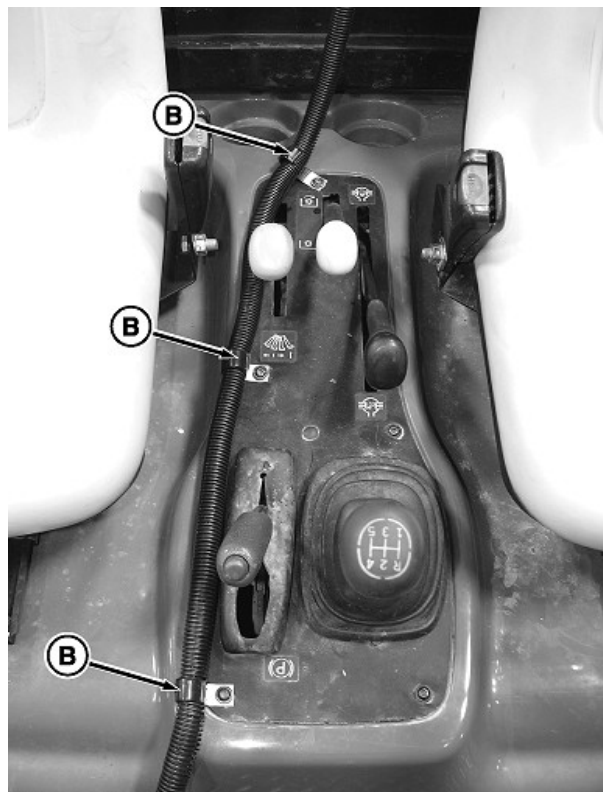
噴霧器メインワイヤハーネスのコントロールボックスへの接続



TCT005996—UN—19NOV12

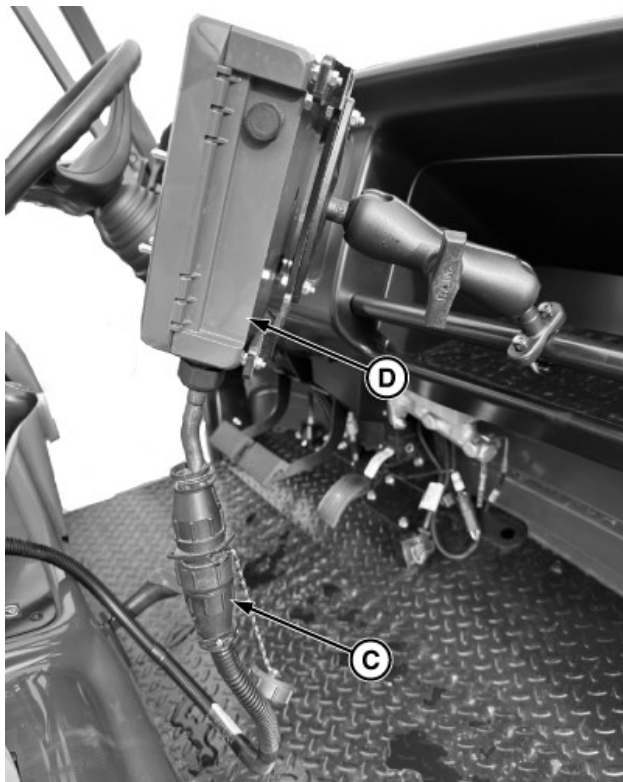
1. メイン噴霧器ワイヤハーネス (A) のセクションを噴霧器フレームの側面に保持しているタイストラップを取り外します。

2. ワイヤハーネスを噴霧器と機械の間に、そしてROPS フレームの下半分のプレート上に送ります。



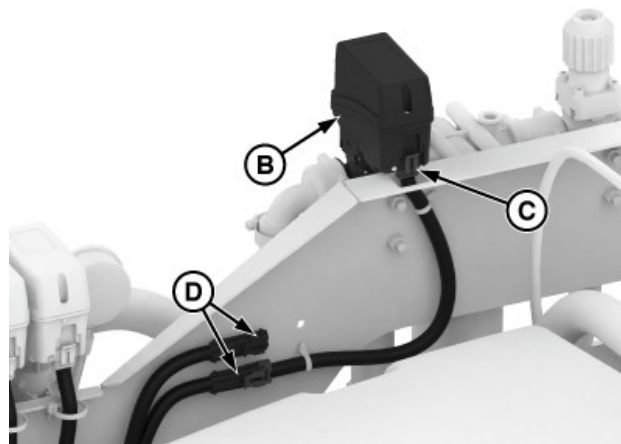
TCT005997—UN—19NOV12

3. 中央コントロールパネルのネジに J クリップ (B) を取り付けます。
4. ワイヤハーネスを J クリップに取り付け、機械の前面に送ります。
5. ワイヤハーネスコネクタ (C) をコントロールボックス (D) に接続します。



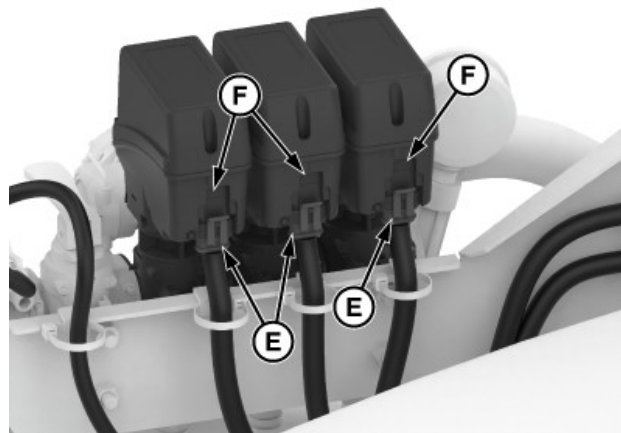
TC699123—UN—30DEC25

YCWRHFR,1766983171641-40-30DEC25



TC699124—UN—24DEC25

2. シングルジャンパーワイヤハーネスコネクタ (C) をマスターソレノイドバルブ (B) に接続します。
3. コントロールボックスの種類に応じて、手動レートまたは自動レート機能用のコネクタ (D) にシングルジャンパーワイヤハーネスの他端を接続します。



TC699125—UN—24DEC25

4. 複数のワイヤハーネスコネクタ (E) を、左から右へ正しい順序でブームソレノイドバルブ (F) に接続します。
 - a. 長いソレノイドリード線を外部ソレノイドに接続します。
 - b. 中央ソレノイドリード線を中央ソレノイドに接続します。
 - c. 短いソレノイドリード線を内部ソレノイドに接続します。
5. オプションの噴霧器機器が備わっている場合は、この時点で、必要な電気およびホースをすべて接続します。オプション機器に支給されている取り付け説明書を参照してください。
6. オプションの噴霧器機器がない場合は、余った不用の噴霧器ワイヤハーネスリード線を後部パネルの裏のソレノイド・マニホールドの下へまとめ、スラップで結わえて固定します。

YCWRHFR,1766983197917-40-30DEC25

後部ワイヤハーネスの接続

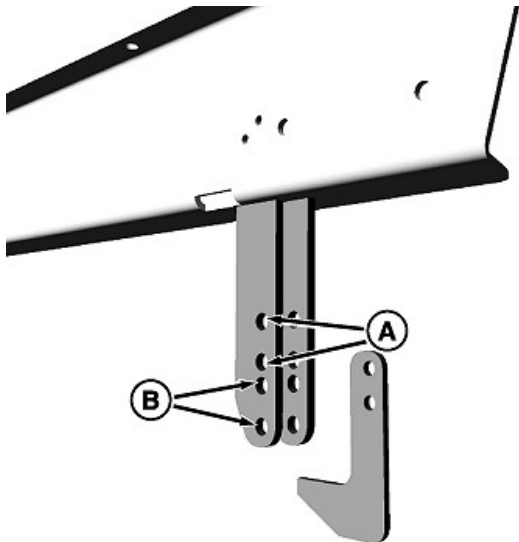


TCT005999—UN—19NOV12

1. 後部ワイヤハーネスバンドル (A) を噴霧器フレームの後部角に固定しているタイストラップを切断します。

フレームクランプの取り付け

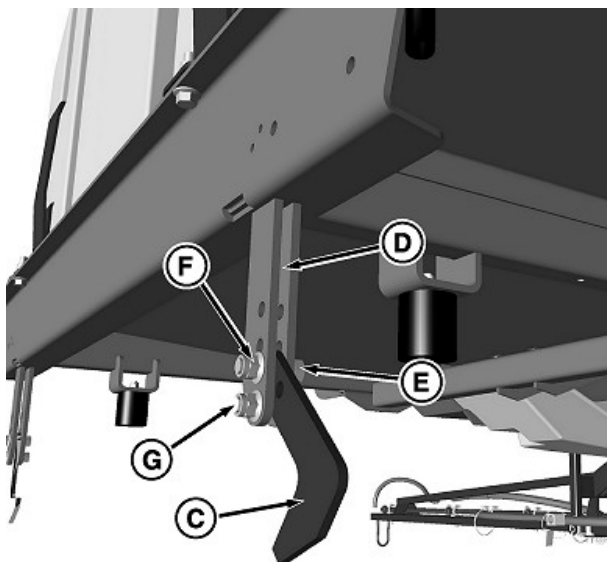
噴霧器は ProGator の現行モデルおよび以前のモデルに取り付けることが可能です。モデルにより、フレームブラケットの取り付け穴を変更する必要があります。作業機ごとの適切な取り付け穴の選択方法については以下の図を参照してください。



TCT006002—UN—19NOV12

- A : 旧モデル (2020、2030) の上側および下側の取り付け穴
B : 現モデル (2020A、2030A) の上側および下側の取り付け穴

噴霧器へのフレームクランプの取り付け



TCT006003—UN—19NOV12

現行モデルの取り付けの場合

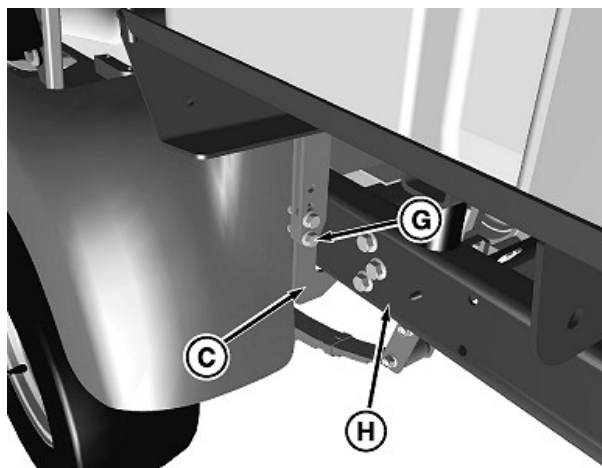
1. フレームクランプ (C) をフレームブラケット (D) に配置し、適切な取り付け穴に M10x35 ボルト (E) を取り付けます。M10 ロックナット (F) をボルトに取り付け、締め付けずにします。
2. フレームクランプを上回転し、適切な取り付け穴

に M10x35 ボルト (G) を取り付けます。ロックナットをボルトに取り付け、締め付けずにします。噴霧器を下げる際に ProGator のフレームを接触させないためには、フレームクランプをこのオープン位置の状態にしておく必要があります。

フレームへの噴霧器の固定

噴霧器を取り付けた後、ProGator のフレームに固定してから操作します。

1. 噴霧器を下げます。



TCT006004—UN—19NOV12

2. 下の M10 ロックナットと M10x35 ボルトを取り外し、フレームクランプ (C) を下に回転させて噴霧器を ProGator のフレーム (H) に固定できるようにします。
3. M10x35 ボルト (G) をフレームブラケットに通し、M10 ロックナットで固定します。
4. 留め具をしっかり締め付けます。

OUO2005,0000152-40-19NOV12

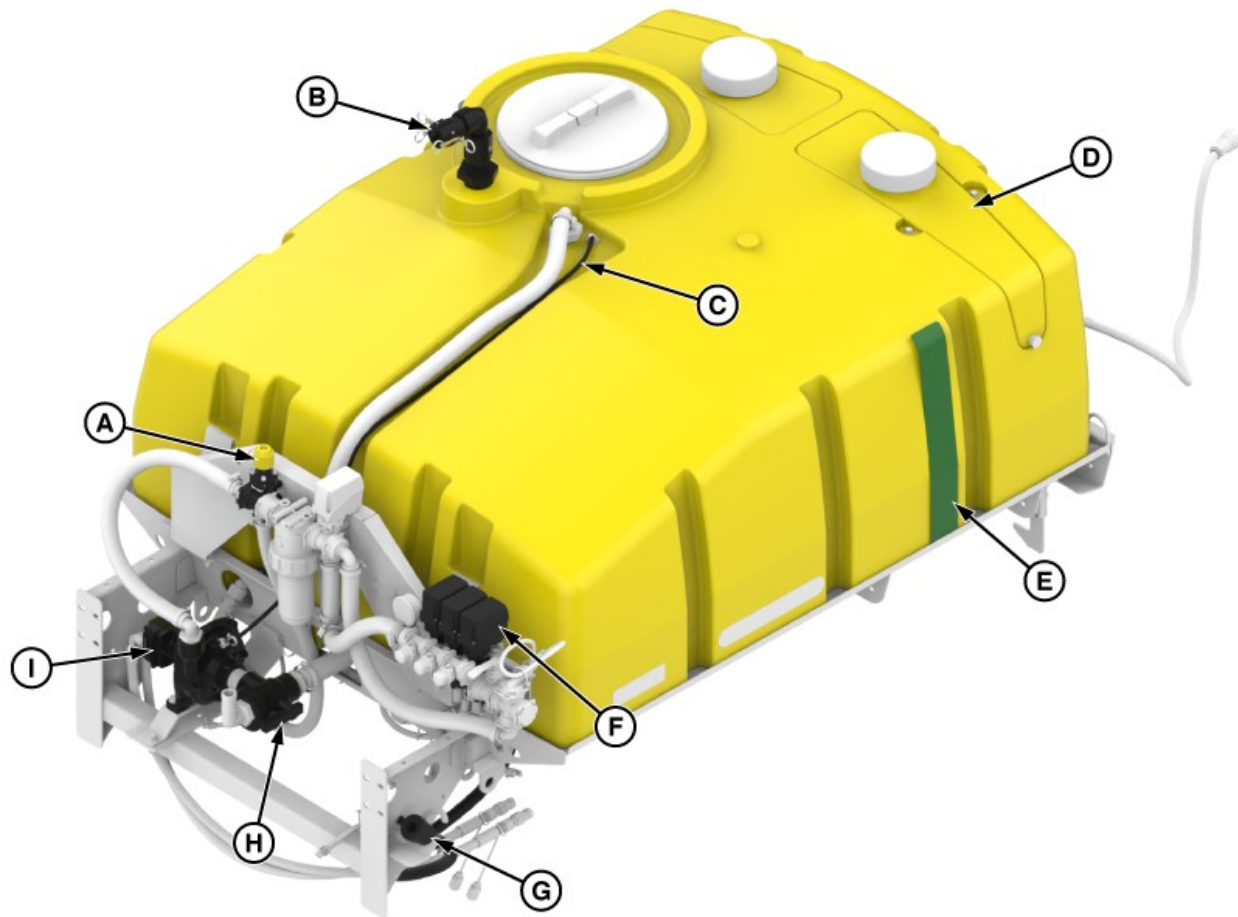
構成部品の概要

溶剤タンク

溶剤タンクは噴霧する混合液を貯蔵します。ポンプを起動すると、攪拌のレベルをマニホールドで調整できます。タンクレベルは、タンク側面にあるレベルイン

ジケーターでモニターできます。ポンプは三方弁を介してタンクに接続され、噴霧器フレームの後部に取り付けられます。

溶剤タンクの図



A : 攪拌弁
B : クイックコネク、メインタンクへの注入
C : ホース、通気穴 (渦巻ポンプのみ)
D : タンク、フォームマーカ
E : 注入インジケーター

F : ブームセクション制御弁
G : ホースとバルブ、ドレン
H : 三方ボールバルブ
I : ポンプ、渦巻 (ダイアフラムポンプオプションは非表示)

TC699126—UN—30DEC25

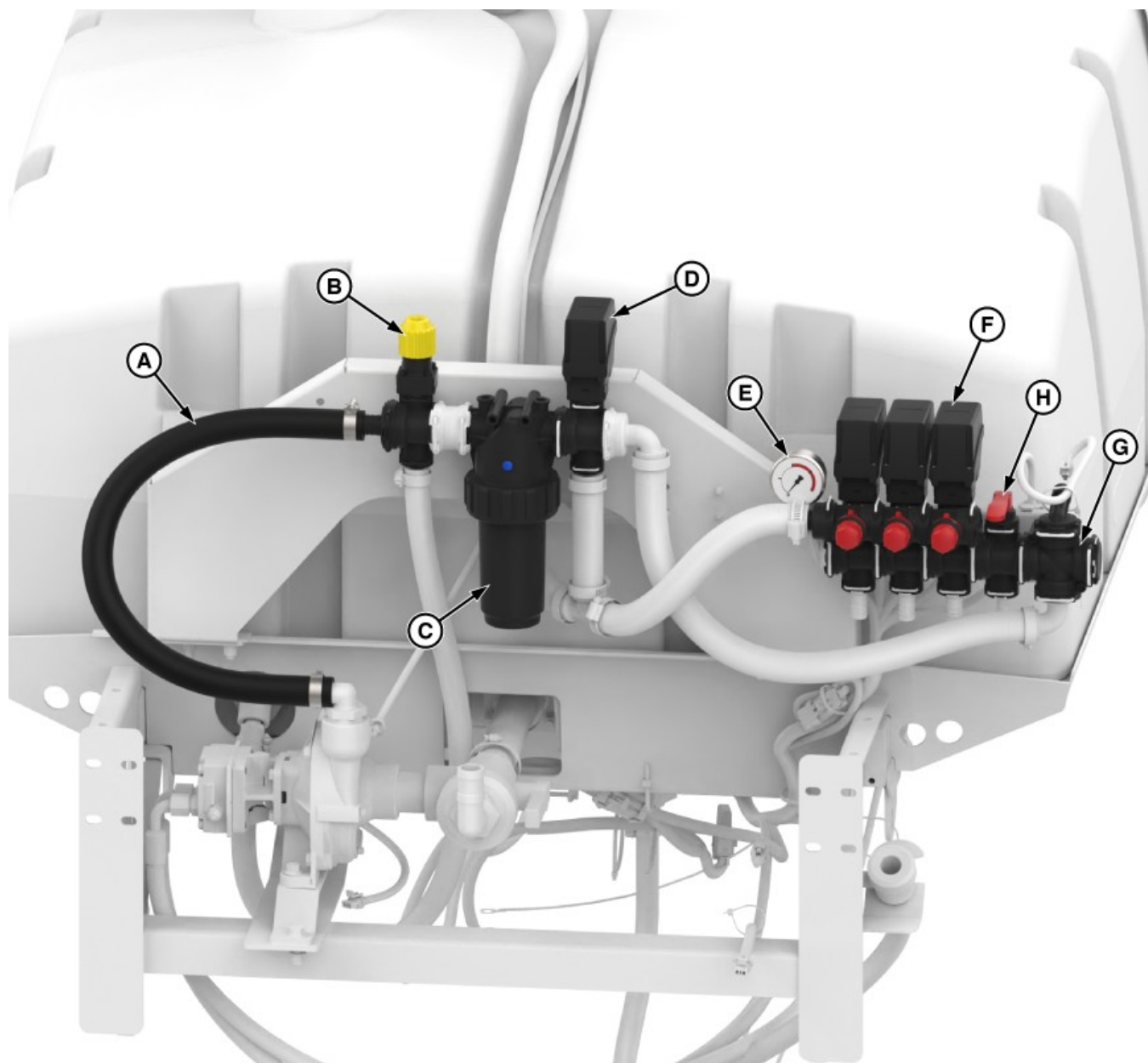
YCWRHFR,1766983567739-40-28DEC25

マニホールド (バルブスタック)

マニホールド (バルブスタック) は噴霧器溶剤タンクの後部に取り付けられ、噴霧システム用の一次側弁、ポート、ストレーナ、ゲージ、センサーを付属しています。攪拌は黄色の攪拌弁を使って調整できます。ストレーナは特大の微粒子を除去します。圧力逃し弁

(緑) (オプション、ダイアフラムポンプの作動に必要) は、ダイアフラムポンプ付きのシステムに取り付けられます (オプション)。手動ホースリールバルブを使用して、ホースリールに接続します (オプション)。流量計、圧力計、圧力センサーを使用してシステムの性能をモニターします。

マニホールドの図



TC699127—UN—30DEC25

A : ホース、ポンプアウトレット
B : 弁、攪拌
C : ストレーナ
D : 弁、電動比例流量制御

E : ゲージ、圧力
F : 制御弁、ブームセクション
G : 継手、クロス (圧力センサー用)
H : 弁、手動 ON/OFF (ホースリールアタッチメント用)

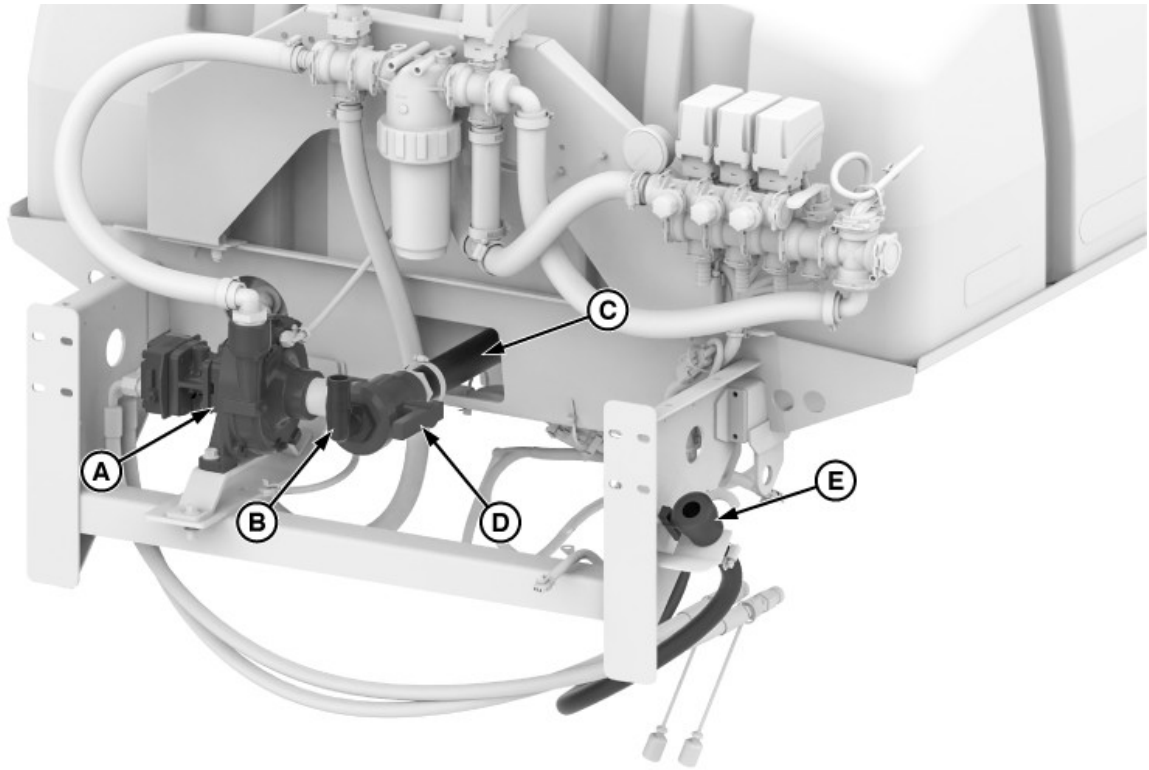
YCWRHFR,1766983565771-40-30DEC25

ポンプ

ポンプは溶剤混合液を溶剤タンクから噴霧システムの残りの部分に圧送します。溶剤は溶剤タンクまたはリンスタンク (オプション) から吸引することが可能で、三方弁を介して選択されます。ポンプは、車両の補助油圧回路によって油圧駆動されます。ポンプ回転速度

はエンジン回転数によって変化し、結果として、一貫したエンジン回転数から最適な性能が得られます。ダイヤフラムポンプの場合、三方弁とポンプインレットの間に吸気ストレーナーを配置して配管で接続します。

渦巻ポンプの図

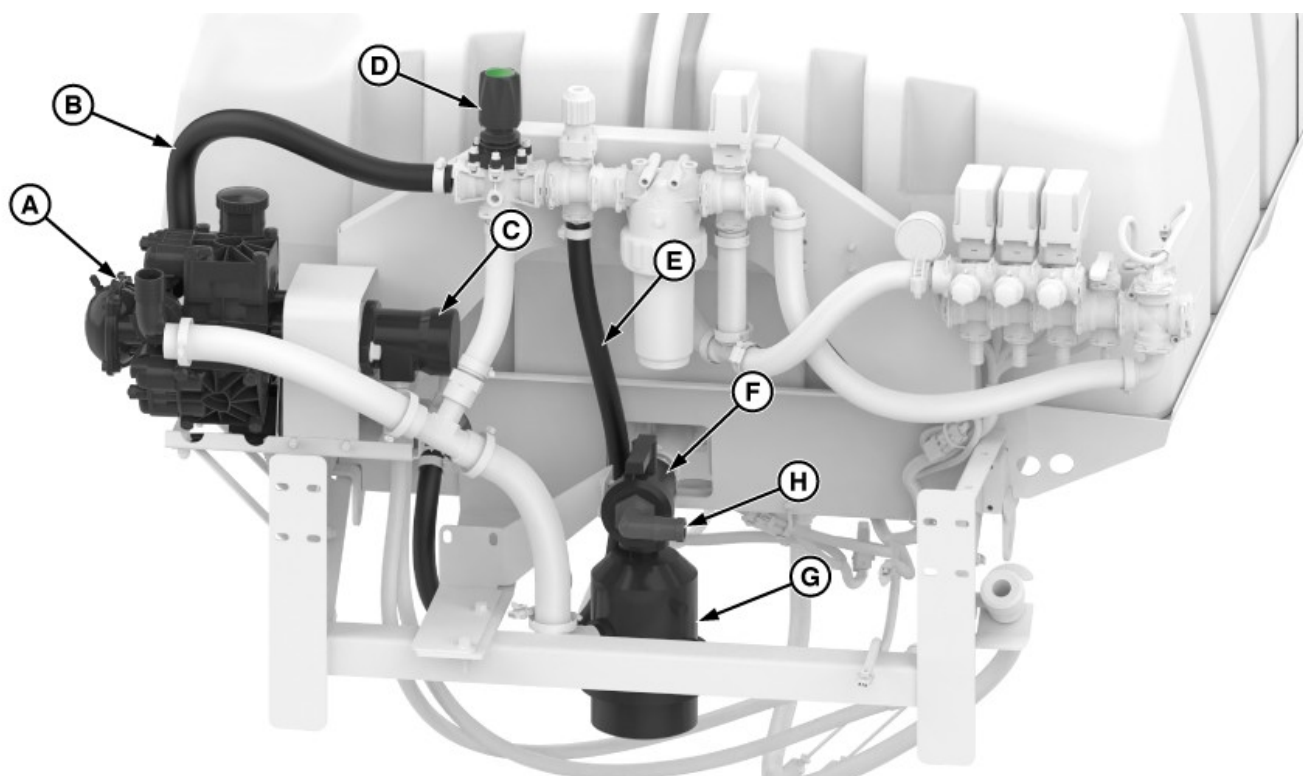


A : ポンプ、渦巻
B : ポート、リンスタンク (オプション)
C : ホース、タンクアウトレット

D : 三方弁
E : ホースとバルブ、ドレン

TC699128—UN—24DEC25

ダイヤフラムポンプの図



TC699129—UN—24DEC25

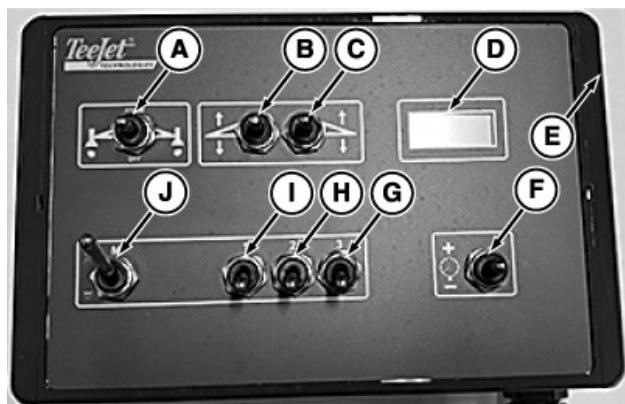
A : ポンプ、ダイヤフラム
B : ホース、ポンプアウトレット
C : 油圧モーター
D : 弁、圧力逃し

E : ホース、タンクアウトレット
F : 三方弁
G : 吸気ストレーナー
H : ポート、リンスタンク (オプション)

YCWRHFR,1766983563741-40-28DEC25

コントロールの操作

デジタル手動コントロールボックス

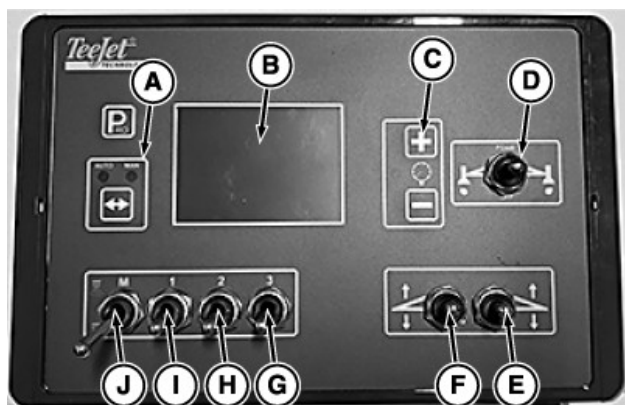


TC102032—UN—15JUL21

- A : マーカースイッチ
- B : 左ブームウィングスイッチ
- C : 右ブームウィングスイッチ
- D : デジタル圧力表示画面
- E : ON/OFF スイッチ
- F : 圧力制御
- G : 右ブームセクションスイッチ
- H : 中央ブームセクションスイッチ
- I : 左ブームセクションスイッチ
- J : ブームマスタースイッチ

YCWRHFR,1766984696292-40-30DEC25

自動比率制御ボックス



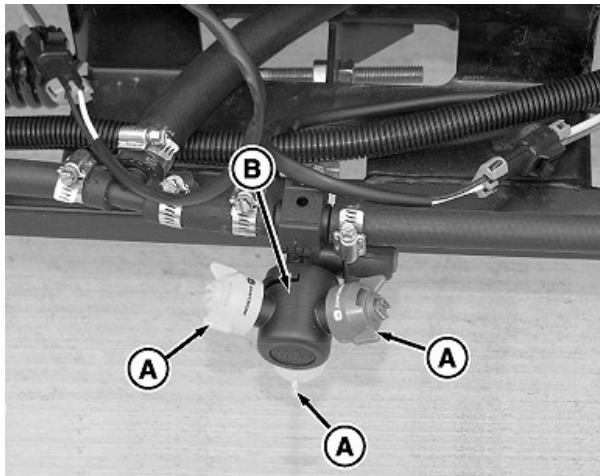
TC102033—UN—15JUL21

- A : 自動/手動コントロール
- B : デジタル表示画面
- C : 圧力制御
- D : マーカースイッチ
- E : 右ブームウィングスイッチ
- F : 左ブームウィングスイッチ
- G : 右ブームセクションスイッチ
- H : 中央ブームセクションスイッチ
- I : 左ブームセクションスイッチ
- J : ブームマスタースイッチ

YCWRHFR,1766984694374-40-28DEC25

操作

スプレー先端の操作



TCT006032—UN—19NOV12

注記：作動（下向き）位置では、各スプレーチップを配置するデット位置が3つあります。推奨されていませんが、下向き位置の間の3つの追加デット位置に合わせることで、各スプレーのバルブを遮断することもできます。

1. スプレーチップのノズル (A) の色を選択し、スプレーチップアセンブリ (B) を回転させて、選択した色のが下向きになるようにします。
2. ブームセクションの残りのスプレーチップについても、選択した色で同様の手順を繰り返します。

OUO2005,000015D-40-05DEC12

スプレーチップの選択

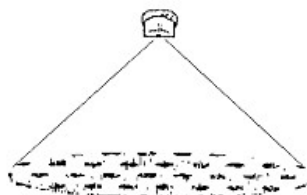
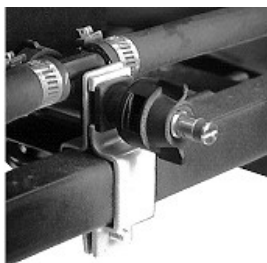
図のスプレーチップは参照例です。

実際の噴出速度は、スプレーチップの流量、作業機の手数、オーバーラップおよび使用圧力から計算する必要があります。

スプレーチップと詳細な情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO2005,000015E-40-19NOV12

フラッド型スプレーチップ

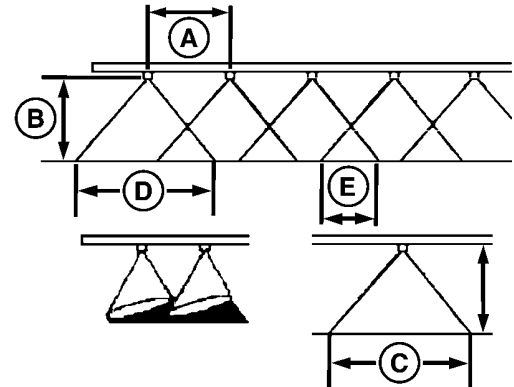


TCT006033—UN—19NOV12

一般的な散布パターンを右に図示します。

これは全面散布用の広角、フラットノズルです。適切な対象範囲を確保するには、100% オーバーラップの散布パターンを推奨します。

ノズル寸法



TCT012904—UN—16JUL15

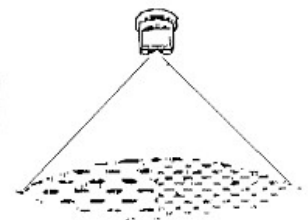
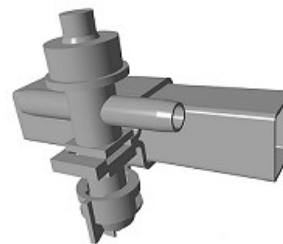
- 間隔 (A) = 500 mm (19.7 in)
- 高さ (B) = 406 mm (16 in)**
- 散布角度 (C) = 115° ~ 125°
- 散布範囲 (D) = 102 cm (40 in)
- オーバーラップ (E) = 100%

**噴霧器タンク満タンで測定。

ノズル高さを変更するには、ブーム高さを調整します。

OUO2005,000015F-40-16JUL15

超低ドリフト型スプレーチップ

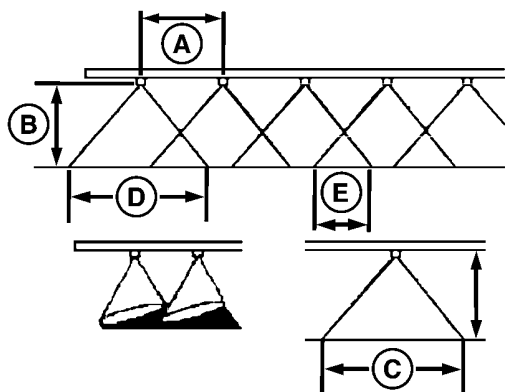


TCT006035—UN—19NOV12

代表的な散布パターンを右の図に示します。

この噴霧パターンは、デュアル空気排出の広角フラットファン型ノズルです。全面散布用の均一なパターンを提供します。

ノズル寸法



TCT012904—UN—16JUL15

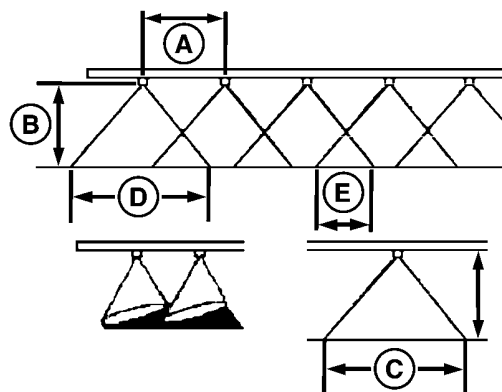
- 間隔 (A) = 500 mm (19.7 in)
- 高さ (B) = 406 mm (16 in) **
- 散布角度 (C) = 120°
- 散布範囲 (D) = 102 cm (40 in)
- オーバーラップ (E) = 100%

**噴霧器タンク満タンで測定。

ノズル高さを変更するには、ブーム高さを調整します。

OUO2005,0000160-40-06JUN18

ノズル寸法



TCT012904—UN—16JUL15

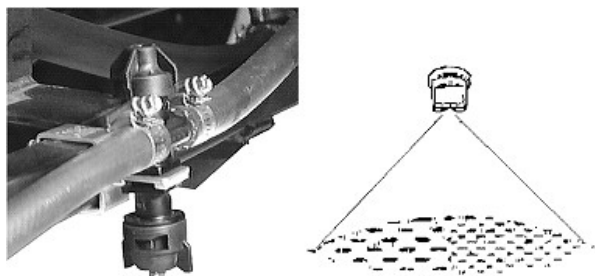
- 間隔 (A) = 500 mm (19.7 in)
- 高さ (B) = 457 ~ 508 mm (18 ~ 20 in)**
- 散布角度 (C) = 80° ~ 110°
- 散布範囲 (D) = 762 mm (30 in)
- オーバーラップ (E) = 50%

**噴霧器タンク満タンで測定。

ノズル高さを変更するには、ブーム高さを調整します。

OUO2005,0000161-40-16JUL15

フラットファン型スプレーチップ



TCT006036—UN—19NOV12

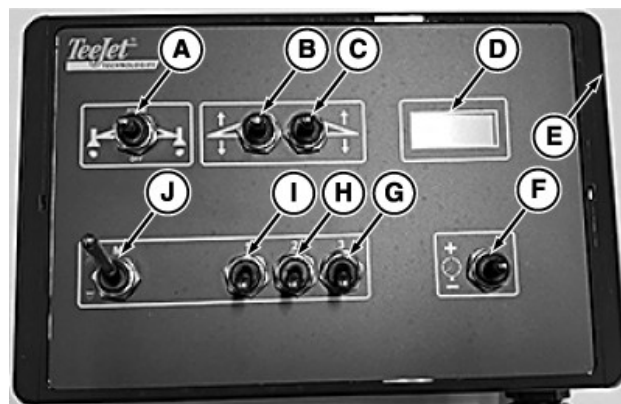
一般的な散布パターンを右に図示します。

このノズルは、各先端で精巧にテーパ状になった扇形の散布パターンを提供します。テーパ状の端部により、散布パターンのオーバーラップ部分が相殺され、均一な散布範囲が確保されます。

高圧力では、浸透が向上し、小さい粒子で精密な散布範囲が得られます。

低圧力では、液体粒子が大きくなり、ドリフト (液体粒子の浮遊) の危険が減少します。

デジタル手動コントロールボックスの使用



TC102032—UN—15JUL21

- A : マーカースイッチ
- B : 左ブームウィングスイッチ
- C : 右ブームウィングスイッチ
- D : デジタル圧力表示画面
- E : ON / OFFスイッチ
- F : 圧力制御
- G : 右ブームセクションスイッチ
- H : 中央ブームセクションスイッチ
- I : 左ブームセクションスイッチ
- J : ブームマスタースイッチ

- マーカースイッチ (A) - このスイッチはフォームマーカーを制御します。スイッチを中央位置にした場合、マーカーのフォームは放出されません。スイッチを右位置にした場合、フォームは右スプレーブーム

ムの端にあるノズルから放出されます。スイッチを左位置にした場合、フォームは左スプレーブームの端にあるノズルから放出されます。

- 左ブームウイングスイッチ(B) - このスイッチは左ブームウイングのリフトを制御します。スイッチを「上」に動かすと、左ブームウイングが上がりまします。スイッチを「下」に動かすと、左ブームウイングが下がります。
- 右ブームウイングスイッチ(C) - このスイッチは右ブームウイングのリフトを制御します。スイッチを「上」に動かすと、右ブームウイングが上がりまします。スイッチを「下」に動かすと、右ブームウイングが下がります。

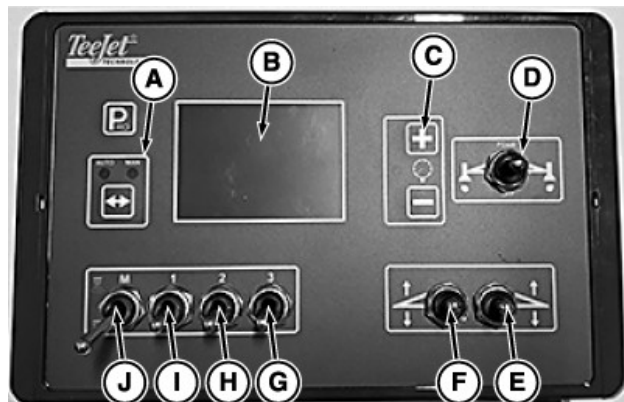
注記： デジタル手動コントロールユニットでは、圧力センサーのキャリブレーションは不要です。

- デジタル圧力表示画面 (D) - 圧力表示画面は噴霧器の操作圧力を表示し、システム性能のインジケータとして使用することができます。噴霧器の作動中は、システムが一定である必要があります。操作中に表示圧力に有意の変化がある場合は、システムに点検すべき不具合があることを示します。(例：1つまたは複数のノズルが詰まりそうになると、通常表示される圧力より上昇します。著しい漏出が発生したり、またはノズルが失われたりすると、通常表示される圧力より下降します。)
- ON/OFF スイッチ (E) - このスイッチによりディスプレイ画面への電源のオンとオフを切り替えます。
- 圧力制御装置 (F) - 「+/-」スイッチはノズルに配送される液体圧力を制御します。
- 右ブームセクションスイッチ (G) - スイッチ 3 は右ブームセクションの隔離弁を制御します。右ブームセクションの噴霧ノズルへの流れを可能にするには、スイッチ 3 を「上」位置に動かします。(スイッチ M も「上」位置にする必要があります。) 右ブームセクションの噴霧ノズルへの流れを遮断するには、スイッチ 3 を「下」位置に動かします。
- 中央ブームセクションスイッチ (H) - スイッチ 2 は中央ブームセクションの隔離弁を制御します。中央ブームセクションの噴霧ノズルへの流れを可能にするには、スイッチ 2 を「上」位置に動かします。(スイッチ M も「上」位置にする必要があります。)
- 左ブームセクションスイッチ (I) - スイッチ「1」は左ブームセクションの隔離弁を制御します。左ブームセクションの噴霧ノズルへの流れを可能にするには、スイッチ 1 を「上」位置に動かします。(スイッチ M も「上」位置にする必要があります。)
- ブームマスタースイッチ (J) - スイッチ「M」はすべてのブームセクションバルブへの流れを制御します。ブームセクションの個々の隔離弁すべてへの流れを可能にするには、スイッチ M を「上」位置に動かします。ブームセクションの個々の隔離弁すべて

への流れを遮断するには、スイッチ M を「下」位置に動かします。

YCWRHFR,1766984868492-40-30DEC25

自動比率制御ボックスの使用



TC102033—UN—15JUL21

- A：自動/手動コントロール
- B：デジタル表示画面
- C：圧力制御
- D：マーカースイッチ
- E：右ブームウイングスイッチ
- F：左ブームウイングスイッチ
- G：右ブームセクションスイッチ
- H：中央ブームセクションスイッチ
- I：左ブームセクションスイッチ
- J：ブームマスタースイッチ

- 自動/手動制御 (A) - 「Auto (自動)」および「Manual (手動)」タッチパッドスイッチを使用すると、噴霧器の機能についてコントロールユニットの操作が自動制御と手動制御の間で切り替わります。自動操作モードでは、コントロールユニットは操作条件の変更に合わせて均一な散布が自動的に維持されます。手動操作モードでは、散布の要件に合わせて散布量を一時的に増減することができます。
- デジタル表示画面 (B) - デジタル表示画面には、噴霧器の作動圧力、流量、移動速度、その他の動作パラメータに対する選択可能な値が表示されます。これらの値は、噴霧器のコントロールユニットを操作用にセットアップし、使用中に動作をモニターするために使用されます。
- 圧力制御装置 (C) - 「+/-」タッチパッドスイッチを使用して、コントロールユニットのセットアップ中または作動中にノズル圧力を変更します。「+」スイッチを押すと、システム圧力が上昇します (システム限度内)。「-」スイッチを押すと、システム圧力が下降します (システム限度内)。
- マーカースイッチ (D) - このスイッチはフォームマーカーを制御します。スイッチを中央位置にした場合、マーカーのフォームは放出されません。スイッチを右位置にした場合、フォームは右スプレーブームの端にあるノズルから放出されます。スイッチを左位置にした場合、フォームは左スプレーブームの端にあるノズルから放出されます。
- 右ブームウイングスイッチ (E) - このスイッチは右ブームウイングのリフトを制御します。スイッチを

「上」に動かすと、右ブームウイングが上がりま
す。スイッチを「下」に動かすと、右ブームウイ
ングが下がります。

- 左ブームウイングスイッチ (F) - このスイッチは左
ブームウイングのリフトを制御します。スイッチを
「上」に動かすと、左ブームウイングが上がりま
す。スイッチを「下」に動かすと、左ブームウイ
ングが下がります。
- 右ブームセクションスイッチ (G) - スイッチ 3 は右
ブームセクションの隔離弁を制御します。右ブーム
セクションの噴霧ノズルへの流れを可能にするに
は、スイッチ 3 を「上」位置に動かします。(スイ
ッチ M も「上」位置にする必要があります。) 右ブー
ムセクションの噴霧ノズルへの流れを遮断するに
は、スイッチ 3 を「下」位置に動かします。
- 中央ブームセクションスイッチ (H) - スイッチ 2 は
中央ブームセクションの隔離弁を制御します。中央
ブームセクションの噴霧ノズルへの流れを可能にす
るには、スイッチ 2 を「上」位置に動かします。
(スイッチ M も「上」位置にする必要があります。) 中
央ブームセクションの噴霧ノズルへの流れを遮断
するには、スイッチ 2 を「下」位置に動かします。
- 左ブームセクション スイッチ (I) - スイッチ「1」は
左ブームセクションの隔離弁を制御します。左ブー
ムセクションの噴霧ノズルへの流れを可能にするに
は、スイッチ 1 を「上」位置に動かします。(スイ
ッチ M も「上」位置にする必要があります。) 左ブー
ムセクションの噴霧ノズルへの流れを遮断するに
は、スイッチ 1 を「下」位置に動かします。
- ブームマスタースイッチ (J) - スイッチ「M」はすべ
てのブームセクションバルブへの流れを制御しま
す。ブームセクションの個々の隔離弁すべてへの流
れを可能にするには、スイッチ M を「上」位置に動
かします。ブームセクションの個々の隔離弁すべ
てへの流れを遮断するには、スイッチ M を「下」位
置に動かします。

面積/容量表示機能

マスターブームスイッチを「ON」位置にした場合、コ
ントロールユニットは散布領域と散布された合計量の
両方を測定します。

- 面積カウンタは、散布した面積を測定し、ブームセ
クション当たりのノズルチップ数とノズルチップ間
隔に対してプログラムされている値に依存します。

注記： 容量カウンタは、マスタースイッチが「ON」
の位置になっているときはいつでも、散布量をカ
ウントします。3 つのブームすべてを「OFF」に
して停止するには、必ずマスタースイッチを
「OFF」位置に切り替えます。マスタースイッチ
がオンのまま、ブームを個別にオフに切り替えて
も、コントローラは散布量のカウントを続行し、
流量計に表示します。

- 容量カウンタは流量計のパルスに依存します。
- コンソールの右下の領域は、3 秒ごとに 2 つの測定
値の間で切り替わります。
- カウンタ/容量測定を消去するには：

- a. マスターブームスイッチを「OFF」位置に設定し
ます。
- b. 「Auto (自動)」/「Man (手動)」キーを 3 秒間押
し続けます。
- c. コントロールユニットには、圃場カウンタを消去
するかどうかを質問するメッセージが表示されま
す。
- d. 「+」または「-」キーを使用して、[Yes (はい)]
または [No (いいえ)] を選択します。
- e. 変更を受け入れて通常の操作モードに戻るには、
「Pro」キーを押します。

タンク容量機能

コンソールはタンクに残っている容量をカウントダウ
ンして、タンク残量低下レベルに達するとオペレータ
に警告します。

タンク残量低下レベルは、オペレータによって
[System Setup Mode (システムセットアップモード)]
でプログラムされます。

- タンク容量をリセットするには：
 - a. マスタースイッチを「OFF」位置にする必要があ
ります。
 - b. 「+」キーと「-」キーを同時に押すと、タンク容
量インジケータが表示され、数字が点滅しま
す。
 - c. + または - キーを使用して、タンク容量をタンク
内の現在量に増分単位で変更します。または、
「Auto (自動)」/「Man (手動)」キーを押して、最
大タンク容量にリセットします。
 - d. 値を保存するには、「Pro」ボタンを押します。
 - e. このプロセスは、液体がタンクに追加されるたび
に繰り返す必要があります。

ブーストモード

このコントロールユニットは、目標散布量を 10% の増
分で上下にブーストする能力があります。

ブーストアップ：

- システムが操作モードで、マスタースイッチが
「ON」の場合は、「+」キーを押すと目標散布量が
10% 増加します。続けて「+」キーを押すごとに、
目標散布量が 10% 増加します。
- 散布量がどれだけブーストされるかが 2 秒間表示さ
れます。システムがブーストモードの場合は常に目
標記号が点滅します。
- 目標の散布量に戻すには、「-」キーを押して 10%
の増分で戻します。「+」キーと「-」キーを同時に
押すと、即座に目標散布量に戻ります。

ブーストダウン：

- システムが操作モードで、マスタースイッチが
「ON」の場合は、「-」キーを押すと目標散布量が
10% 減少します。続けて「-」キーを押すごとに、
目標散布量が 10% 減少します。
- 散布量がどれだけブーストされるかが 2 秒間表示さ

れます。システムがブーストモードの場合は常に目標記号が点滅します。

- 目標の散布量に戻すには、「+」キーを押して 10% の増分で戻します。「+」キーと「-」キーを同時に押すと、即座に目標散布量に戻ります。

センサーアラーム

- 散布アラーム - コントロールユニットにより目標の散布量と実際の散布量の間に 10% 以上の不一致が検出されると、散布量ウィンドウが点滅します。これにより、噴霧器の配管、動作、またはプログラミングの問題がオペレータに通知されます。この機能が有効になっているときは、警報音が作動します。高優先度を示す短いピープ音が 3 回鳴ります。
- 速度なしアラーム - このアラームは、マスターブームスイッチが「ON」位置にある場合にのみ発生します。コントロールユニットが速度センサーからのパルスの受信を停止すると、速度ディスプレイのトラクターのシンボルがディスプレイの上部で点滅します。この機能が有効になっているときは、警報音が作動します。警報音により短いピープ音が 2 回鳴り、1 秒ごとに繰り返され、中程度の優先度が示されます。
- 流量なしアラーム - このアラームは、マスターブームスイッチが「ON」位置にある場合にのみ発生します。このアラームは、コントロールユニットが流量計からのパルスの受け取りを停止したことを示します。タービンのシンボルがコンソールの上部で点滅します。この機能が有効になっているときは、警報音が作動します。警報音により短いピープ音が 2 回鳴り、1 秒ごとに繰り返され、中程度の優先度が示されます。
- 圧力なしアラーム - このアラームは、マスターブームスイッチが「ON」位置にある場合にのみ発生します。このアラームは、圧力トランスデューサが故障したか、その接続が切れたことを示します。この機能が有効になっているときは、警報音が作動します。警報音により短いピープ音が 2 回鳴り、1 秒ごとに繰り返され、中程度の優先度が示されます。
- タンク残量低下アラーム - このアラームは、タンク容量が [System Setup Mode (システムセットアップモード)] で設定されたタンク残量低下に達したときに発生します。ディスプレイ画面で、タンク容量シンボルが点滅します。警報音により短いピープ音が 1 回鳴り、1 秒ごとに繰り返され、低優先度であることを示します。
- 低圧アラーム - このアラームは、マスターブームスイッチが「ON」位置にある場合にのみ発生します。このアラームは、圧力が最小値より下がったことを示します。短いピープ音が 2 回鳴り、1 秒ごとに繰り返され、中程度の優先度が示されます。
- 低速アラーム - このアラームは、マスターブームスイッチが「ON」位置にある場合にのみ発生します。このアラームは、車両速度が最小値より下がり、噴霧が停止したことを示します。短いピープ音が 2 回鳴り、1 秒ごとに繰り返され、中程度の優先度が示されます。
- 圧力差警告アラーム - このアラームは、マスター

ブームスイッチが「ON」位置にある場合にのみ発生します。流量ベースの調整により、コントロールユニットは実際に測定された圧力（圧力センサーが取り付けられている場合）を流量とノズルサイズに基づいて計算された圧力と比較します。差が 20% を超えた場合、ディスプレイで視覚的アラーム [Press diff (圧力差)] が点滅します。

- 流量差警告アラーム - このアラームは、マスターブームスイッチが「ON」位置にある場合にのみ発生します。流量ベースの調整により、コントロールユニットは実際に測定された流量（流量計が取り付けられている場合）を圧力とノズルサイズに基づいて計算された流量と比較します。差が 20% を超えた場合、視覚的アラーム [Flow diff (流量差)] がディスプレイで点滅します。

ユーザープログラム可能情報

自動比率制御ユニットは、以下のノズルに対応できるように、あらかじめ設定されています：

- オレンジ - 0.38 L/min (0.1 gal/min) (US gallon/分)
- 緑 - 0.57 L/min (0.15 gal/min)
- 黄 - 0.76 L/min (0.20 gal/min)
- 薄紅色 - 0.95 L/min (0.25 gal/min)
- 青 - 1.14 L/min (0.30 gal/min)
- 赤 - 1.51 L/min (0.40 gal/min)
- 茶 - 1.89 L/min (0.50 gal/min)
- 灰色 - 2.27 L/min (0.60 gal/min)
- 白 - 3.03 L/min (0.80 gal/min)
- 水色 - 3.79 L/min (1.00 gal/min)
- 黄緑色 - 5.68 L/min (1.50 gal/min)

たとえば 4.73 L/min (1.25 gal/min) のノズルなど、プリセット値には一致しないノズルを使用したい場合もあります。このタイプのノズルは、コントロールに入力し、[User Programmable Tip (ユーザープログラム可能情報)] 機能を利用して、使用することができます。

[User Programmable Tip (ユーザープログラム可能情報)] を入力するには、[Application Setup (アプリケーション設定)] モードに入ります。ノズルカラーバーの上の三角形が点滅を開始するまで、「Pro」キーを 3 回押します。「+」または「-」キーを使用して、三角形をカラーバーの最も右側の「P」の上に移動したら、「P」の上にあるコントロールユニット画面の右下隅にある番号が点滅し始めるまで、「Pro」キーを 4 回押します。「+」または「-」キーを使用して、使用するノズルの gal/min 定格を入力します。「Pro」キーを 30 秒間動作する間押し続けて保存します。

新しいノズル定格が保存され、使用できるようになります。

コントロールユニットの電源オン

コントロールユニットの電源オン - 「Pro」キーを 1 だけ回押してコンソールをオンにします。コンソールには、最初にソフトウェアバージョンが画面上部に表示され、コンソールのシリアル番号が画面の下部に表示

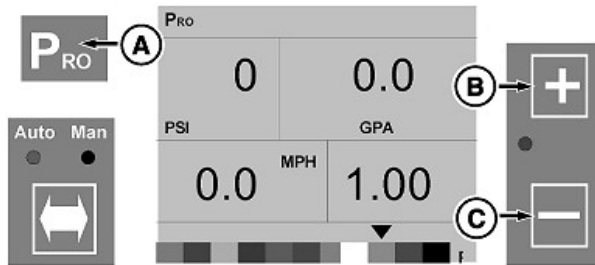
されます。約 5 秒の後に、コンソールは操作モードに入ります。

コントロールユニットの電源オフ

コンソールの電源をオフするには、マイナス (-) ボタンを押し続け、「Pro」キーを 1 回押して放してからマイナス (-) ボタンを放します。ディスプレイは、設定が保存されて 5 秒からカウントダウンが始まり、それから電源がオフになります。

YCWRHFR,1766984941202-40-30DEC25

自動比率制御ボックスの構成



1. 「Pro」ボタン (A) を 1 回押して、比率制御ユニットを起動させます。

ソフトウェアバージョンが表示された後、画面は操作画面に進みます。次に、「Pro」ボタンを 3 秒間押し続けて、[System Setup (システムセットアップ)] モードに進みます。

2. 使用する単位を選択するには、「+ (B)」または「- (C)」ボタンを押します。

単位の変更

- a. 必要な単位を選択します。
- b. 必要な単位を受け入れるには、「Pro」ボタンを押して 3 秒間そのままにします。
- c. コントロールユニットの電源をオフにします。
- d. コントロールユニットの電源をオンにします。
- e. システムセットアップモードに再び入るには、「Pro」ボタンを 3 秒間押し続けます。
- f. このセクションに記載されているすべての既定値を再入力します。
- g. 値を保存するには、「Pro」ボタンを 3 秒間押し続けて、値を保存します。

単位のオプション：

- U.S. - US gal/acre (既定値)
- Trf - US gal/1000 sq ft
- INP : 英 gal./acre
- LM2 : L/sqm

- SI : メートル法 (L/min, l/ha, km/hr, cm)

注記：すべての手順で値を変更するには、「+」または「-」ボタンを押します。いつでも、「Pro」ボタンを 3 秒押し続けて「System Setup (システムセットアップ)」を終了できます。値を承認して次のプログラミングステップに進むには、「Pro」ボタンを押します。

3. 「Pro」ボタンを押して、[Speed Sensor Calibration (速度センサーのキャリブレーション)] に進みます。

既定値 = 980

注記：980 既定値は米国 (gallon/acre モード) でのみ使用されます。メートル法単位 (LM2 または SI) で噴霧している場合は、速度センサーをさらにキャリブレーションする必要があります (「自動比率制御ユニットのキャリブレーション」を参照してください)。

この手順の値は、設定された距離において速度センサーで生成されたパルス数です。既定値では、ProGator™ ダッシュと自動比率制御ユニットの速度は一致する必要があります。一致しない場合、速度センサーをさらにキャリブレーションする必要があります (「自動比率制御ユニットのキャリブレーション」を参照してください)。

正しく作動することを確認するため、コントローラ画面の左下に「Rad」と右下に「30 ft」が表示されます。このデータは、コントロールユニットの「Auto (自動)」/「Man (手動)」ボタンを押して変更します。

注記：次のプロセス中の噴霧を避けるため、個々のブームセクションスイッチを「オフ」の位置にします。

4. 「Pro」ボタンを押して、「Distance Counter (距離カウンター)」に進みます。

「Distance Counter (距離カウンター)」機能は較正手順ではありません。コントロールユニットが正しく作動するには、特定の値をここに入力しないでください。この機能は距離をフィート (メートル) で測定します。この機能を使用して自動速度較正を確認できます。

カウンターを作動させるには、マスターブームスイッチを「オン」にします。

カウンターを停止するには、マスターブームスイッチを「オフ」にします。

既存の距離値を消去するには、「Auto/Man (自動/手動)」ボタンを 3 秒間押し続けます。

自動速度キャリブレーションを確認するには、車両を 91.44 m (300 ft) の同じコースで運転します。

5. 「Pro」ボタンを押して、[Pressure Sensor

Installed (取り付け済みの圧力センサー)] の選択に進みます。

既定値 = YES

- このコントロールパッケージの標準機器として、デジタル圧力センサーが取り付けられています。
- 既定の設定を変更しないでください。

6. 「Pro」ボタンを押して、「Pressure Transducer Low-Pressure Calibration (圧力変換器の低圧校正)」(P rEF) に進みます。

既定値 = 4.00

- システムに取り付けられた圧力変換器のゼロ圧力設定をキャリブレーションするために使用されます。
- このコントロールユニットで使用される圧力変換器の読み値は、4.00 mA でゼロ圧力です。

PTO がオフのときにコントロールユニットで圧力の読み値がゼロではない場合は、圧力センサーをさらに校正する必要があります (「自動レートコントロールの校正」を参照してください)。

7. 「Pro」ボタンを押して、「Pressure Transducer Maximum Rating (圧力変換器の最大定格)」(P Hi) に進みます。

既定値 = 2500 kPa (25.0) bar (363 psi)

- システムで圧力変換器最大定格を設定するために使用されます。
- 既定の設定を変更しないでください。

「Pro」ボタンを押して、「Pressure Minimum (最小圧力)」にします。

既定値 = 69 kPa (0.69) bar (10 psi)

- 最小作動圧力を設定するために使用します。調整は、この値を下回ると停止されます。
- この既定値を変更しないでください。

8. 「Pro」ボタンを押して、「Flow Sensor Installed (取り付け済みフローセンサー)」に進みます。

既定値 = YES

- このコントロールパッケージの標準機器として、流量計が取り付けられています。
- 既定の設定を変更しないでください。

9. 流量計のパルスには、「Pro」ボタンを押します。

既定値 = 79.0

- 流量計のステッカーに表示されているキャリブレーション数に合わせてあらかじめプログラムされています。
- コントロールユニットに表示されている散布容積が実際の散布容積と一致しない場合は、流量計をさらにキャリブレーションする必要があります。

ます。流量計をキャリブレーションするには、「自動比率制御ユニットのキャリブレーション」を参照してください。

10. 「Pro」ボタンを押して、「Flow Sensor Minimum Flow Capacity (フローセンサーの最小流量)」に進みます。

既定値 = 19 L/min (5.0 gal/min)

- 既定の設定を変更しないでください。
- 圧力センサーとフローセンサーの両方が取り付けられている場合、流量計の能力未滿に流量が低下すると、コントロールユニットはそれを検出して、圧力ベースの調整に自動的に切り替わります。流量が流量計で調整するための受け入れ可能なレベルに復帰すると、コントロールユニットは流量ベースの調整に自動的に切り替わります。

11. 「Pro」ボタンを押して、流量ベースまたは圧力ベースの調整モードに進みます。

既定値 = FLO

- FLO - 流量計は流量の制御に使用され、圧力変換器は実際の圧力の表示のみに使用されます。
- オプション: PRS - 圧力変換器は流量の制御と実際の圧力の表示の両方に使用されます。
- 制御システムでは、流量計または圧力変換器のいずれかまたは両方を使用できます。この手順では、調整を制御するために使用されるセンサーの種類をコンソールに指定します。
- 「FLO」または「PRS」を選択するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します (「FLO と PRS による調整」を参照してください)。

12. ノズル間隔を設定するには、「Pro」ボタンを押します。

既定値 = 50 cm (20 in)

- ノズル間隔は in 単位で記録する必要があります (SI モードの場合は cm)。
- ノズル間隔を増減するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。

13. ブームセクションの数を設定するには、「Pro」ボタンを押します。

既定値 = 3

- ブームセクションの数を設定するために使用します。
- この既定値を変更しないでください。

14. 「Pro」ボタンを押して、コントロールユニットボックスで示されたブームセクション 1 のノズルチップの数を入力します。

既定値 = 4 (5.5 m (18 ft) または 6.4 m (21 ft) ブーム)

- 4.6 m (15 ft) ブームでは「2」に変更します。

15. 「Pro」ボタンを押して、コントロールボックスで示されたブームセクション 2 のノズルチップの数を入力します。

既定値 = 3 (5.5 m (18 ft) ブーム)

- 4.6 m (15 ft) または 6.4 m (21 ft) ブームの場合は、「5」に変更します。

16. 「Pro」ボタンを押して、コントロールボックスで示されたブームセクション 3 のノズルチップの数を入力します。

既定値 = 4

- ブームセクション 1 と同様に設定します。

17. 「Pro」ボタンを押して、[Liquid-Specific Gravity (Density) (液体の比重 (密度))] に進みます。

既定値 = NO

- 密度を入力する場合は、既定値を「YES」に変更します。
- 「Pro」ボタンを押した後に「YES」を選択すると、密度画面が表示されます。コンソールディスプレイの上部で「D」が点滅します。
- 既定値 1.00 は水の比重に相当し、ほとんどの殺虫剤散布に適正です。肥料など、一部の散布溶剤は密度が異なります。このような溶剤を使用する場合は、既定値の代わりに新しい値を入力する必要があります。他の溶剤の比重を求めるには、次の表を使用してください：

溶剤のガロンあたりの重量	比重
3.18 kg (7.0 lb)	0.84
3.63 kg (8.0 lb)	0.96
3.78 kg (8.34 lb) (水)	1.00
4.54 kg (10 lb)	1.20
4.83 kg (10.65 lb) (28% N)	1.2
4.92 kg (10.85 lb) (30% N)	1.30
4.99 kg (11.0 lb)	1.32
5.44 kg (12.0 lb)	1.44
6.35 kg (14.0 lb)	1.68

- ディスプレイの値を変更するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。値を承認して次の手順に進むには、「Pro」ボタンを押します。
- 使用する溶液が表に掲載されていない場合は、次の手順に従って比重を計算します：

比重 = 溶剤の重量 / 水の重量

注記： 比重値はこの設定画面で調整します。密度モードを有効または無効にするには、「自動比率制御ボックスによる散布量のプログラミング」を参照してください。

18. 「Pro」ボタンを押して、[Pressure Regulating (圧力調整)] モードに進みます。

既定値 = バイパス

- 圧力調整弁がブームコントロールバルブの供給ラインに配置されることを示しています。
- 既定の設定を変更しないでください。

19. 弁速度を粗調整/微調整で調整するには、「Pro」ボタンを押します。

既定値 = 9

- 粗調整/微調整では、コントロールユニットで流量の大きい (粗) 調整と小さい (微) 調整が必要な場合のバルブの速度を制御します。
- 粗調整/微調整速度 9 で始めてください。ほとんどの散布で適切に機能します。噴霧器の操作中に数字を最適化します。応答時間を増減するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。
- 「0」～「9」の間の任意の数値を選択します：「0」= 低速、「9」= 高速です。

20. 「Section Control Valve Type (セクション制御弁の種類)」を選択するには、「Pro」ボタンを押します。

既定値 = 三方弁

- セクション弁の種類を「二方弁」(ノンバイパス) または「三方弁」(メーターバイパス) に設定します。
- この既定値を変更しないでください。

21. 「Pro」ボタンを押して、[Maximum Tank Volume (最大タンク容量)] に進みます。

既定値 = 757 L (200 gal)

- コントローラはタンクの最大内容量からタンク容量の残りゼロまで容量を追跡します。この設定で容量をモニターできます。
- HD200 SelectSpray の既定の設定を変更しないでください。
- コントロールユニットは、タンクが残りゼロ近くになるとオペレータに通知します。
- 容積「0」では、タンク容量機能が無効になります。
- 最大タンク容量を増減するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。

22. 「Pro」ボタンを押して、「Low Tank Indicator (タンク容量低下インジケータ)」に進みます。

既定値 = 94.6 L (25 gal)

- タンク容量が低レベルに達すると、コントローラは可視アラームをコントロールユニットに表示します。この設定では、コントロールユニットにアラームが表示される容量を選択できます。
- このアラームが表示される液体レベルを増減するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。

- 値「0」では、この機能は無効です。

23. 「Pro」ボタンを押して、「Communications (通信)」に進みます。

既定値 = 「No Connections (通信なし)」(コンピュータ、GPS など)

- この設定を変更しないでください。このコントロールユニットは外部との通信機能を備えていません。

24. 「Pro」ボタンを押して、「[Simulated Low Speed (低速シミュレーション)]」に進みます。

既定値 = 10 km/h (6 mph)

- 噴霧器を動かすことなく、コントロールユニットの機能と噴霧器を検証できます。
- 実際に散布する前にテストする必要があります。
- コントローラには、低対地速度シミュレーションと高対地速度シミュレーション機能があり、これら 2 つの機能を切り替えて速度の変化をシミュレーションすることができます。これにより、噴霧器を点検中にコンソールを正しく調整することができるようになります。
- マスタースイッチをオンにした通常の操作モード中に速度のシミュレーションを作動させるには、次の手順に従います。
「Pro」ボタンと「-」ボタンを押して、低速シミュレーションに進みます。
「Pro」ボタンと「+」ボタンを押して、高速シミュレーションに進みます。
- 噴霧器が動き始めてコントロールユニットが実際の速度センサーパルスを受信すると、対地速度シミュレーション機能は無効になります。
- この設定を変更するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。

25. 「Pro」ボタンを押して、「[Simulated High Speed (高速シミュレーション)]」に進みます。

既定値 = 15 km/h (9 mph)

- この設定を変更するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。

26. 「Pro」ボタンを押して、「Minimum Speed Alarm (最低速度アラーム)」に進みます。

既定値 = 3.2 km/hr (2 mph)

- コントローラはあらかじめプログラムされた速度でブームのセクションを自動的に停止して、減速時または旋回時にオペレータ機能を排除します。噴霧器速度が既定の最低速度を超えると、ブームセクションはまた回復します。
- 値「0」では、この機能は無効です。
- 手動モードでは、この機能は無効になります。

- この設定を変更するには、「+」ボタンと「-」ボタンを使用します。

27. 「Pro」ボタンを 3 秒間押して、「[Escape and Save Changes (終了して変更を保存)]」に進みます。

YCWRHFR,1766985269237-40-12JAN26

自動レートコントローラ校正

ほとんどの場合、工場初期設定を使用すると自動レートコントローラは正確です。さらに校正する必要はありません。さらに校正する必要がある場合は、校正できる次の 3 つの構成部品があります。

速度センサー

ProGator™ ダッシュの速度とレートコントロールユニットの速度が一致しない場合にのみ、速度センサーを校正してください。校正するには、まず 91.44 m (300 ft) のコースを正確に設定します。ProGator™ をコースの始まりの近くに配置します。次に、「System Setup Mode (システムセットアップモード)」に入り、「Speed Sensor Calibration (速度センサーの校正)」画面に達するまで「Pro」キーを押します (既定値 3 710 L/m² (980 gal/acre))。「+」キーと「-」キーを 3 秒間同時に押し続けて、運転を開始します。コースの開始地点と交差したときに、「+」キーを押して校正を開始します。終了地点と交差したときに、「+」キーを押します。速度センサーの新しい校正値が表示されます。新しい値を承認するには、「Pro」キーを押します。

自動速度校正プロセスは、噴霧器タンクに半分入っているときに実施する必要があります。

自動速度校正プロセスは 2 回以上実施し、校正数値の平均値を使用します。

校正値を求めたら、コンソールに入力する必要があります。

圧力センサー

注記： デジタル手動コントロールユニットでは、圧力センサーの校正は不要です。

噴霧器の PTO がオフのときにコントロールユニットの圧力の読み値がゼロではない場合にのみ、圧力センサーを校正してください。

注記： 校正を完了するには、圧力センサーを配管システムから取り外すことが適切な場合があります。

校正するには、噴霧器の PTO がオフであり、システムに圧力がかかっていないことを確認してください。次に、「System Setup (システムセットアップ)」モードに入り、「Pressure Sensor Reference (圧力センサー参照)」画面に達するまで「Pro」キーを押します (既定値 4.00)。校正を開始するには、「+」キーと「-」キーを 3 秒間同時に押します。コントロールユニット画面の左下で、1~10 がカウントされます。カウンターが 10 に達すると、新しい校正数値が表示され、その数値は

4.00 +/- 0.20 である必要があります。新しい値を承認するには、「Pro」キーを押します。

流量計

コントロールユニットに表示されている合計散布量が実際の散布量と一致しない場合にのみ、流量計を校正する必要があります。注記：マスタースイッチが ON の場合、コントロールユニットはいつでも流量を計測します。特に輸送するためなど、3 つのブームすべてをオフにするときは、マスタースイッチをオフにしてフローパルスのカウントを停止してください。流量計を校正するには、「System Setup (システムセットアップ)」モードに入り、「Flow Meter calibration (流量計の校正)」画面に達するまで「Pro」キーを押します (既定値 79.0)。校正を開始するには、「+」キーと「-」キーを 3 秒間同時に押します。校正数値がゼロに設定され、「CAL」がコントロールユニットに表示されます。PTO を接続し、「+」キーを押して校正を開始してブームのセクションをオンにします。既知の液量 (378.5 L (100 gal)) を散布します。既知の量を散布しているときに、コンソールはパルスをカウントします。既知の量を散布したら、マスタースイッチをオフにします。「Pro」キーを押します。散布された既知の量に値を調整するには、「+」キーと「-」キーを押します。次に、「Pro」キーを押すと、新しい校正数値が表示されます。新しい値を承認するには、「Pro」キーを 3 秒間押します。

自動流量計校正プロセスは 2 回以上実施し、校正数値の平均値を使用します。

校正値を求めたら、コンソールに入力する必要があります。

OUO2005,0000166-40-17JUL15

FLO および PRS による調整

TeeJet 自動速度コントローラーには、流量ベース (FLO) または圧力ベース (PRS) の 2 種類の方法で目標の散布量を得る機能があります。

FLO 調整モード

FLO 調整モードでは、コントローラーは流量計から入力信号を受信します。これによりコントローラーが圧力調整バルブを調整し、流量計のパルスに基づいた散布量を得ます。ProGator が加速や減速を行うと、調整バルブが適切な流量計のパルスを維持するように調整を行います。コントローラーに表示される圧力と散布量は、実際の圧力と散布量です。

PRS 調整モード

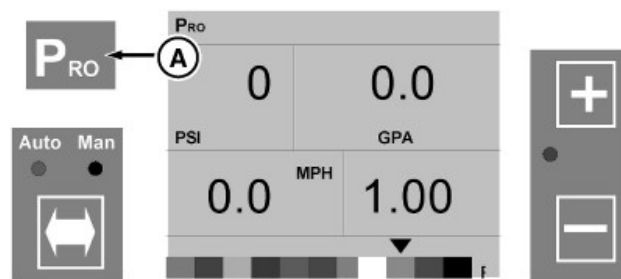
PRS 調整モードでは、コントローラーは圧力センサーから信号を受信し、流量計からの信号を無視します。アプリケーション設定モードから、コントローラーが任意の対地速度とノズルに基づいて圧力の目標値を判断します。コントローラーが圧力センサーから信号を受信し、圧力調整バルブを調整して目標の散布量を維持できるように適切な圧力を得ます。ProGator が加速や減速を行うと、調整バルブが適切なノズル圧力を維持するように調整を行います。コントローラーに表示

される圧力は実際の使用圧力ですが、散布量は速度と圧力に基づく計算上の値です。

これらの調整モードはいずれも散布量の維持を目的とする点で同じです。目的を達するために使用するセンサーが違います。スプレーする薬剤の比重が水に近い場合は、FLO と PRS のどちらでも正確な結果が得られます。しかしスプレーする薬剤の比重が水と異なる場合は、製品の密度を考慮しないと FLO モードで精度を維持することができません。FLO ベースで良好な調整を行うには、「自動速度コントローラーボックスの設定」の指示に従って溶剤の比重をコントローラーに入力する必要があります。PRS モードでは、コントローラーに比重を入力して散布量を維持する必要はありません。

OUO2005,0000167-40-20NOV12

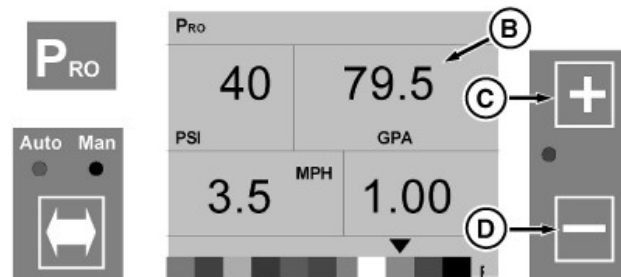
自動比率制御ボックスでの散布量のプログラミング



TCT004511—UN—20AUG12

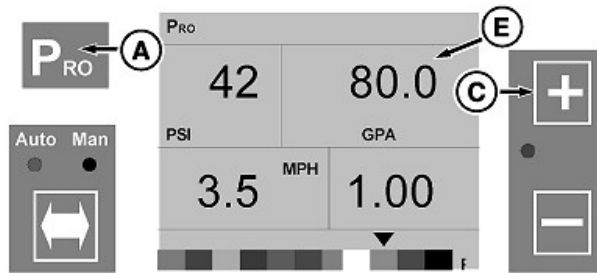
セットアップ

1. 「Pro」ボタン (A) を 2 回押してオペレータ画面を終了し、「Application Setup (アプリケーションセットアップ)」画面に進みます。



TCT004512—UN—20AUG12

2. 画面で散布率 (B) が点滅し、変更可能であることが示されます。設定を変更するには、「+」ボタン (C) または「-」ボタン (D) を押して 0.01 区切りで調整します。

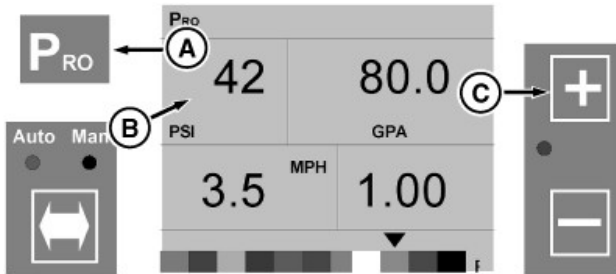


TCT006040—UN—20NOV12

- 「+」ボタン (C) を押して 950 L/ha (80 Gal./acre) (E) に変更します。

注記：残りの圧力、速度、ノズルの計算は自動的に行われます。したがって、散布率は適正です。ただし、これらの値を個別に調整することもできます。コントローラはこれらの数値を保存しませんが、散布率を確認し、適宜変更することができます。

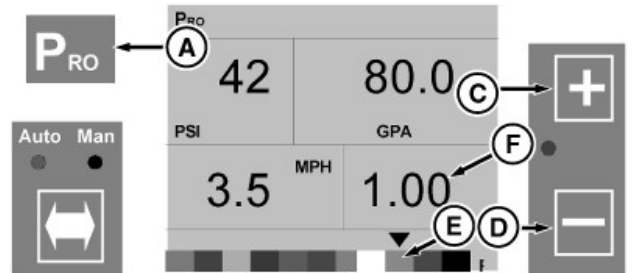
- 新しい散布率を保存するには、「Pro」ボタン (A) を押します。「Pro」ボタンを押しても散布率は保存されません。散布率を保存するには、「Pro」ボタン (A) を 2~3 秒間押し続けます。散布率が保存され、オペレータ画面に戻ります。散布率を保存する前に、散布率調整手順に従って設定を検証します。



TCT004514—UN—20AUG12

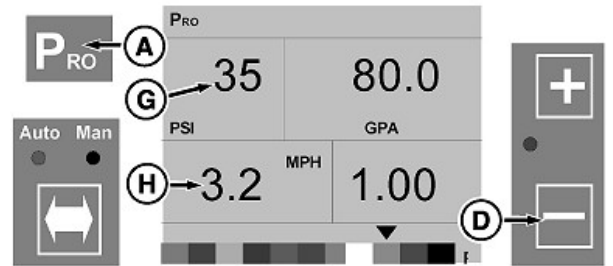
散布率の調整

- 「Pro」ボタン (A) をもう一度押します。psi (B) の数値が点滅します。
- 以下の手順に従って、散布率が適正であることを確認します。
 - 所定のノズルと圧力で必要な散布率を得るために必要な速度をコントロールユニットに計算させるには、圧力を変更します。
 - 所定のノズルと速度で必要な散布率を得るために必要な圧力をコントロールユニットに計算させるには、速度を変更します。
 - 所定のノズルで必要な散布率を得るために必要な圧力をコントロールユニットに計算させるには、ノズルの種類を変更します。



TCT004515—UN—20AUG12

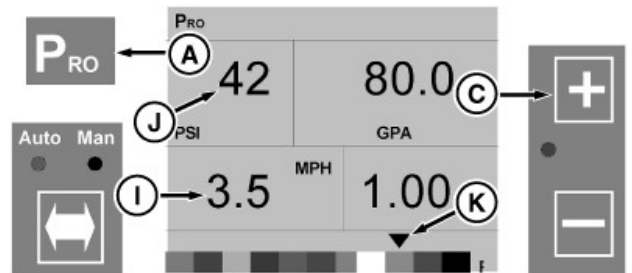
- 「Pro」ボタン (A) と「+」(C) および「-」(D) ボタンを押して、圧力、速度、またはノズルの種類を個々に選択し、必要な目標散布率に達するために各カテゴリで実現する必要がある項目を確認します。前述の例では、薄青のノズル (E) と 3.76 L/min (1.00 gal/min) のチップ (F) を使用しています。



TCT006043—UN—20NOV12

- たとえば、290 kPa (2.90 bar) (42 psi) が圧力設定で高すぎると考えて、240 kPa (2.40 bar) (35 psi) に変更したい場合があります。kPa (bar) (psi) の値 (G) が点滅しているときに、「-」ボタン (D) を使用して、6.89 kPa (0.069 bar) (1 psi) 区切りで圧力を下げます。この調整を行っているときに速度 (H) も変わることがわかります。
- ここで、「Pro」ボタン (A) を押して機械の走行速度を変更できます。「Pro」ボタンを押した後、機械速度 (H) が点滅します。

注記：3.76 L/min (1.00 gal/min) の薄青ノズル、散布圧力 240 kPa (2.40 bar) (35 psi) の場合、必要な圧力で正しい散布率により散布するには、機械が 5.15 km/h (3.2 mph) に減速することを確認しました。速度が上下すると、コントロールユニットがそれに合わせてシステム圧力を調整し、目標散布率を実現します。



TCT004517—UN—20AUG12

- ここでは、速度を変更して圧力への影響を確認します。「+」(C) ボタンを押して速度を 5.63 km/h

(3.5 mph) (I) に調整します。調整すると、圧力 (psi) が 290 kPa (2.90 bar) (42 psi) (J) に変化することがわかります。

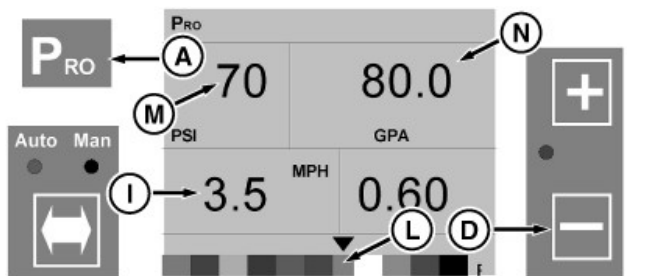
- 「Pro」ボタン (A) を押してノズルの種類を変更できます。ノズル選択矢印 (K) が点滅していることがわかります。

注記： 3.76 L/min (1.00 gal/min) の薄青ノズル、走行速度 5.63 km/h (3.5 mph) の場合、必要な速度で正しい目標散布率により散布するには、圧力レギュレータで圧力を 290 kPa (2.90 bar) (42 psi) に調整する必要があることを確認しました。速度が上下すると、コントロールユニットがシステムを圧力を調整して目標散布率を実現します。

- 5.63 km/h (3.5 mph) の速度が必要であるが、圧力が低すぎると考える場合は、次の 2 つのオプションがあります。

- 散布率を変更する。
- ノズルを変更する。

注記： セットアップ手順のノズル選択セットアップ部分では、散布対象に対してノズルが適切であるかを判定できます。



TCT004518—UN—20AUG12

- 「-」ボタン (D) を使用して、5.63 km/h (3.5 mph) (I) の速度でおおよそ 483 kPa (4.83 bar) (70 psi) (M) の圧力により散布するノズル (L) を見つけます。
- 「Pro」ボタン (A) をもう一度押して始めに戻り、散布率を調整できます。散布率 (N) が点滅します。

注記： 操作モードでは、実際の圧力の読み値、実際の速度の読み値、および実際の散布率が表示されます。このとき、入力は何も点滅していません。



TCT004519—UN—20AUG12

- 散布率を保存するには、「Pro」ボタン (A) を 2~3 秒間押し続けます。
- 第 3 世代コントロールユニット (カラーディスプレイ) 上で「液体比重 (密度) モード」を有効/無効にするには：散布のセットアップ中に、[Auto (自動)/Man (手動)] ボタンを押して、液体比重 (密度) モードを有効または無効にします。このモードが有効になると、画面の上部に [D] が表示されます。

KJ60627,0001026-40-16JUL21

噴霧器の操作

- オプションのエダクターキットが取り付けられている場合は、操作する前にすべてのバルブを閉めます。
- タンク後部の三方弁のハンドルを回してタンクに向けます。
- 噴霧器タンクに半分まで水を入れます。
- お使いのノズルの種類と散布量に応じた移動速度とシステム圧力を求めます。
- 三連ノズル本体を回転させて、スプレーチップを選択します。
- ブームの高さを調整してスプレーチップの角度を合わせ、目標のスプレー角度に応じてノズルを合わせます。
- ProGator のパーキングブレーキをかけ、ギアシフトレバーをニュートラル位置にしてエンジンを始動します。
- ProGator の PTO を接続します。
- 目標の対地速度と用途に応じたギア選択に基づいて、ProGator の RPM を設定します。
- 攪拌機バルブの黄色のノブを回してタンクの攪拌条件を調整します。
- 自動散布量コントロールボックスで散布量をプログラムします。
- 手動またはオプションのエダクタによりタンクに薬剤を充填します。
- タンクに必要な量の水を注入します。
- 適切な移動速度を維持します。
- コントロールボックスのマスターブームスイッチをオンにします。

噴霧器の停止

- マスターブームスイッチをオフにします。
- ProGator の PTO を解除します。

ポンプの使用

噴霧器のポンプの寿命を長くするには、

- 構成部品が損傷するおそれがあるため、ポンプに薬

剤や残留物を一昼夜残したままにしないでください。

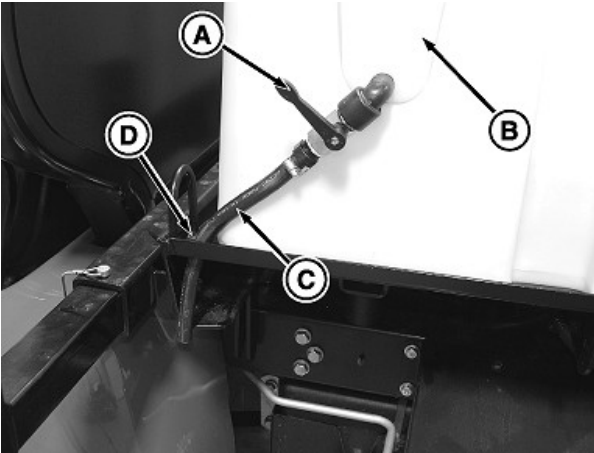
- 乾燥状態のポンプを運転しないでください。
- 指示に従って噴霧器の防寒対策を適切に実施してください。
- 噴霧器に遠心ポンプが装備されている場合は、芝生塗装用途に噴霧器を使用しないでください。

OUO2005,0000169-40-07DEC23

個人用洗浄水タンクの使用

⚠ 注意： けがを防止してください。絶対に、リンス / 洗浄目的で洗浄水タンクに浄水以外のものを充填しないでください。

この容器の水を飲まないでください。内部に含まれる液体は汚染されているかもしれません。



TCT006048—UN—20NOV12

1. 蛇口バルブ (A) を閉めます。
2. フィルカバーの周囲を清掃します。
3. フィルカバーを取り外します。
4. 洗浄水タンク (B) に上水を注入します。
5. フィルカバーを取り付けます。
6. ホース (C) を噴霧器フレームの穴 (D) から取り外します。
7. 蛇口バルブを開きます。
8. 必要に応じて洗い、蛇口バルブを閉めます。
9. ホースを噴霧器フレームの穴に戻します。

OUO2005,000016B-40-27JAN15

噴霧器タンクの充填と排水

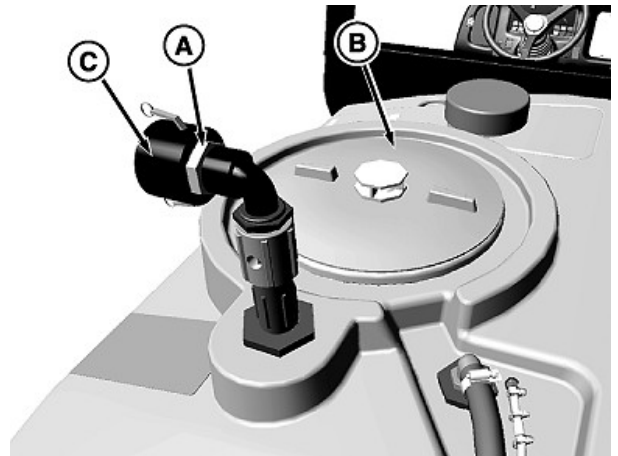
タンクの充填

⚠ 注意： けがを防止してください。薬剤は危険な場合があります。

オペレータや近くにいる人のけがを防止するため、次の手順に従ってください。

- 混合や取り扱いの指示については、薬剤容器ラベルをお読みください。安全データシート (SDS) が薬剤販売店から提供されており、正しい安全情報が掲載されています。
- 噴霧薬剤の取り扱いや散布時は適正な服装と安全器具を着用してください。
- 完全に覆われる服、保護ゴーグル、ゴム手袋を着用してください。
- 薬剤の近くでの喫煙、飲酒、食事はすべて禁止してください。
- タンクに注入するときは、絶対に水ホースの端部を薬剤混合液と接触させないでください。

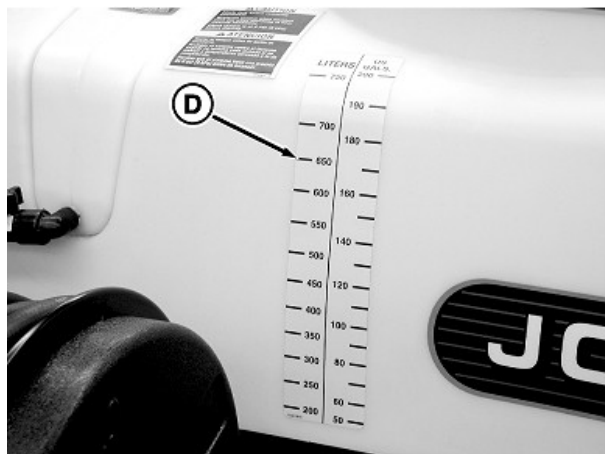
1. 機械を安全に駐車します。



TCT006049—UN—20NOV12

2. 注入にはクイックコネクタコブラー (A) または注入口 (B) を選択します。
3. タンクへの汚染を防ぐため、注入エリアを清掃にします。
4. ダストキャップ (C) をクイックコブラーから取り外し、1 in 継手に接続します。

注記： 容器ラベル上にある、適正な混合割合や散布量についての薬剤メーカーの指示に従います。



TCT006050—UN—20NOV12

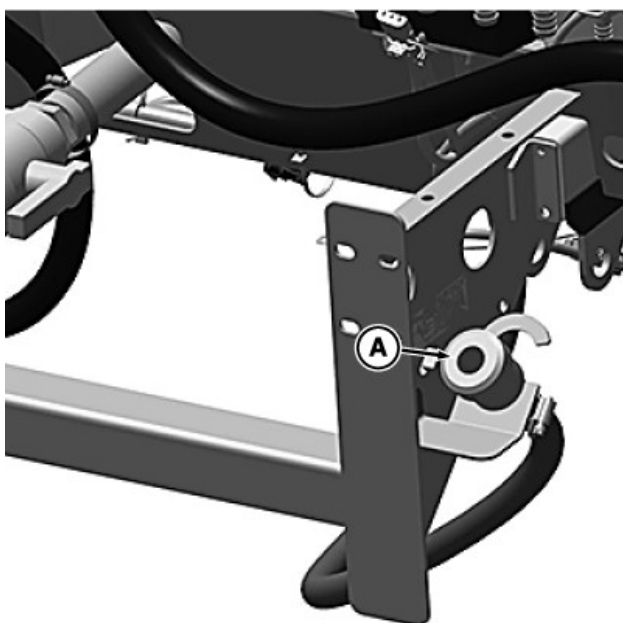
5. タンクに適切な量の薬剤を入れ、上水と混合します。おおよその量を見るには注入マーク (D) を参考にします。

タンクの排水

重要： 損傷を防止してください。

- 余分な噴霧剤を適切に処分することは非常に重要です。水で希釈し、以前に散布済みの面積に散布します。
- 余剰を排水管や、湖または川の近くへ廃棄してはなりません。

1. 薬剤で損傷されることのない場所へ機械を安全に駐車します。雨水管や湖または川の近くに駐車しないでください。
2. タンクの内部を必要に応じてゆすぎます。



TC102034—UN—16JUL21

3. 噴霧器の後部にあるドレンホース (A) の下に容器を置きます。
4. 保持クレードルからホースを取り外します。

5. バルブハンドルを回してホースに合わせ、バルブを開きます。
6. タンクから完全に排水します。

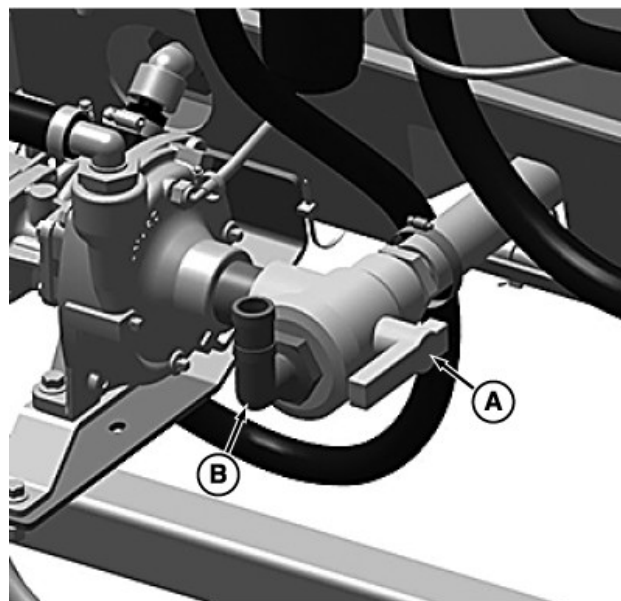
重要： 損傷を防止してください。ポンプを損傷しないようにしてください。タンクの廃液後はそれがホースに垂直になるように、バルブハンドルを回します。

7. バルブを閉じるにはバルブハンドルを 90°回し、ハンドルがホースに対して垂直になるようにします。
8. ホースを保持クレードルに固定します。
9. 正しく処分するかまたは水でゆすいでください。

KJ60627,0001027-40-16JUL21

三方弁の使用

重要： 損傷を防止してください。噴霧器を操作する前に、三方ボールバルブのハンドル(A)上の矢印が、図のようにタンク方向を指していることを常に確認してください。乾燥した状態で作動させると、ポンプは数分もたたないうちに著しく損傷します。



TC102035—UN—16JUL21

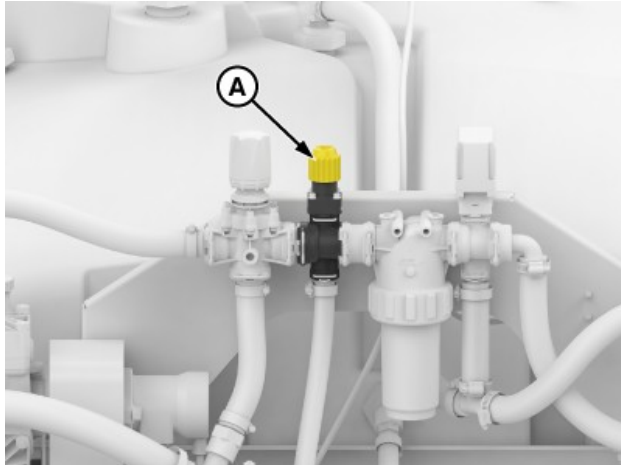
- ハンドル (A) を回して矢印がタンクを指すようにし、噴霧器を操作するとき液体がタンクから出てくるようにします。
- オプションのリンスタンクが取り付けられている場合は、液体をポート (B) から引き出すために矢印がタンクとは違う方向を指すようにハンドルを回します。
- 三方弁のハンドルが垂直位置にある場合、液体はポンプに流れません。

KJ60627,0001028-40-16JUL21

攪拌機の使用

三方弁のハンドルが垂直位置にある場合、液体はポンプに流れません。

1. 噴霧器を停止します。
2. 機械を安全に駐車します。

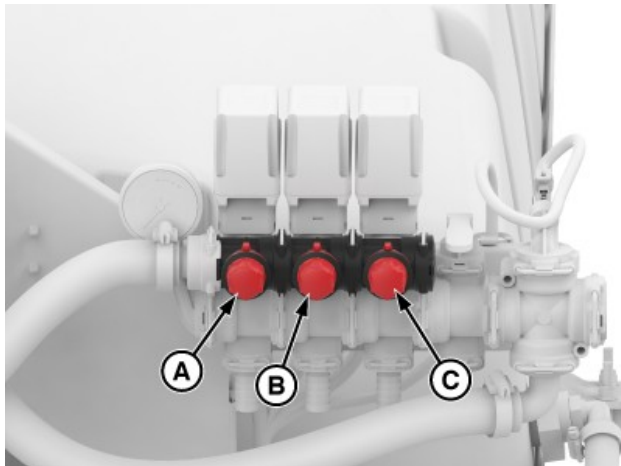


TC699130—UN—13JAN26

3. 攪拌機バルブのノブ (A) を反時計回りに回して開き、必要な攪拌率を設定します。
4. 通常の散布作業を再開します。
5. 攪拌機を停止するには、次の手順に従います。
 - a. 噴霧器を停止します。
 - b. 機械を安全に駐車します。
 - c. 攪拌機バルブのノブを閉位置まで時計回りに回します。

YCWRHFR,1766985602755-40-28DEC25

スロットルバルブの調整



TC699131—UN—24DEC25

1. 3つのスロットルバルブノブすべてを回します。左 (A)、中央 (B)、右 (C) のすべてのノブを時計回りに 0 まで、つまり完全に OFF の位置まで回します。

注記：自動レートコントロールボックスを使用している場合は、この手順を実行するために手動コントロールに設定する必要があります。

2. 機械の正面に行き、手動コントロールボックスまたは自動比率制御ボックスを使って 3 つすべてのブームバルブをオンにします。
3. 手動コントロールボックスまたは自動レートコントロールボックスを使用して、マスターコントロールをオンにします。
4. コントロールボックスの作動噴霧圧力をメモします。
5. 前部のコントロールボックスで、右ブームセクションをオフにします。

注記：ブームセクションをオフにすると、作動噴霧圧力が増加します。

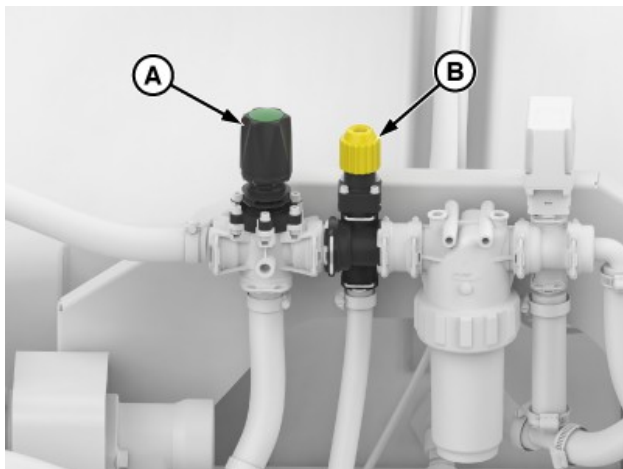
6. 右スロットルバルブノブ (C) を調整して、前述の操作噴霧圧力にします。
7. 前部のコントロールボックスで、右ブームセクションをオンにし、中央セクションをオフにします。
8. 前述の操作噴霧圧力になるようにセンタースロットルバルブノブ (B) を調整します。
9. 前部のコントロールボックスで、センタースロットルセクションをオンにし、左セクションをオフにします。
10. 左スロットルバルブノブ (A) を調整して、前述の操作噴霧圧力にします。
11. 3つのブームセクションすべてをオフにしてからオンにした後、3つのブームセクションのいずれかをオフにすることにより、各スロットルバルブの設定を点検します。操作噴霧圧は変わりません。

YCWRHFR,1766985651181-40-30DEC25

システム逃し圧力の設定 (ダイアフラムポンプのみ)

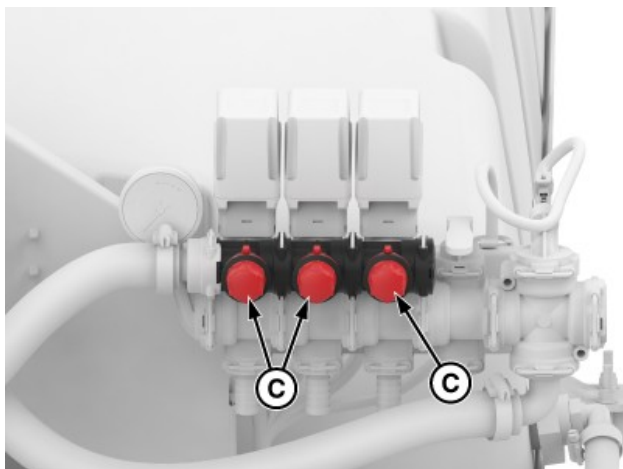
システムがデッドヘッド状態になった場合は、ダイアフラムポンプキットに圧力リリーフバルブが付属しており、液体をタンクに戻す経路が提供されます。このバルブは、圧力が 1000 kPa (10 bar) (145 psi) に達したときにシステムを保護するように初期セットアップ時に設定する必要があります。

1. オプションのエダクターキットが取り付けられている場合は、操作する前にすべてのバルブを閉めます。
2. タンク後部の三方弁のハンドルを回してタンクに向けます。
3. 噴霧器タンクに半分まで水を入れます。



TC699132—UN—13JAN26

4. 圧力逃し弁の緑色のノブ (A) を反時計回りにいっぱいまで回して開きます。
5. 機械の駐車ブレーキをロックしてエンジンを始動します。
6. 機械の PTO を接続します。
7. 機械をフルエンジン回転数に設定します。
8. 攪拌弁の黄色のノブ (B) を時計回りにいっぱいまで回して閉めます。



TC699133—UN—24DEC25

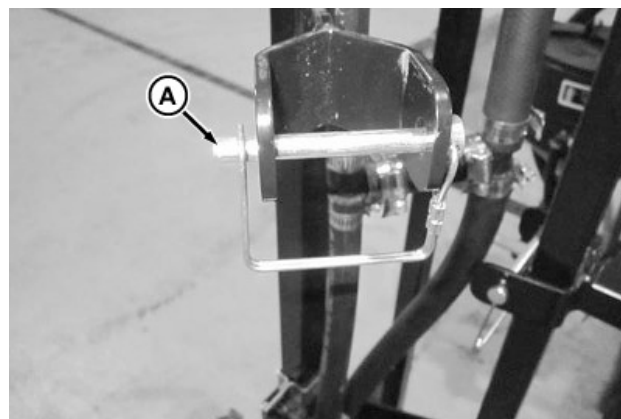
9. スロットルバルブ 3 個の赤色のノブ (C) をすべて時計回りにいっぱいまで回して閉めます。
10. 噴霧器後部の液体圧力計の読み値が 700 ~ 1000 kPa (7 ~ 10 bar) (100 ~ 145 psi) になるまで、圧力逃し弁の緑色のノブを時計回りに回します。

注記：一般的な用途には 100 psi をお勧めします。

11. これにより、ダイヤフラムポンプシステムの逃し圧力が設定され、高い噴霧圧力が必要にならない限り、さらに調整する必要はありません。圧力逃し弁を 200 psi よりも高い圧力に調整しないでください。

YCWRHFR, 1766985714934-40-30DEC25

ブームウイングの使用



TCT012910—UN—17JUL15

1. スプリングロックピン (A) を取り外します。
2. ピンを保管チューブに入れてラッチをかけます。

重要： 損傷を防止してください。ブームウイングが上昇位置にある場合、噴霧器を操作しないでください。

ブームウイングが上昇位置にあり、輸送の準備が整っている場合は、スプリングロックピンが取り付けられウイングが固定されていることを確認してください。

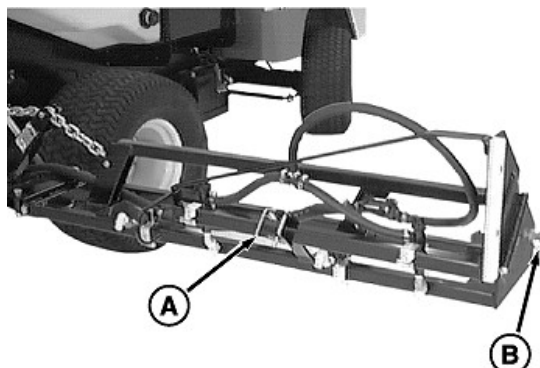
3. 左右のブームウイングスイッチを「RAISE (上昇)」または「LOWER (下降)」位置に動かして、必要の高さになるまでブームウイングを上昇または下降させます。

OUC02005.0000171-40-17JUL15

ブームウイング延長部の使用 (4.6/6.4 m (15/21 ft) ブームのみ)

注記：延長部を使用しない時は、元の位置にピンを固定しボールバルブを閉じます。

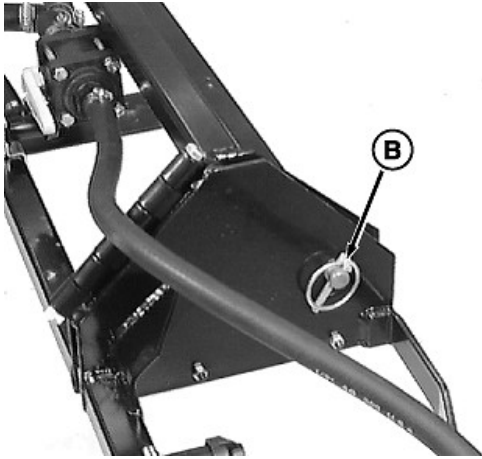
1. ブームウイングを作業位置まで下げます。



TCT006058—UN—20NOV12

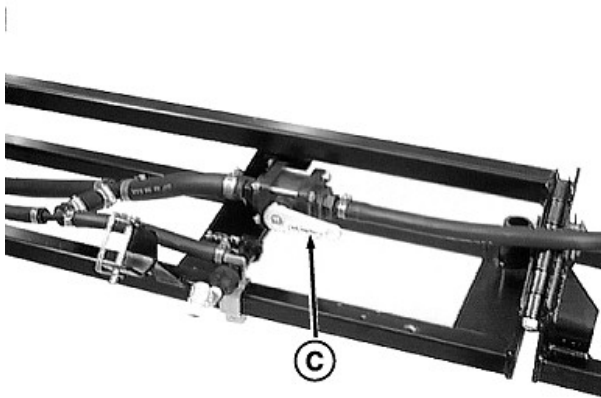
2. ワイヤロックピン (A) とクイックロックピン (B) を取り外します。

ブーム高さの調整



TCT006059—UN—20NOV12

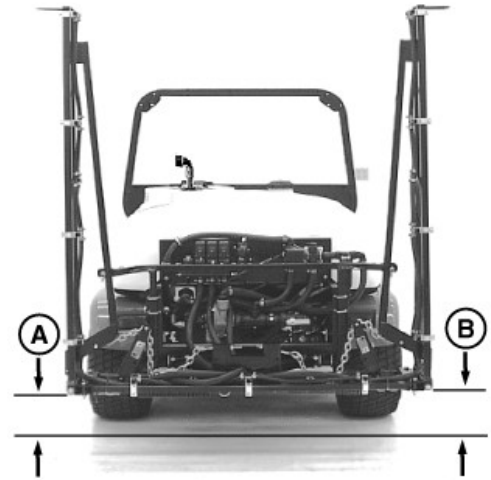
3. ブームウイング延長部を展開し、クイックロックピン (B) を取り付けます。



TCT006060—UN—20NOV12

4. ボールバルブのハンドル (C) を、
 - スプレー時は水平にして開きます。
 - ブームウイング延長部をたたんで使用しない時は垂直にして閉じます。
5. ワイヤロックピン (A) を取り付けます。

OOU2005,0000172-40-20NOV12



TCT004575—UN—15AUG12

ブームウイングのセクション (装備されている場合はエクステンションを含む) を展開できる十分な空間を備えた平坦で水平な面に機械を安全に駐車します。

注記： スプレーブームセンターセクションの高さ測定と水平調整は、機械への負荷を均一にするために両方のスプレーブームウイングを同じ位置 (上昇位置または下降位置) にして実施する必要があります。

ブームセンターセクションの調整

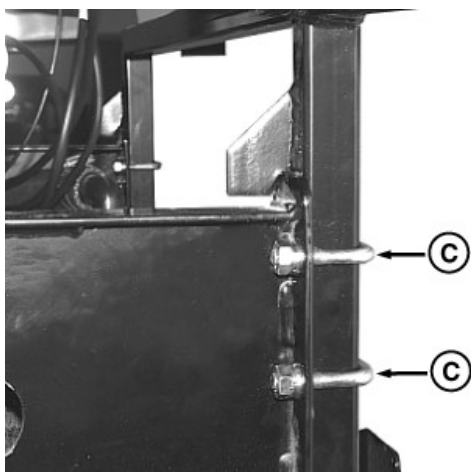
注記： 高さ調整と水平調整を実施するには、噴霧器装置を機械に取り付ける必要があります。

ブームセンターセクションは、水平であり、スプレーノズルがノズル散布角と意図する散布に対応する正しい高さにあるように配置する必要があります。

1. タイヤ圧力を点検します。各タイヤの空気圧が等しく、取り付けられている噴霧器装置の仕様内であるように必要に応じて調整します。
2. 地面とノズルチップの間の距離を測定します。測定値 (A) と (B) は等しい必要があります、最小 50 cm (20 in) である必要があります。

注記： ブームアセンブリの概略重量は約 111 kg (245 lb) です。ブーム高さを調整するときは、適切な能力を備えた吊り上げ装置を使用して、ブームアセンブリを吊り上げて支持します。

3. 高さ調整が必要な場合は、ブームアセンブリを均一に支持します。センターブームの両側にホイストとスリングの組み合わせ、またはフロアジャッキを使用します。



TCT004576—UN—07AUG12

4. ブームセンターセクションをサポートフレームに固定している U ボルトクランプ 4 個 (C) を緩めます。
5. ブーム高さが必要な高さになり、ブームが水平になるまで、センターセクションの位置を調整します。
6. すべての U ボルトクランプを締め付けます。
7. ブームウイングセクションの調整に進みます。

CB12260,00002EB-40-17JUL15

ブームウイングレベルの調整



TCT004577—UN—15AUG12

注記：ブーム中央部の高さや水平の調整をしてから、ブームウイング部の確認または調整を行います。
(「ブーム高さの調整」を参照。)

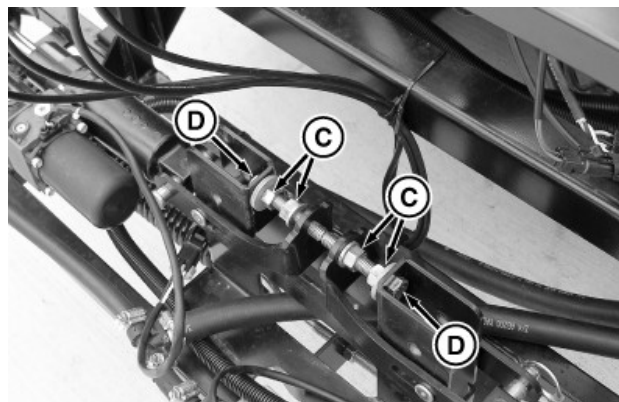
注記：スプレーブームのレベルの測定と調整は、両方のスプレーブームウイングを下げ、両方のウイング延長部 (装備されている場合) を折りたたむか展開して、作業機の両側の負荷を均等にした状態で行う必要があります。

ブームウイングレベルの調整

ブームウイング部は水平にし、ウイング部のスプレーノズルの高さが両側と中央部で同じになるように調整する必要があります。

注記：下げた状態のスプレーブームウイングをリフトアクチュエータで支えないでください。測定と調整はスプレーブームウイングを完全に下げた状態で行い、拘束チェーンのみで最大ドロップをコントロールできるようにします。

1. ブームウイング部を完全に下げます。
2. 地面とブームウイング両端との間隔を測定します。
(A) と (B) の測定値は同じで、ブーム中央部の測定値と同じになる必要があります。
3. 必要に応じてブームウイングレベルを調整し、ブームウイング (またはウイング延長部) の外側の端部がブーム中央部の高さと同じになるようにします。



TCT004578—UN—07AUG12

4. ブームウイングレベルを調整するには、
 - a. ナット (C) を緩めます。
 - b. ボルト (D) を締めるか緩めることにより、ブームウイングの端部を上下させます。
 - c. ナット (C) を完全に締めます。

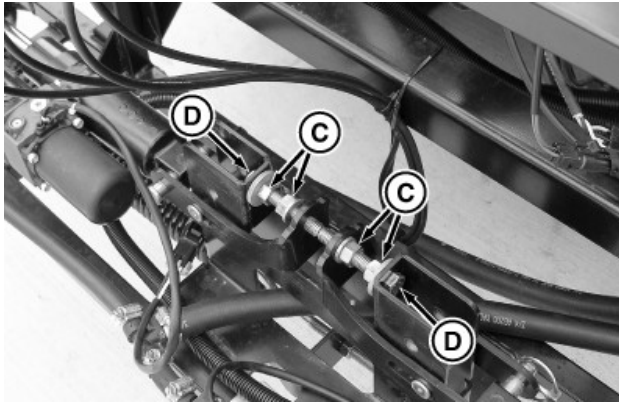
グラウンドホイール (装備されている場合) によるブームウイングのレベル調整

1. ブームのレベルを調整します。
2. ブームとウイングからロックピンを外し、完全に下げます。



TCT004579—UN—15AUG12

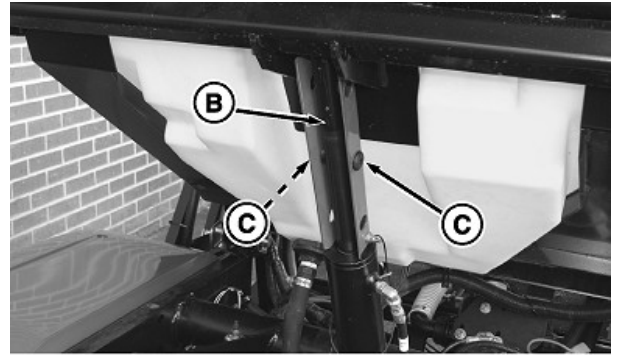
3. 地面とブームウイング両端との間隔を測定します。
(A) と (B) の測定値は同じで、ブーム中央部の測定値と同じになる必要があります。
4. ブームウイングレベルを調整するには、



TCT004578—UN—07AUG12

- a. ナット (C) を緩めます。
- b. ボルト (D) を締めるか緩めることにより、ブームウィングの端部を上下させます。
- c. ナット (C) を完全に締めます。

OUO2005,0000177-40-07DEC12



TCT006065—UN—20NOV12

- b. リフトシリンダロッド (B) に安全支持具を取り付けます。リフトシリンダロッドが安全支持具のゴム製のグロメット (C) の間にあることを確認します。
5. 安全支持具を取り外してからカーゴボックスを下げます。

OUO2005,0000175-40-20NOV12

噴霧器の上昇および下降

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. 「噴霧器のタンクの注入およびドレン」の指示事項に従い、タンクの最低注入マークより下までタンク内の液体をドレンしてからカーゴボックスを上げます。
3. お使いの ProGator のオペレータマニュアルの指示事項に従い、カーゴボックスを上下させます。

⚠ 注意： けがを防止してください! アタッチメントは重いので危険です。

- 上に上げたアタッチメントは、機械式ロックかその他の安全な方法で支持したうえで整備してください。
- すべてのアタッチメントから材料を排出してから整備してください。

4. 作業機の安全支持具を取り付けてから整備します。



TCT006064—UN—20NOV12

- a. 右側の車両後部にある保管位置から安全支持具 (A) を取り外します。

輸送

重要： 損傷を防止してください! 輸送中は常に噴霧器の高さと幅に注意してください。

1. エダクタを取り付けている場合は輸送位置にしてください。
2. 余った薬剤を希釈して噴射することにより安全にタンクを空にします。
3. 機械を安全に駐車します。
4. 噴霧器のタンクを洗い流してドレンします。
5. 装備されている場合は、ブームウィングの延長部を折りたたんで固定します。
6. ブームウィングを上げて直立位置で固定します。
7. 必要に応じてブームに注意喚起の旗を付けます。

OUO2005,0000176-40-20NOV12

取り外しと保管

取り外し前の作業機の準備

1. 機械を安全に駐車します。
2. 噴霧器のタンクを空にして荷重を減らしバランスを調整します。
3. ブームウィングを直立位置で固定します。

MX00654.000021A-40-19NOV12

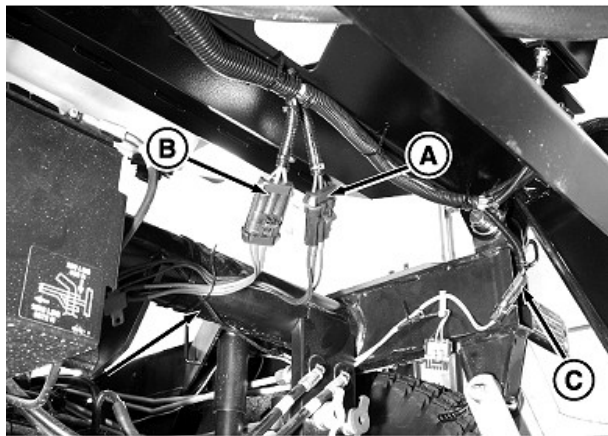
油圧ホースの切り離し

⚠ 注意： けがを防止してください! 圧力流体が噴き出ると、皮膚に侵入して壊疽等の大けがをする恐れがあります。

- 油圧または他の加圧状態のラインの接続を外す前に、圧力を解放してください。
 - ボール紙や木片で漏れを探してください。 高圧流体に手や体を曝さないでください。
 - また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。
1. 作業機後部の黄色および赤色のメス形クイックカプラーから、噴霧器の油圧ラインを切り離します。 リフトシリンダのラインは接続したままにします。
 2. ダストキャップを噴霧器の油圧ラインとクイック解除カプラーに取り付けます。

MX00654.000021B-40-19NOV12

後部ワイヤハーネスの接続解除



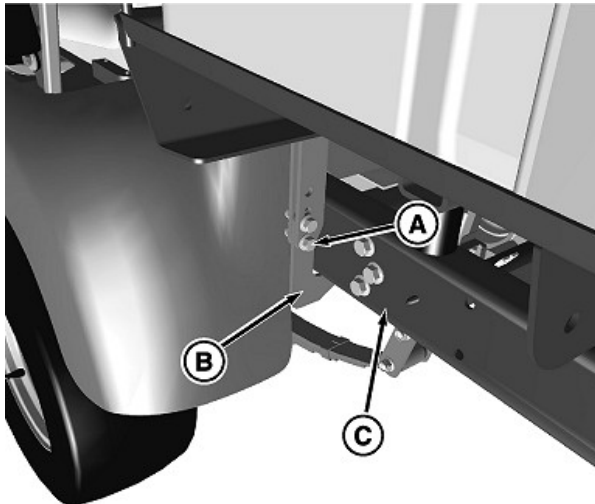
TCT006005—UN—26NOV12

重要： 損傷を防止してください。機械からユニットを取り外す前に、すべての噴霧器補助装置の電気およびホースの接続を外します。

1. 噴霧器メインハーネスの大型のハーネスコネクタ (A) とコネクタ (B) の接続を外します。
2. 噴霧器メインハーネスの大型のハーネスコネクタ (C) の接続を外します。

MX00654.000021C-40-16JUL15

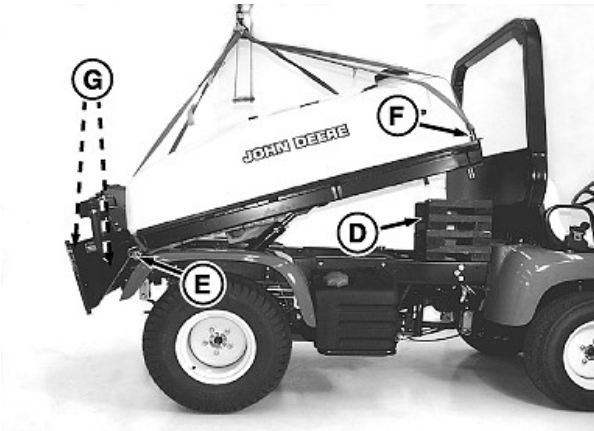
サポートスタンドを使用しない噴霧器の取り外し



TCT006006—UN—26NOV12

⚠ 注意： けがを防止してください! 安全でないリフト装置やサポートから機械が落下したり、滑り落ちたりすることがあります。

- 持ち上げる荷重に適した安全なリフト装置を使用してください。
 - 機械をジャッキスタンドやその他の安定したサポートの上に降ろし、整備前にホイールをブロックしてください。
1. 作業機を安全なリフト装置付近に安全に配置してください。
 2. 噴霧器のワイヤハーネスが噴霧器から完全に切り離されていることを確認します。
 3. 下側の M10 ロックナットと M10x35 ボルト (A) を取り外し、フレームクランプ (B) をフレーム (C) からオープン側へ回転できるようにします。 反対側で繰り返します。
 4. クランプを上へ回転させ、M10x35 ボルト (A) と M10 ロックナットを取り付けてクランプをオープン位置に固定します。
 5. リフトシリンダのコントロールレバーでリフトシリンダのロッドを約 25~30 cm (10~12 in.) 伸ばし、リフトシリンダの接続ピンにアクセスできるようにします。
 6. エンジンを停止し、キーを抜いてパーキングブレーキをかけます。



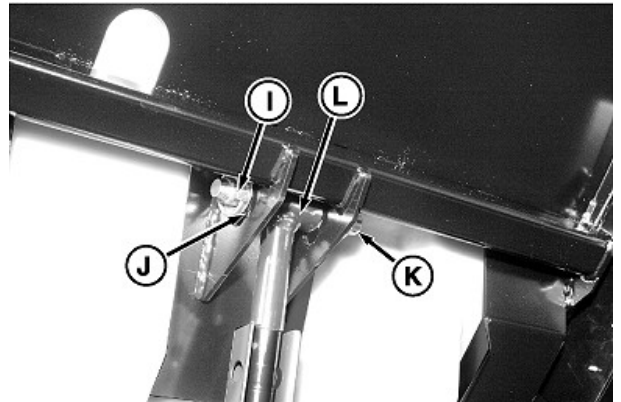
TCT006007—UN—26NOV12

7. 作業機のフレームと噴霧器のフレームの間に安全スタンド (D) を取り付けます。
8. 装置がホイスティングで釣り合うように、噴霧器にリフトストラップまたはチェーンを取り付けます。リア側の取り付け穴 (E) には直接接続しないでください。
9. リフトストラップを噴霧器のフレームのフロント側にあるリフトループ (F) に取り付けます。
10. フレームの後部 (G) の周りにストラップを取り付けます。



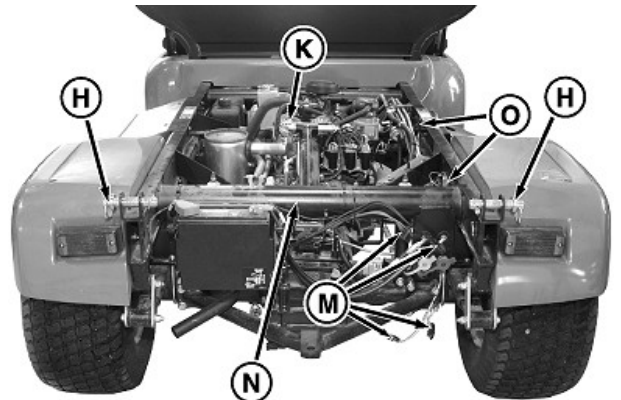
TCT006008—UN—26NOV12

11. 噴霧器のフレームを少し持ち上げ、作業機後部のクイックロックピンとピボットピン (H) を取り外します。



TCT006009—UN—26NOV12

12. リフトシリンダのロッドエンド (L) のスプリングロックピン (I)、M6 座金 (J)、および接続ピン (K) を取り外します。
13. 噴霧器を作業機から持ち上げ、水平な面に置きます。噴霧器からリフトギアを取り外します。

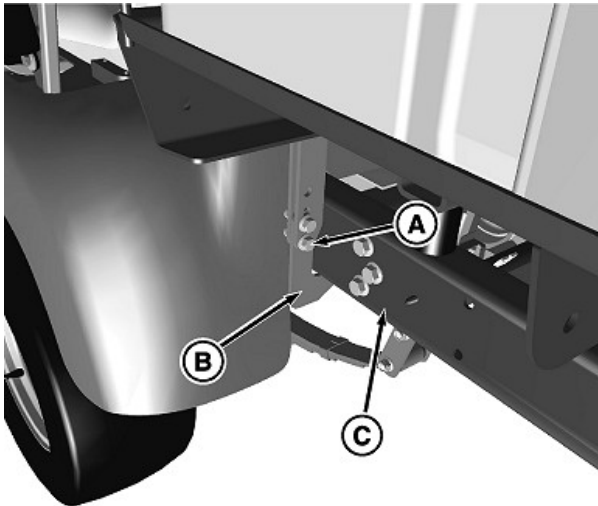


TCT006010—UN—26NOV12

14. 保管のために作業機の後部にピボットピン (H) を取り付けます。
15. 保管のためにリフトシリンダに接続ピン (K) を取り付けます。
16. 作業機のフレームから安全スタンドを取り外します。
17. 噴霧器のワイヤハーネス (M) の余りを、フレームチューブ (N) の下とフレーム (O) に沿って作業機の後から前へ取り回します。可動部品から離して結束ストラップで固定します。

MX00654,000021D-40-19NOV12

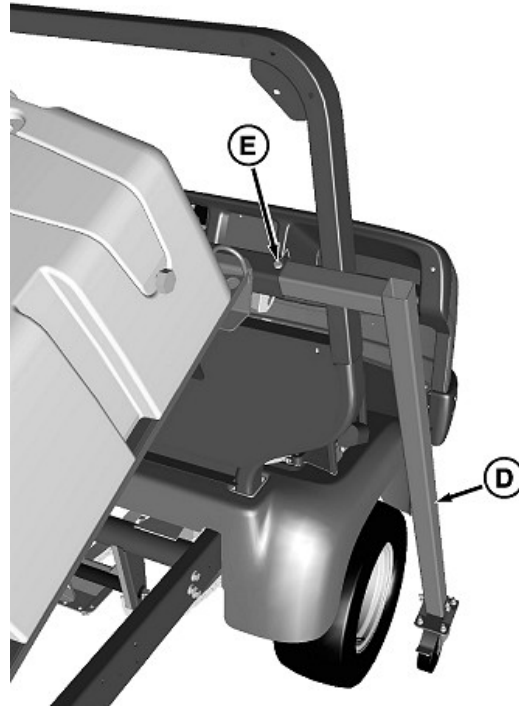
オプションのサポートスタンドを使用した噴霧器の取り外し



TCT006006—UN—26NOV12

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. 噴霧器のワイヤハーネスが噴霧器から完全に切り離されていることを確認します。
3. 下側の M10 ロックナットと M10x35 ボルト (A) を取り外し、フレームクランプ (B) をフレーム (C) からオープン側へ回転できるようにします。反対側で繰り返します。
4. クランプを上へ回転させ、M10x35 ボルト (A) と M10 ロックナットを取り付けてクランプをオープン位置に固定します。
5. 作業機のリフトシリンダのコントロールレバーでリフトシリンダのロッドを約 25~30 cm (10~12 in.) 伸ばし、リフトシリンダの接続ピンにアクセスできるようにします。
6. エンジンを停止し、キーを抜いてパーキングブレーキをかけます。
7. 本マニュアルの「コントロールボックスの取り外しおよび保管」の指示事項に従ってください。

注記： 右側と左側にサポートスタンド (D) があります。



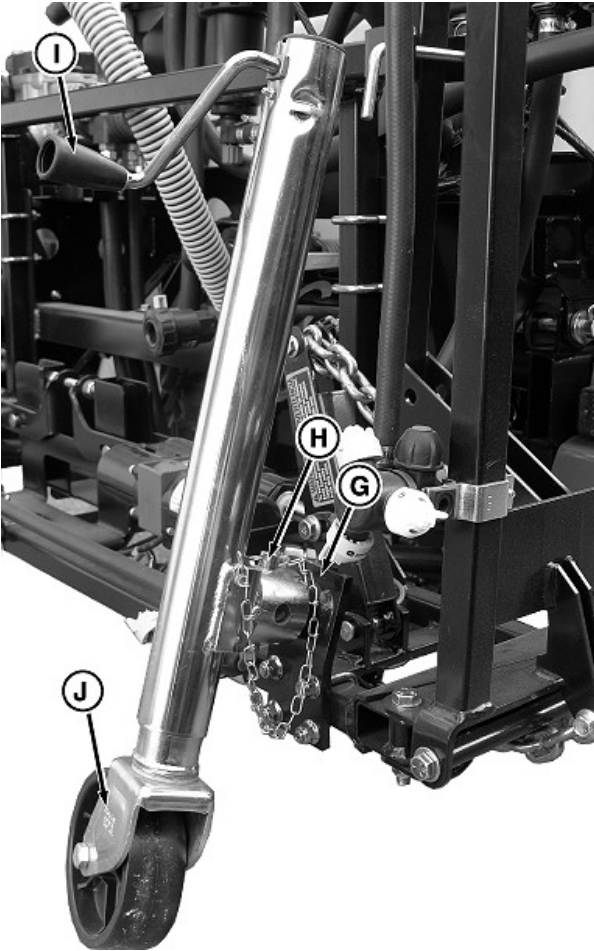
TCT006011—UN—26NOV12

8. フロントサポートスタンド (D) をサポートスタンドのブラケットに挿入し、クイックロックピン (E) で固定します。



TCT006012—UN—26NOV12

- a. ブラケット (F) の角度が作業機のリアに向くようにして、噴霧器の横にフロントサポートスタンドを取り付けます。
- b. 反対側で繰り返します。
9. 作業機のリフトシリンダのレバーを前に押して、フロントサポートスタンドが水平な地面に着くまで噴霧器を下げます。



TCT006013—UN—26NOV12

右側のサポート位置

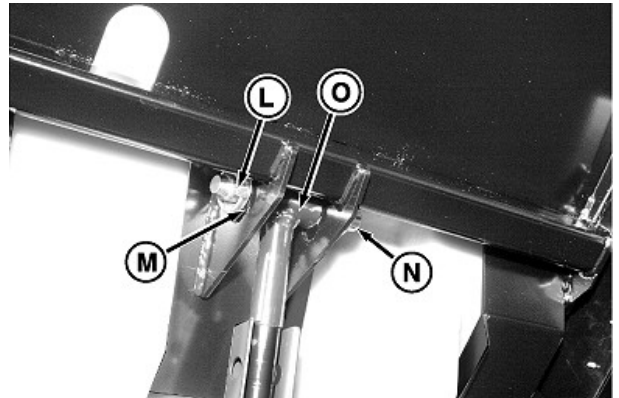
10. ジャッキベースブラケット (G) に調整式ジャッキを垂直方向に取り付けます。ピン (H) を取り付けてジャッキをジャッキベースブラケットに固定します。
11. ハンドル (I) を回してジャッキのホイール (J) が水平な地面に着くように下げて調整します。反対側で繰り返します。



TCT006014—UN—26NOV12

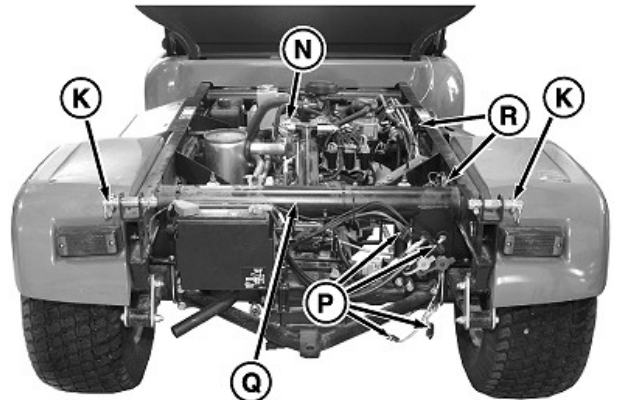
12. 作業機後部のピボットピン (K) が前後に動くように

なるまで、両側のジャッキを回します。 クイックロックピンとピボットピン (K) を取り外します。



TCT006015—UN—26NOV12

13. リフトシリンダのロッドエンド (O) のスプリングロックピン (L)、M6 座金 (M)、および接続ピン (N) を取り外します。
14. 噴霧器アセンブリがフレームから完全に離れるまで、それぞれのハンドル (I) を等分に回します。タンクの底からドレンホースを離せるまで噴霧器を上には上げていることを確認します。
15. 作業機をゆっくり運転して噴霧器アセンブリから離します。



TCT006016—UN—26NOV12

16. 保管のために作業機の後部にピボットピン (K) を取り付けます。
17. 保管のためにリフトシリンダロッドに接続ピン (N) と金具を取り付けます。
18. 噴霧器のワイヤハーネス (P) の余りを、フレームチューブ (Q) の下とフレーム (R) に沿って作業機の後から前へ取り回します。可動部品から離して結束ストラップで固定します。

MX00654.000021E-40-06DEC12

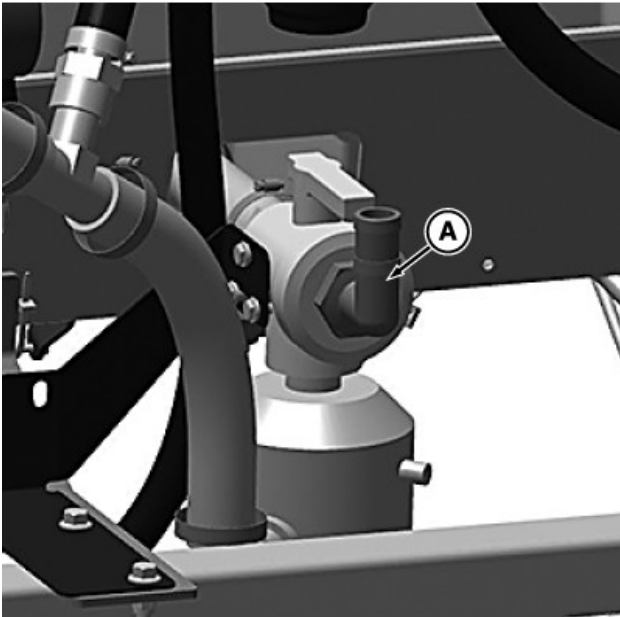
安全な保管

⚠ 注意： けがを防止してください! 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- 保管場所へまたは保管場所からの移動に必要な時間のみエンジンを運転してください。
- 作業機が冷める前に保管したり、エンジンおよびマフラー周辺からごみを取り除かない、あるいは可燃性の物質の近くに保管すると、作業機や構造から火災が発生するおそれがあります。
- タンクに燃料が残っている車両を、燃料蒸発ガスが直火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- 閉鎖区域に機械を保存する前にエンジンを冷ましてください。

MX00654,000021F-40-19NOV12

冬季準備と保管



TC102031—UN—14JUL21

噴霧器

1. 余分な薬剤を希釈して空のタンクに噴霧します。
2. 機械を安全に駐車します。
3. 噴霧器タンクを洗浄して抜き取ります。
4. 攪拌機バルブの黄色のノブを完全な閉位置まで時計回りに回します。
5. 三方ボールバルブのエルボニップル (A) が上向きになっていることを確認します。必要に応じて回転させます。
6. ハンドルが水平でタンクから離れる方向に向くように、三方ボールバルブを回します。

7. RV 不凍液をエルボニップルユニットが満杯になるまで注ぎます。
8. ポンプを短く起動して不凍液を循環させてから、ポンプを停止します。
9. 手順 7、8 を繰り返して、不凍液がポンプとすべての後部配管を通して循環するようにします。
10. 不凍液をエルボニップルが満杯になるまで追加します。
11. 装備されている場合は、ブームウイング延長部を折りたたんで戻した位置に折りたたみ、ロックします。
12. ブームウイングを直立位置に持ち上げてロックします。

フォームマーカ (装備されている場合)

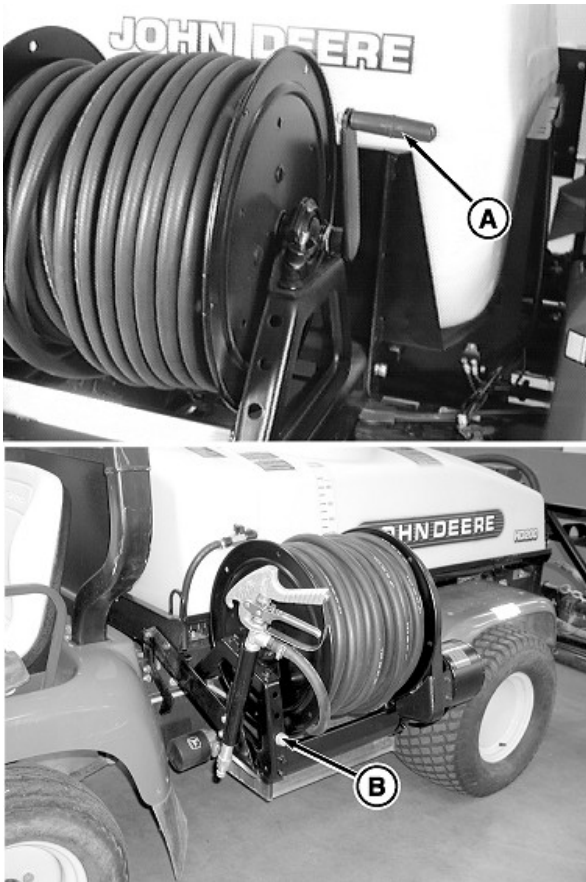
フォームマーカを保管する準備をするには、次の手順を実行します。終了したら、すべての配管と濡れた部品に、RV 不凍液が充填されます。これは乾燥貯蔵よりも優先されます。

1. マーカータンクを空にし、タンク出口部分のストレーナを掃除するか、交換します。
2. タンクストレーナとストレーナカバーを取り付けます。

注記： RV 不凍液容器ラベルの安全と混合に関する指示に従ってください。

3. マーカータンクに RV 不凍液を充填します。
4. フォームマーカを両側でそれぞれ 2 分間正常に作動させます。これにより、水/マーカ剤の溶液が除去され、システムに不凍液が充填されます。
5. フォームマーカキャビネットの内側を清掃します。
6. エアポンプインレットフィルタを清掃します。

ホースリール (装備されている場合)



TCT006018—UN—26NOV12

1. 機械を安全に駐車します。
2. ホースリール弁レバーを OFF 位置にします。
3. ハンドガンを短く操作して、空気圧をホースから抜きます。

⚠ 注意： けがを防止してください。可動部分は砕けたり切断する可能性があります！手を近づけないでください。ガードを外した状態で操作しないでください。

電動ホースリール - 最後の 2 m (6.5 ft) で手動で巻き取って、高速巻きホースによるけがを防止します。

4. 次のようにホースをリールに巻き付けます：
 - a. 手動ホースリール：ハンドル (A) を手動で回しながらホースをガイドするには、片手を使用します。
 - b. 電動ホースリール：電源スイッチ (B) を押して電気モーターを起動し、リールのホースを自動的に巻きます。ホースの誘導中は、ドラムに手を近づけないようにします。ホースの最後の 2 m (6.5 ft) を手動で巻きます。
5. ハンドガンを保管チューブに配置します。

個人用洗浄水タンク

個人用洗浄水タンクを保管する準備をするには、次の手順を実行します。

1. 洗浄水タンクを抜き取り、必要に応じて清掃します。
2. 必要に応じて、タンクの内側を清掃して洗浄します。
3. 栓を開いてすべての水を抜き取ります。
4. 水分を抜き取る前に栓を開いたままにしてください。

KJ60627,000101B-40-14JUL21

保管からの復帰

重要： 損傷を防止してください！一部の RV アンチフリーズ溶液は環境に有害です。溶液は容器に入れ、メーカーの指示に従って廃棄してください。

スプレーヤー

1. 噴霧器のタンクを清浄な水で部分的に満たします。
2. スリーウェイボールバルブのハンドルを噴霧器のタンクに向けて回します。
3. RV アンチフリーズがシステムから除去されるまで噴霧器を作動させます。

フォームマーカ (装備されている場合)

1. マーカータンクをドレンし、タンクのアウトレットストレーナを洗浄または交換します。

注記： RV アンチフリーズの容器のラベルに記載されたすべての安全対策の指示事項に従ってください。

2. 清浄な水または特別な希釈用液を使用し、マーカータンクを満たします。
3. アンチフリーズのすべての痕跡が消えるまで、両側で通常通りフォームマーカを作動させます。
4. マーカータンクから残った清浄な水または特別な希釈用液をドレンします。タンクのストレーナが清浄で適切に取り付けられていることを確認します。ストレーナのカバーを取り付けて締め付けます。
5. フォームマーカのキャビネット内部を清掃します。
6. フォームマーカのタンクを満たします。
7. フォームがフォームノズルから出てくるまで、最大フォーム速度でフォームマーカを作動させます。反対側で繰り返します。
8. 通常のフォーム速度に調整します。

個人用洗浄タンク

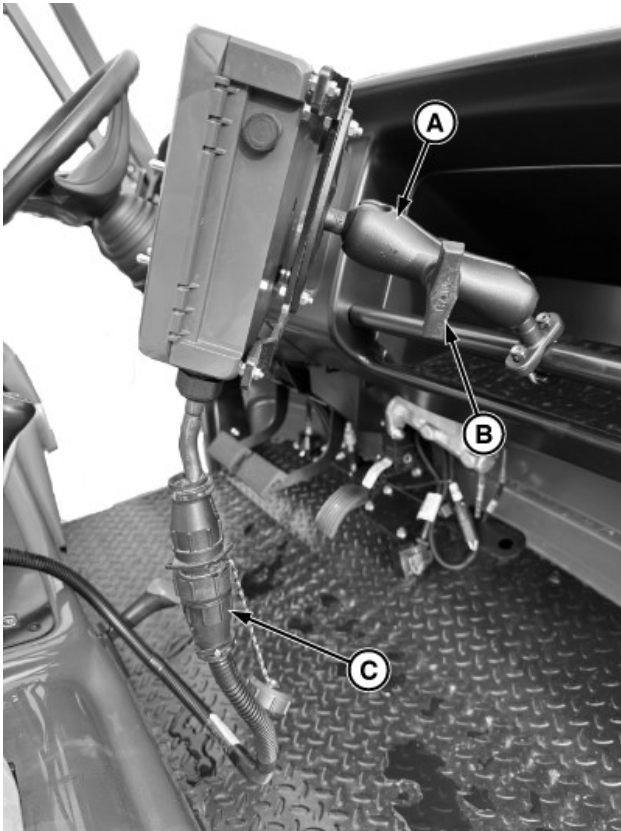
1. 数ガロンの清浄な水をタンクに注入してドレンさせ

ます。これによりタンク、栓、およびドレンホースからごみを洗い流します。

2. 栓を閉じます。
3. タンクを清浄な水で満たします。
4. カバーを取り付けて締め付けます。
5. 栓を開くと、水がホースからスムーズにドレンされることを確認します。水の排出が遅いかまったく出ない場合は、カバーのベントを点検し清掃します。

MX00654,0000221-40-19NOV12

コントロールボックスの取り外しと保管



TC699122—UN—24DEC25

1. コントロールボックスと取り付けられているブラケットがブラケット (A) から取り外すことができるようになるまで、アームソケットノブ (B) を緩めます。
2. ワイヤハーネス (C) の接続を外します。
3. コントロールボックスを乾燥した非腐食性環境に保管します。

YCWRHFR,1766985904120-40-28DEC25

取り付け

オプションのサポートスタンドを使用しない 作業機への噴霧器の取り付け

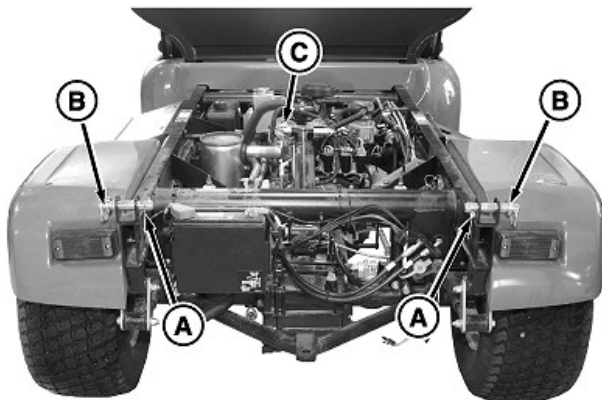
作業機への噴霧器の最初の取り付け手順については、「組立」のセクションに記載しています。最初の取り付け作業後に作業機へ噴霧器を取り付ける際のチェックリストを以下に示します。

- ☐ 安全なリフト装置かサポートスタンドを使って作業機のフレームに噴霧器のタンクを取り付けます。
- ☐ リアワイヤハーネスを接続します。
- ☐ 噴霧器の油圧ホースを接続します。
- ☐ 取り付けクランプで噴霧器を作業機のフレームに固定します。
- ☐ ブームの高さと水平を確認し、必要に応じて調整します。

OUO2005,0000158-40-19NOV12

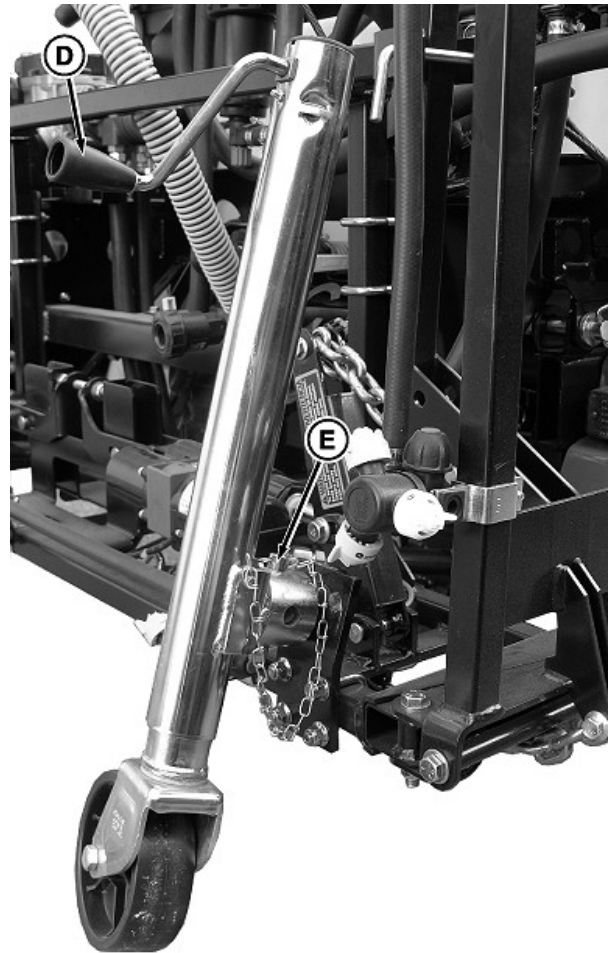
オプションのサポートスタンドのある機械への 噴霧器の取り付け

1. 噴霧器の下へ作業機を慎重に後退させ、作業機を安全に駐車します（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照）。



TCT006022—UN—19NOV12

2. クイックロックピン (A)、リアのピボットピン (B) およびシリンダのピン (C) を取り外します。
3. 噴霧器のフレームの取り付け位置が ProGator のリアのピボットの上になるように噴霧器の位置を調整します。



TCT006023—UN—19NOV12

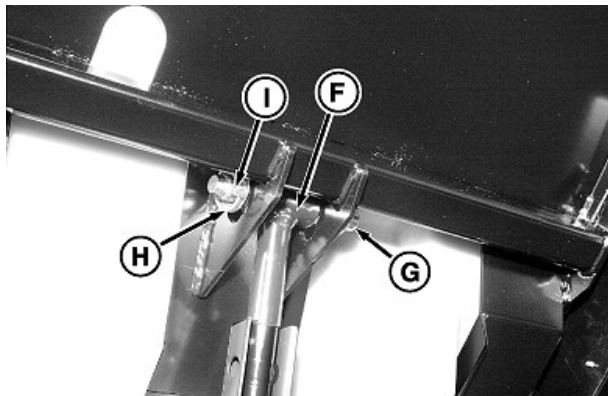
4. 噴霧器のフレームの穴が ProGator のリアのピボットの穴とそろうまでジャッキハンドル (D) を回します。



TCT006024—UN—19NOV12

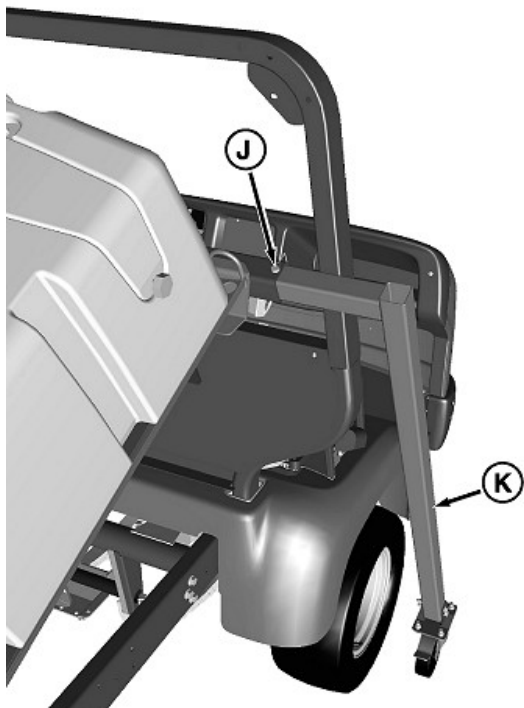
5. リアのピボットピン (B) を取り付け、クイックロックピンで固定します。
6. 両方のリアのジャッキが完全に格納されるまでジャッキハンドルを回し、ジャッキピン (E) を引いてジャッキを取り外します。後部ジャッキは保管用にのみ使用し、噴霧作業中は取り付けないでください。

7. エンジンを始動し、作業機のリフトシリンダのレバーを引き戻してリフトシリンダを 25 ~ 30 cm (10 ~ 12 in.) 伸長させます。
8. エンジンを停止し、キーを抜いて駐車ブレーキをかけます。



TCT006025—UN—19NOV12

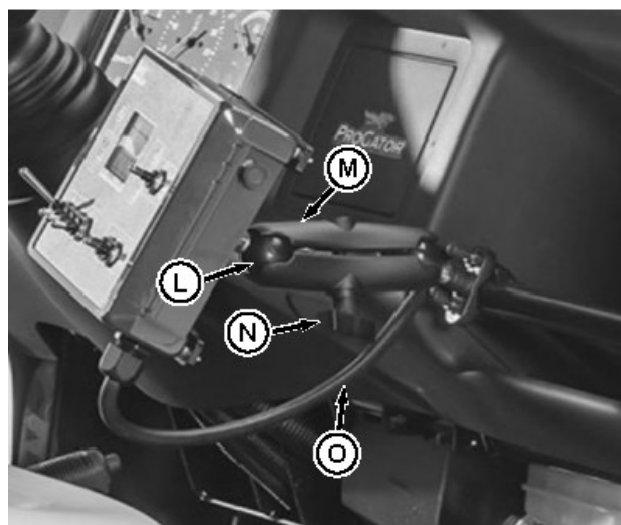
9. シリンダエンド (F) を噴霧器のフレームの所定位置に取り付け、ピン (G)、座金 (H)、およびクイックロックピン (I) で固定します。



TCT006026—UN—19NOV12

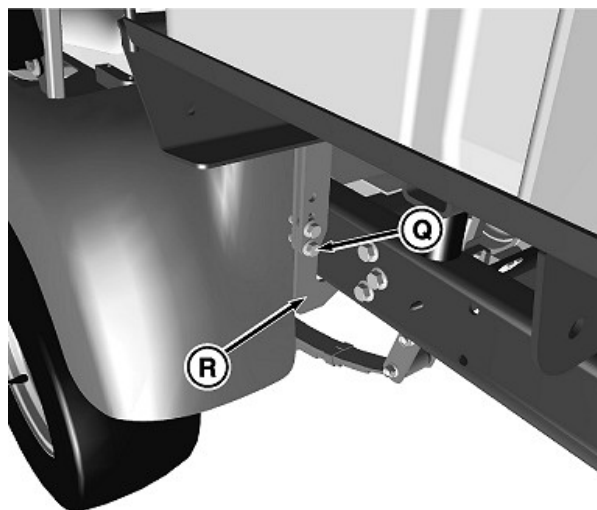
10. フロントサポート (K) のスタンドを固定するクイックロックピン (J) を取り外し、フロントサポートスタンドを取り外します。前部サポートスタンドは保管用としてのみ使用し、噴霧作業中は取り付けないでください。
11. エンジンを運転しないでキーを OFF 位置にし、機械のリフトシリンダレバーを押し下げて、噴霧器をフレームの位置まで下げます。
12. 油圧ラインを接続します。

13. 後部の電気コネクタを接続します。



TC101313—UN—30OCT19

14. ボールマウントブラケット (L) をアームソケット (M) に取り付けて、必要な向きに調整して、ノブ (N) を締め付けます。
15. ハーネス (O) を J クランプに通してオペレータコントロールの右側に取り回します。



TCT006028—UN—19NOV12

16. M10 ロックナットと M10x35 ボルト (Q) を取り外し、両方のフレームクランプ (R) をフレームレールの下まで回します。ボルトとロックナットを元の位置に取り付けます。

MX00654,000024E-40-30OCT19

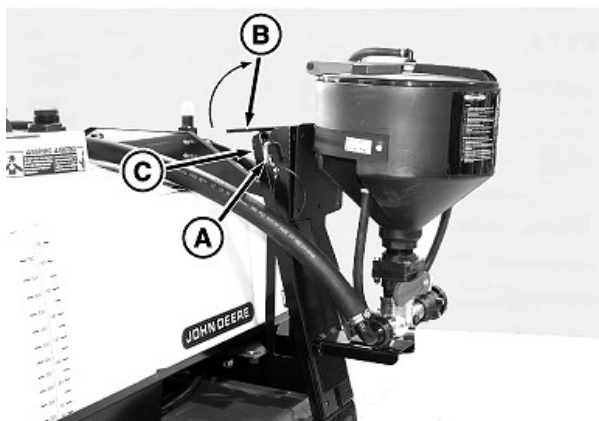
オプションのアタッチメントとキット

エダクターの使用

操作と輸送位置

重要： 損傷を防止してください。薬剤を充填する前にエダクターを作動位置に動かします。

エダクターを輸送位置に上げる前に、エダクターの薬剤を空にします。



TCT006066—UN—20NOV12

1. ホッパーを作動位置に動かすには、ラッチロックピン (A) を回して取り外します。
2. ラッチ (B) をホッパーに向けて引っ張り、上昇プラットフォームをブラケット (C) から解放し、プラットフォームをホッパー積載用の作動位置に下ろします。



TCT006067—UN—20NOV12

3. ラッチロックピン (A) を保管位置に保管します。
4. 機械の移動または輸送時は、上昇プラットフォームを上昇 (輸送) 位置に戻し、ラッチをブラケットに取り付け、ロックピンで上昇位置にロックします。

始動

注記： 始動の前に、すべてのバルブを閉める必要があります：インレットバルブ (C)、ホッパーバルブのハンドル (D)、タンク洗浄弁 (A)。



TCT006068—UN—20NOV12

1. タンクの蓋 (A) を開き、性能の妨害やシステムの汚染の可能性がある異物を確認します。
2. カバーを時計回りに回して蓋を閉じてロックします。
3. インレットバルブのハンドル (C) を水平に回して、ポンプの流れをインレット管に流します。最少で 2.1 バール (30 psi)、最大で 10.4 バール (150 psi) の圧力を使用する必要があります。
4. ハンドルを下に垂直位置まで回してホッパーバルブのハンドル (D) を開きます。
5. カバーを反時計回りに回して、蓋のロックを解除してゆっくりと開きます。

ホッパーへの薬剤の充填

⚠ 注意： けがを防止してください。薬剤は危険な場合があります。

オペレータや近くにいる人のけがを防止するため、次の手順に従ってください。

- 混合や取り扱いの指示については、薬剤容器ラベルをお読みください。安全データシート (SDS) が薬剤販売店から提供されており、正しい安全情報が掲載されています。
- 噴霧薬剤の取り扱いや散布時は適正な服装と安全器具を着用してください。
- 完全に覆われる服、保護ゴーグル、ゴム手袋を着用してください。
- 薬剤の近くでの喫煙、飲酒、食事はすべて禁止してください。
- タンクに注入するときは、絶対に水ホースの端部を薬剤混合液と接触させないでください。

1. タンクの蓋を開きます。必要な量の薬剤をホッパーに注ぎます。液体や粉末状の薬剤がホッパーの外にはね散らしないようにしてください。



TCT006069—UN—20NOV12

2. 該当する場合は、空の薬剤容器を洗浄します。容器開口部を容器洗浄弁 (A) の上に置いて押し下げます。これにより、洗浄弁と洗浄容器がアクティブな状態になります。
3. ホッパーを洗浄します。カバーを時計回りに回して蓋を閉じてロックします。ホッパータンクの洗浄弁 (赤色のハンドル) の安全ロックバンドを解除して、20 秒間オンにします。ボールバルブを閉じて、ロックバンドをロック位置に戻します。
4. 蓋を開けて、薬剤残留物の点検を行います。必要に応じて繰り返します。
5. ホッパーバルブを閉めます。

オプションの吸込突刺針による薬剤の充填

注記：突刺針 (ランス) による吸込は、エダクターの圧力と流量に依存します。最良の結果を得るには、最大 150 psi までの高圧を使用します。

1. O リングで密封されるまで、O リング付き突刺針の本体をエダクターに差し込みます。
2. 突刺針の空いている端を使って、粉末状または液体の薬剤を真空状態にしている袋または容器に穴を開けます。
3. 突刺針を洗浄します。突刺針のある側を水の入っているきれいな容器に入れて、突刺針の組み立て部を洗浄します。
4. 突刺針の本体をエダクターから取り外して、残っている流体をホッパーに抜き取ります。
5. ホッパーナイフバルブを閉めます。インレットボールバルブをオフにします。

シャットダウン

1. 以下を確認します：
 - すべてのバルブが閉まっている。最初にホッパーバルブを閉めるようにしてください。
 - 薬剤残留物が清掃されている。
 - ホッパーの蓋が、カバーを時計回りに回して閉じ、ロックされている。

2. ポンプの流れを通常の操作に戻します。

OUC0005,0000178-40-13DEC19

フォームマーカの使用

フォームマーカによる作業

1. フォームマーカのタンクに溶剤を準備します。
2. 装備されている場合は、左右のブームウィングと延長部を下げます。
3. エンジンを動作させた状態で、コントロールボックスのフォームマーカスイッチを「LEFT」または「RIGHT」の位置にします。選択した側のフォームノズルから泡が出ます。
4. マーキング完了後、フォームマーカスイッチをオフにします。

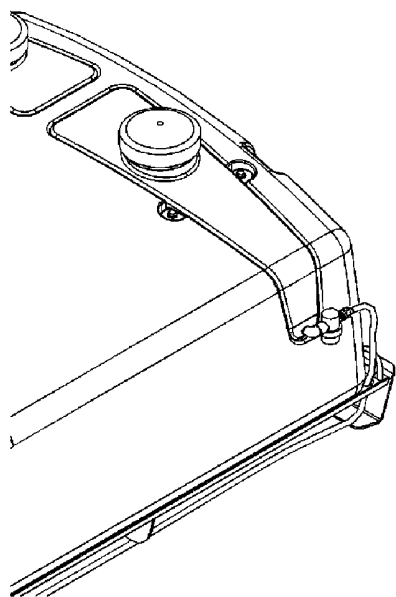
フォームマーカの調整



TCT006070—UN—20NOV12

ノブ (A) で空気と液体の混合比 (泡の濃度) を調整します。この混合比により下に落とすフォームマークのサイズが決まります。

フォームマーカの溶剤の準備



TCT006071—UN—27NOV12

濃度の選択

必ず高品質の濃度条件のフォームを使用してください。低品質の濃度条件のフォームが多く市販されていますので注意してください。任意の濃度条件では、条件によって適合しない場合があります。推奨条件については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

溶剤の混合

注記： 溶剤を強く混合しすぎると、泡が固くなる場合があります。泡の質は良いように見えますが、泡の量が少なくなりマーカが停止したように見えます。この場合は水で希釈してください。

溶剤を混合する際は以下のガイドラインに従ってください。

- 必ず製品のラベルに記載されている指示に従ってください。
- 必ず清浄な水を使用してください。水のミネラル成分が多い場合は、水質調整剤を加えることを推奨します。
- 濃縮液に水を追加するのではなく、必ず水に濃縮液を追加してください。
- ホースでフォームマーカのタンクに水を追加する場合は、ホースの先を液面の下に入れ、タンク内で攪拌や泡の発生が起こらないようにしてください。
- 泡が水っぽい場合は、濃縮液を追加するか水質調整剤が必要です。実験を通してご使用の用途に適切な混合比を決定してください。

OUO2005,0000179-40-20NOV12

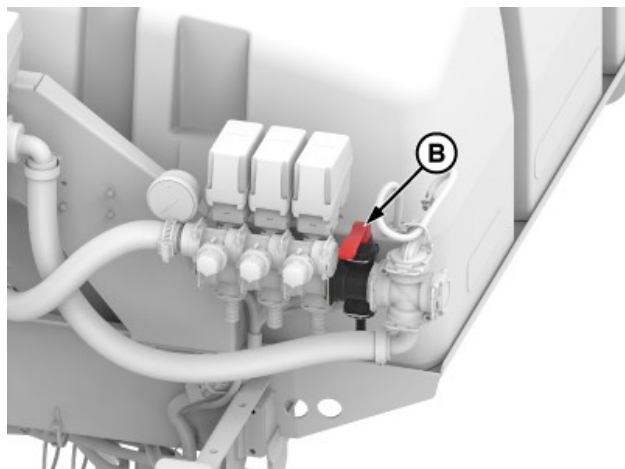
手動および電動ホースリールの使用

- ギアシフトレバーをニュートラル位置に入れて、機械を安全に駐車します。
- マスターブームスイッチをオフにします。



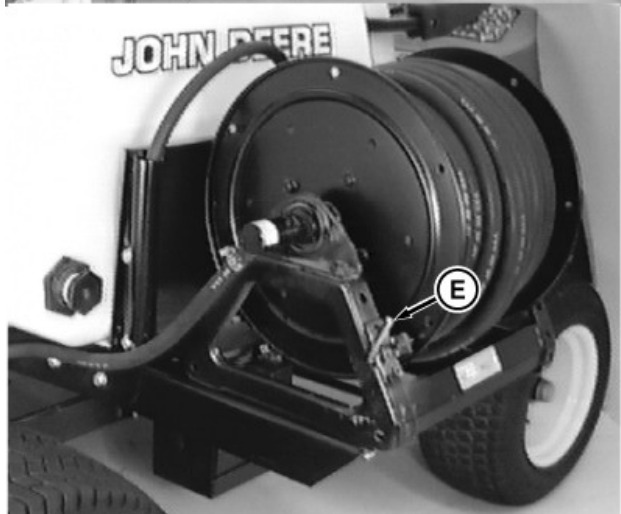
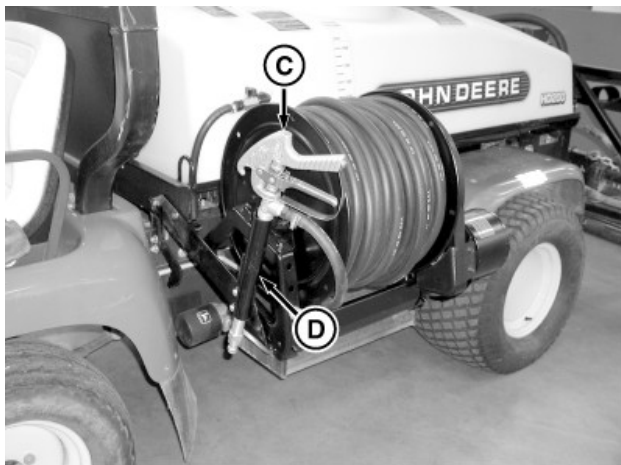
TCT004583—UN—07AUG12

- 機械のPTOコントロールレバー (A) を動かして、噴霧器ポンプの作動を開始します。
- オプションのスロットル/ガバナーコントロールを取り付けた場合は、機械を必要なRPMに設定します。必要に応じて、制御パネルの圧力スイッチを使用してシステム圧力を調整します。
- エンジンを運転したまま、機械から降ります。



TC699134—UN—24DEC25

- ホースリールバルブレバー(B) を噴霧器後部のON位置にします。
 - ON 位置：レバーを上げた位置または上の位置にすると、ホースリールへの液体供給がON になります。
 - OFF 位置 (図示) – レバーが下または下の位置にある場合、ホースリールへの液体供給はオフになります。



TCT004585—UN—07AUG12

上の図は電動ホースリール、下の図は手動ホースリールです。

7. ハンドガン (C) を保管チューブ (D) から取り外します。
8. リールから必要な長さのホースを取り外します。
 - 手動ホースリール： リールが自由に回転するように、リールロック (E) を引き出してロック解除位置に動かします。ホースをリールから引き出します。
 - 電動ホースリール： ホースをリールから引き出します。

YCWRHFR,1766986073642-40-30DEC25

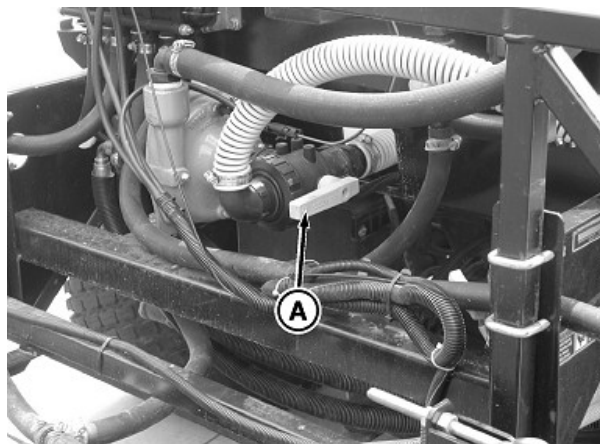
リンスタンクの使用

リンスタンクの充填

1. 三方弁ハンドルが垂直位置にあることを確認します。
2. 洗浄水タンクに上水を注入します。

操作

1. 機械は傾斜地ではなく水平な地面に止めてください。
2. ギヤシフトレバーを「NEUTRAL (ニュートラル)」に入れます。
3. 機械のパーキングブレーキをロックします。



TCT006074—UN—20NOV12

4. 三方弁ハンドルを後部位置 (A) に動かします。この位置で、リンスタンクからの水はポンプの入口に流れます。



TC699135—UN—24DEC25

5. ボールバルブハンドル (B) を動かして開きます。
 - 開位置 – ボールバルブハンドルが垂直位置にある状態で、加圧されたリンス用水は、主要噴霧器タンク内部にあるタンクリンサに流れます。
 - 閉位置 – ボールバルブハンドルを機械の方向に向けると、洗浄水は流れません。
6. PTO をかみ合わせて、ポンプを始動します。
7. 必要に応じてポンプを作動します。ポンプを乾燥状態で運転しないでください。すべての上水を使い終わったら、PTO を外してポンプを停止します。

YCWRHFR,1766986071517-40-30DEC25

整備

整備間隔：標準の装備

使用の前に

- インラインストレーナを点検し清掃してください。
- サクションストレーナを点検し清掃してください (装備されている場合)。
- 作業機の作動流体を点検してください。
- 噴霧器のタンクに損傷やごみがないか点検してください。
- 接続部に漏れがないか点検してください。
- 噴霧器のタンクの中身を点検してください。

使用の後に

- タンク、ブームのライン、ノズル、およびホースリール (装備されている場合) をドレンし洗浄してください。

必要に応じて

- ブームウィングのフレキシブルジョイントのスプリングのテンションを調整してください。
- 個人用洗浄タンクのカバーのベント部を点検し清掃してください。

1 年

- ブームウィングのピボットジョイントを潤滑してください。
- ダイアフラムポンプ：ダイアフラムとオイルを交換してください。
- ノズルを点検し交換してください。

MX00654,0000238-40-24NOV12

整備間隔：オプションの装備

使用の後に

- 薬剤エダクタをドレンし洗い流してください。

必要に応じて

- フォームマーカのタンクのアウトレットストレーナを清掃してください。
- フォームマーカのタンクのカバーのベント部を点検し清掃してください。
- 手動式ホースリールのテンションブレーキ部を潤滑してください。
- ジャッキスタンドを潤滑してください。

25 時間ごと

- グラウンドホイールを潤滑してください。

50 時間ごと

- 圧縮空気フォームマーカのキャビネットを清掃してください。

- ホースリールの旋回フィッティングを潤滑してください。

1 年

- フォームマーカのポンプのチューブまたはホースを交換してください。

MX00654,0000239-40-24NOV12

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

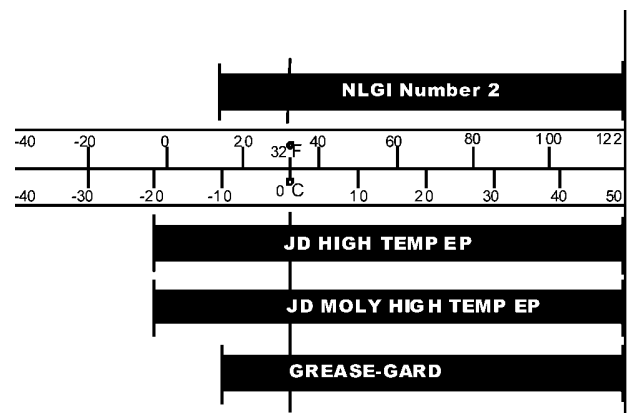
部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<https://partscatalog.deere.com/jdrc/> にアクセスしてください。

TC00531,00000E9-40-04AUG25

グリース



TCT006076—UN—07DEC12

整備間隔中に予想される気温の範囲と、NLGI ちょう度に基づいたグリースを使用してください。

次のグリースをお勧めします。

- John Deere 製 Moly 高温用 EP グリース
- John Deere 製高温用 EP グリース
- John Deere GREASE-GARD™

以下の条件に適合する他のグリースも使用できます。

- 3~5 パーセントの二硫化モリブデンを含む SAE 汎用 EP グリース
- SAE 汎用 EP グリース

GREASE-GARD は Deere & Company の商標です。

- MIL 規格 MIL-G-10924C に適合するグリースは、寒冷地用グリースとして使用可能です。

MX00654,000024E-40-25NOV12

噴霧器の清掃

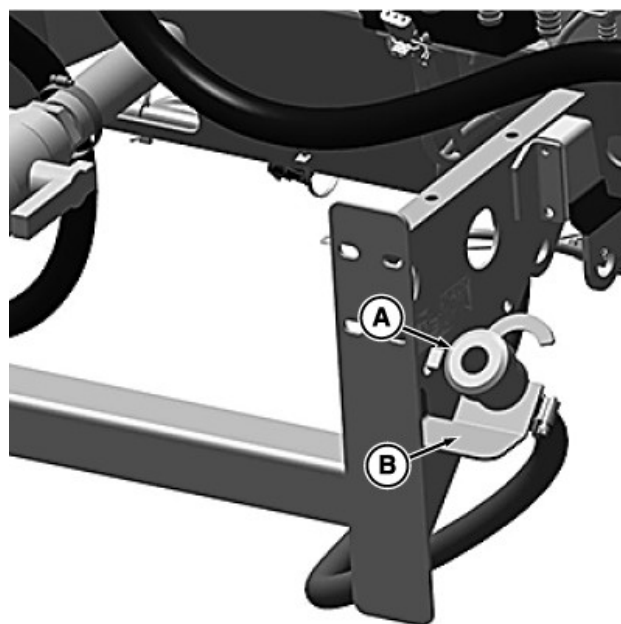
噴霧器使用後は毎回、以下の手順を行ってください。

重要： 損傷を防止してください。噴霧器は、毎回、使用後すぐに空にして、清掃してください。これを実施しないと、薬剤が乾燥したり、ライン内で濃縮されたりして、ポンプや他の構成部品が詰まることがあります。

1. 機械を停止し、マスターブームスイッチとすべてのブームコントロールスイッチをオフにします。パーキングブレーキをロックし、レンジセレクターをニュートラル位置にし、エンジンを停止します。

注意： けがを防止してください。薬剤は危険な場合があります。オペレータや近くにいる人のけがを防止するため、次の手順に従ってください。

- 混合や取り扱いの指示については、薬剤容器ラベルをお読みください。安全データシート (SDS) が薬剤販売店から提供されており、正しい安全情報が掲載されています。
- 散布薬剤の取り扱いや散布時は正しい服と安全器具を着用してください。
- 完全に覆われる服、保護ゴーグル、ゴム手袋を着用してください。
- 薬剤の近くでの喫煙、飲酒、食事はすべて禁止してください。
- タンクに充填するときは、絶対に水ホースの端部を薬剤混合液と接触させないでください。



TC102037—UN—16JUL21

2. ドレンバルブ (A) をクレードル (B) から取り外して適切な容器に入れます。黄色のハンドルをホースと整列する位置まで回してドレンバルブを開きます。未使用の薬剤をタンクから除去して、地域の規則および薬剤メーカーの指示に従って廃棄します。
3. タンクドレンバルブを閉めて、バルブの開口部をオペレータに向けないようにしてクレードルに戻します。
4. クイックフィル機能 (装備されている場合) またはタンクリッドを使用して、190 L (50 US gal) の清水をタンクに追加します。

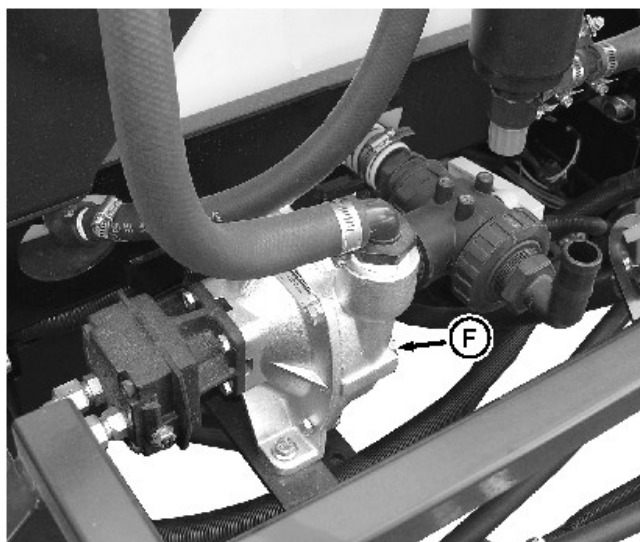
注記： 薬剤の洗浄が必要な場合は、John Deere SprayMaster™ スプレータンククリーナ #N306631 を使用できます。フォームマーカータンクのフラッシングには、John Deere SprayMaster™ フォームタンククリーナ #N305630 を使用してください。最終洗浄時は、清水のみを使用してください。

5. エンジンを始動します。
6. シフトレバーをニュートラル位置にして、PTO を接続し、エンジン回転数を通常の運転回転数に設定します。
7. 散布を開始するには、マスターブームスイッチとすべてのブームコントロールスイッチを ON 位置にします。

重要： 損傷を防止してください。散布は、開放区域または以前散布した区域で実施する必要があります。

8. タンク内のすべての水をノズルから噴霧します。
9. ノズルを点検し、すべてのノズルから正しく噴霧されていることを確認します。

10. マスターブームスイッチをオフ位置に設定し、PTO の接続を解除してエンジンを停止します。
11. 手順 4～10 を 2 回以上繰り返して、スプレーシステムが完全に洗浄されたことを確認します。

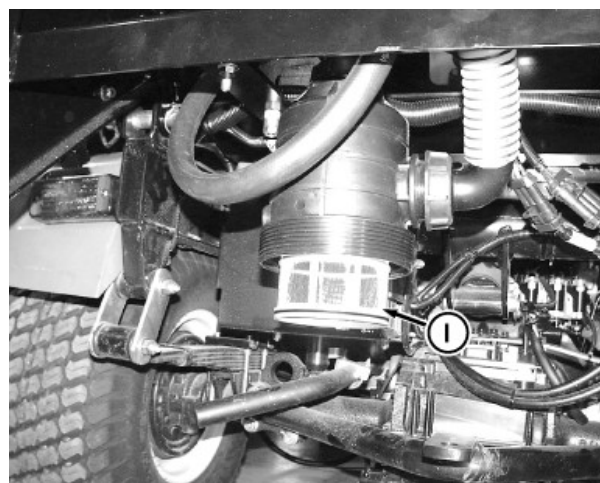


TCT01310—UN—22OCT19

12. 下側のパイプ継手 (F) で渦巻ポンプ (装備されている場合) から抜き取ります。



TCT012917—UN—29JUL15



TCT012918—UN—29JUL15



TCT012919—UN—29JUL15

13. インラインストレーナ (H)、吸込みストレーナ (I) (装備されている場合)、フォームマーカーストレーナ (J) (装備している場合) を取り外して清掃します。

重要： 損傷を防止してください。水和性の薬剤を使用した場合は、各タンクの後にサクシオンストレーナ (装備されている場合) を清掃します。

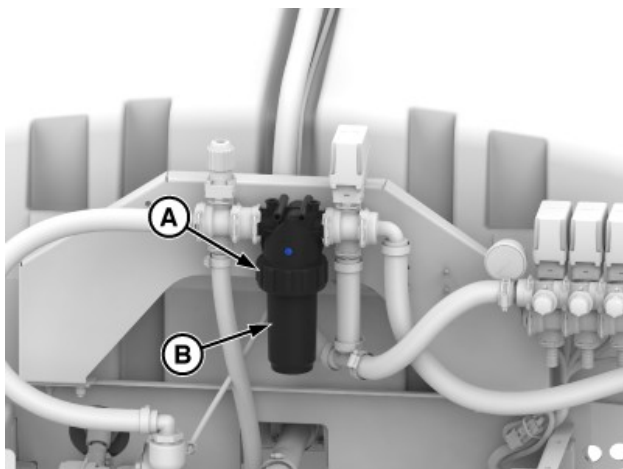
14. スプレーノズルを取り外して手洗いします。破損または摩耗しているノズルを交換します。
15. チェックバルブを点検し、必要に応じて交換します。
16. スプレーチップストレーナ (装備されている場合) を取り外して清掃します。

重要： 損傷を防止してください。噴霧器を栽培期の最後に使用している場合は、冬季の準備を実施する必要があります。

17. ガーデンホースを使って、噴霧器の外部に上水を噴霧して洗浄します。

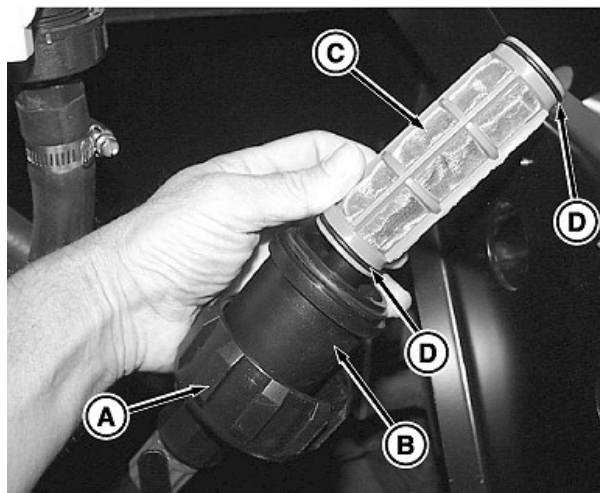
KJ60627,000102A-40-16JUL21

インラインストレーナの整備



TC699136—UN—24DEC25

1. 大型のナット (A) を取り外して噴霧器後部の容器 (B) を取り外します。次に容器を下げてストレーナにアクセスします。



TCT006084—UN—26NOV12

2. ストレーナ (C) を容器 (B) から取り外します。
3. ストレーナを清掃し、必要に応じてストレーナと O リング (D) を交換します。
4. ストレーナと容器を取り付けて、大型ナット (A) で固定します。

YCWRHFR,1766986268010-40-28DEC25

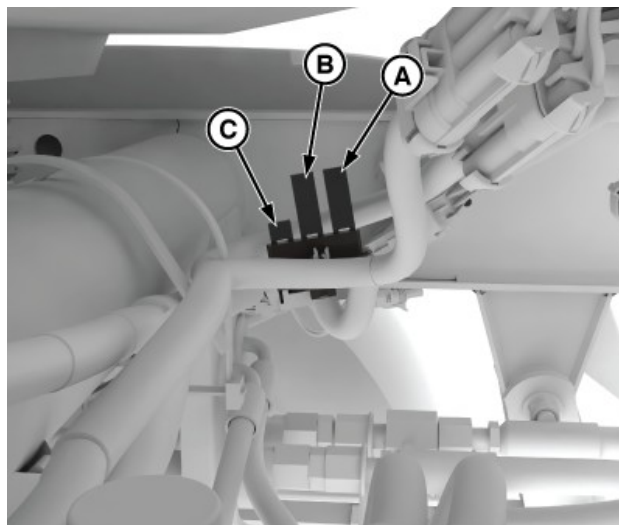
噴霧器の出力の確認

希望する圧力で噴霧器を作動させ、2 つ以上のスプレーチップから流体を集め、これらを予想される出力 (gpm) と比較します。

- 2 つ以上のスプレーチップの出力が予想される量よりも 10% 以上多い場合は、スプレーチップを交換します。

MX00654,000023E-40-25NOV12

電源ヒューズとアクチュエータブーム回路遮断機の点検



APY597542—UN—20OCT23

フロントワイヤハーネスは、以下を含むヒューズホルダーを備えています：

- (A) CB 14 VDC 20A (アクチュエータブーム回路遮断機)
- (B) CB 14 VDC 20A (アクチュエータブーム回路遮断機)
- (C) 20 A (主電源ヒューズ)

電氣的な過負荷が発生した場合、主電源ヒューズが溶断します。システムは自動的にはリセットされず、噴霧器への電源を復元するには、溶断したヒューズを交換する必要があります。

ヒューズを交換した後も電源が復元しない場合は、スタータソレノイドの近くにあるメインシステムヒューズが溶断している可能性があります。「メインシステムヒューズの点検」セクションを参照してください。

YCWRHFR,1766986422346-40-31DEC25

メインシステムヒューズの点検



APY603630—UN—19DEC23

メインワイヤハーネスには、スタータソレノイドの近くにある噴霧器電気システムを保護するための 80 アンペアのヒューズ (A) が装備されています。過負荷が発生すると、ヒューズが溶断し、噴霧器の構成部品へのすべての電力が失われます。噴霧器に電源を復元するには、ヒューズを交換する必要があります。

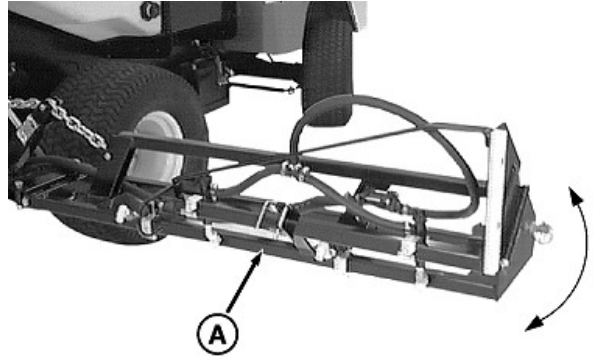
ヒューズを交換した後も電源が復元しない場合は、メインワイヤハーネスに短絡が発生しています。John Deere 販売店にお問い合わせください。

YCWRHFR,1766986461326-40-30DEC25

- 不良ヒューズまたは回路ブレーカーを点検し、必要に応じて同じ電流定格の新品のヒューズまたは回路ブレーカーと交換します。新品ヒューズが切れた場合、または回路ブレーカーが落ちた場合は、噴霧器ワイヤハーネスにアースへの短絡があります。John Deere 販売店にお問い合わせください。

gvg6119,1696931307347-40-13DEC23

ブームウィングスプリングのテンションの調整

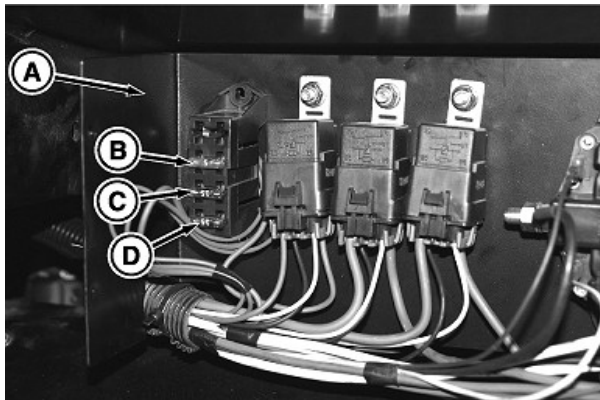


TCT006087—UN—26NOV12

注記： オプションのゲージホイールを使用する場合は、スプリングのテンションを増やす必要があります。

- ブームウィングのピボットジョイントが潤滑されていることを確認します。
- ブームウィング (A) を下げます。
- ブームウィングをフロント側またはリア側に動かし、異物に衝突した状態を再現します。ブームウィングがしっかりと通常の動作位置に引き戻されることを確認します。

噴霧器とキットのヒューズの点検



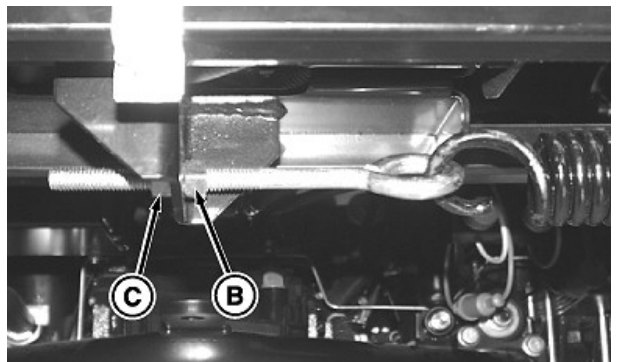
TCT006086—UN—26NOV12

- サイドカバーを配線パネル (A) から取り外します。

注記： 作業中にヒューズ / 回路ブレーカーを誤って紛失しないように、ヒューズブロックを絶縁テープまたは同等品で固定してください。

- 噴霧器制御パネルの近くにあるヒューズブロックの位置を確認します。

- (B) 15 アンペア (バルブ)
- (C) 15 アンペア (ブームマスター)
- (D) 7.5 A (コンソール電源)



TCT006088—UN—26NOV12

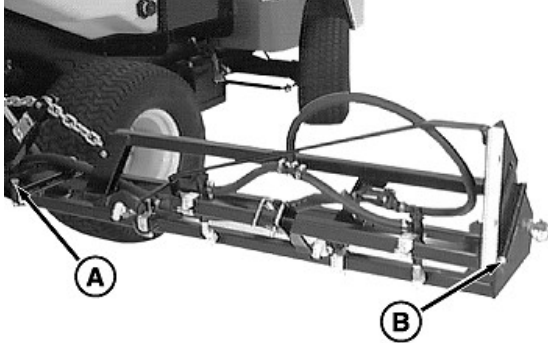
- スプリングコイルが離れてテンションが生じるまで六角ナット (C) を締め付けます。その後ナット (B) を締め付けます。これによりブームウィングのフレキシブルジョイントに適度なスプリングのテンションを与えることができます。スプリングを張りすぎると、ブームを逃がすのが難しくなります。スプリングが緩すぎると、ブームが運転中に振動します。スプリングのテンションを増減するには、

- スプリングのテンションの増加：ナット (B) を緩めた後、ナット (C) を完全に締め付けます。
- スプリングのテンションの減少：ナット (C) を緩めた後、ナット (B) を完全に締め付けます。

5. 他のブームウィングについても作業を繰り返します。

MX00654,0000241-40-07DEC12

ブームウィングのピボットの潤滑



TCT006110—UN—26NOV12

1. ブームウィングを下げ、ジャッキスタンドかブロックで支えます。
2. ブームウィングのピボットボルト (A) と、装備されている場合はブームウィング延長部のボルト (B) を取り外します。
3. ピボットボルトにグリースを塗布して取り付けます。
4. ブームウィングをフロント側またはリア側に動かし、異物に衝突した状態を再現します。ブームウィングが通常の動作位置に引き戻されることを確認します。

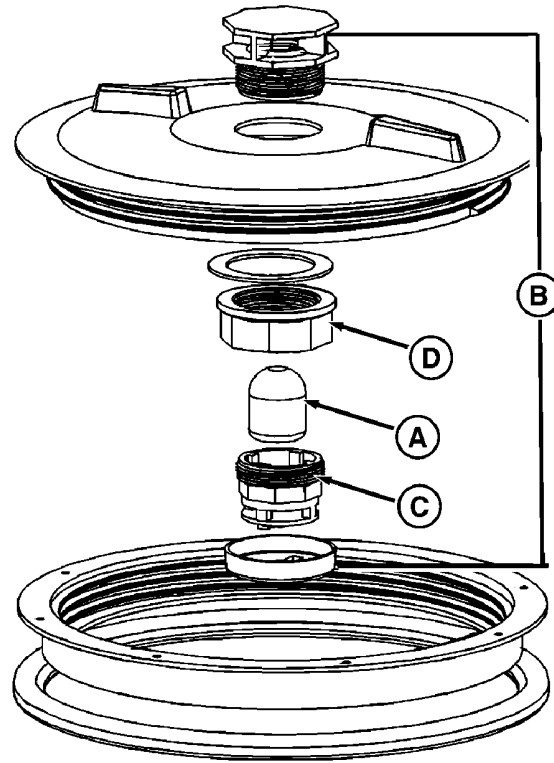
MX00654,0000244-40-25NOV12

通気式フィルカバーの点検と清掃

個人用洗浄水タンクとフォームマーカートンクには、通気式フィルキャップが取り付けられています。タンクからの抜き取りが正常に行われるように、キャップの通気孔は清掃して操作可能な状態に保つ必要があります。

噴霧器タンクのフィルカバー

1. フィルカバーを噴霧器タンクから取り外します。

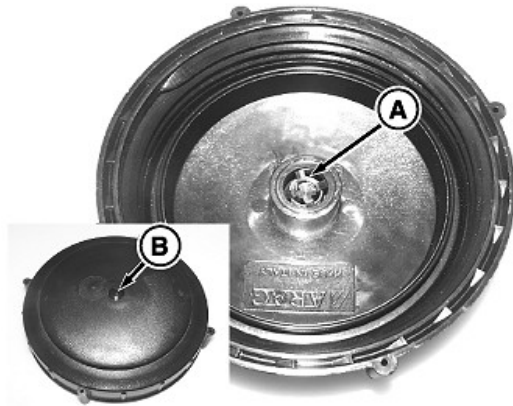


TCT006111—UN—27NOV12

2. カバーを複数回上下反対に回転させて、ブリーザーアセンブリ (B) 内でフロート (A) が自由に動くことを確認してください。フロートが動かない場合は、ブリーザーの部品が汚れているか、損傷している可能性があります。
3. フロートガイド (C) を緩めて、バルクヘッドナット (D) から取り外します。
4. フロートをフロートガイドから取り外します。
5. ブリーザーアセンブリを中性洗剤で洗います。十分に洗い流します。
6. ブリーザーの部品に損傷や劣化がないか点検します。必要に応じてブリーザーアセンブリを交換します。
7. 丸みのある端部を上に向けて、フロートをフロートガイドに配置します。
8. フロートガイドをバルクヘッドナットに締め付けます。
9. フィルカバーを噴霧器タンクに取り付けます。

個人用洗浄水タンクとフォームマーカートンク

1. フィルカバーをタンクから取り外します。



TCT006112—UN—26NOV12

2. ベントスプリングの部分 (A) を中性洗剤で洗浄します。十分に洗い流します。
3. ベントキャップ (B) がカバーのベント穴に正しく密着していることを確認します。
4. ベントキャップを指先で押します。キャップがスプリング張力に対抗して下に動き、着座位置に戻ることを確認します。
5. ベントが正しく作動しない場合は、フィルカバーを交換します。
6. フィルカバーをタンクに取り付けます。

OUMX068,0000CF3-40-30JUL15

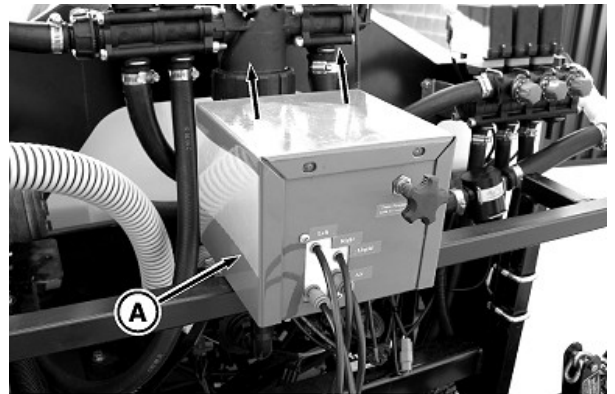
フォームマーキットの整備

⚠ 注意： けがを防止してください! 溶剤の揮発成分には爆発性や可燃性がある場合があります。溶剤を安全に使用するために、容器のラベルに記載された指示に従ってください。

- 十分に換気された場所で作業してください。
- 溶剤を取り扱う際は保護服を着用してください。
- 溶剤の取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花に溶剤を近づけないでください。

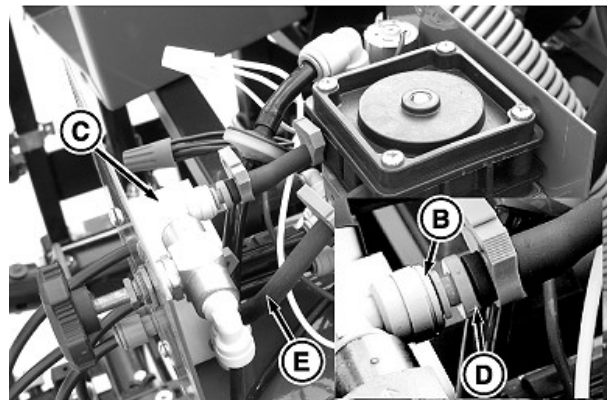
注記： このポンプでは、界面活性剤を含まない高級 SAE 30W オイルが必要です。オイルをお求めの場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

フォーム溶剤のポンプ



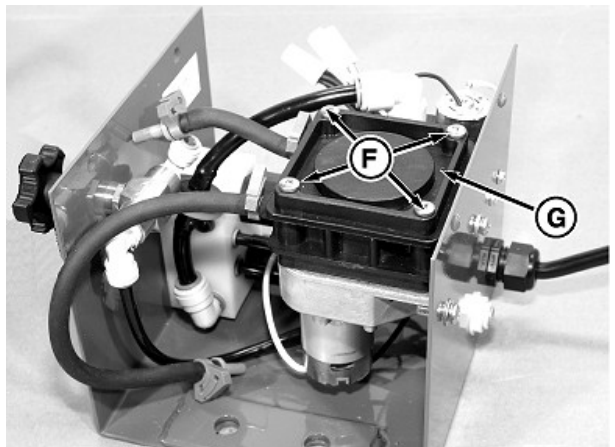
TCT006113—UN—26NOV12

1. フォームマーキットのポンプのエンクロージャからカバー (A) を持ち上げ、フォームマーキットのポンプにアクセスできるようにします。



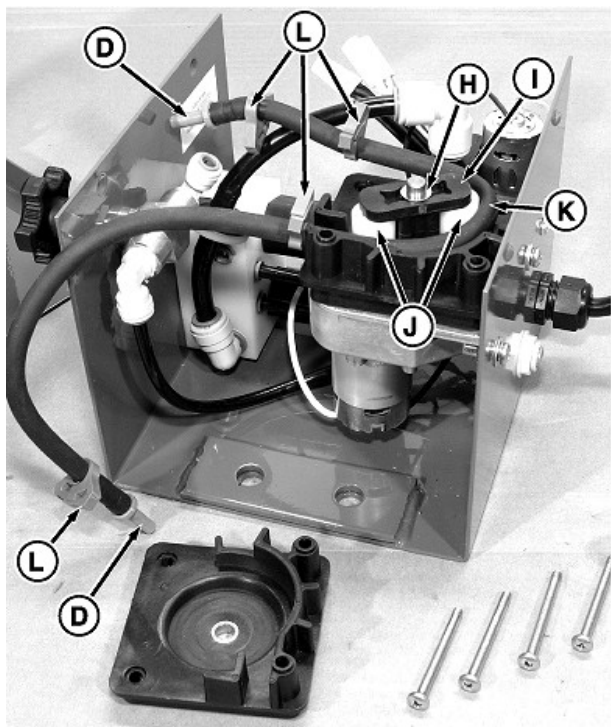
TCT006114—UN—26NOV12

2. ロックリング (B) をエルボ (C) の方に引いて、エルボからホースのステム (D) を引き抜きます。ポンプのアウトレットのホース (E) についても繰り返します。



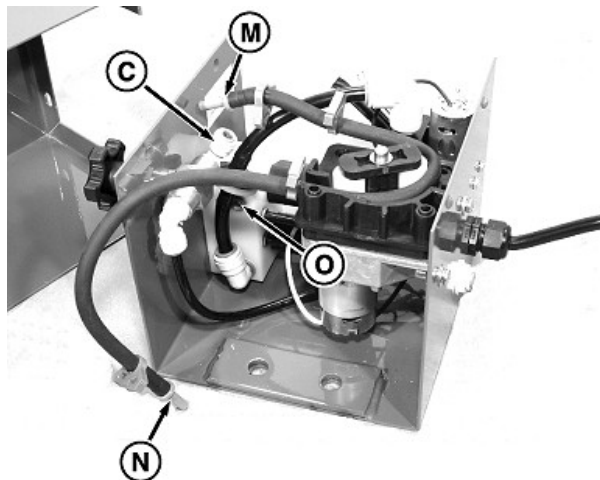
TCT006115—UN—26NOV12

3. ポンプローラーのカバー (G) をフォームポンプ本体に固定している 4 個の 10x3 in. ねじ (F) を取り外します。カバーを取り外してねじとともに別の場所に置いておきます。



TCT006116—UN—26NOV12

4. ローラーアセンブリ上部 (I) にあるシムの座金 (H) を取り外して別の場所に置いておきます。
5. ローラーアセンブリを取り外し、ローラー (J) に汚れや損傷がないか確認します。ローラーが自由に回転できることを確認します。
6. ポンプ本体からホース (K) を取り外します。
7. インレットおよびアウトレットホースのステム (D) とポンプ本体のホースのクランプ (L) を緩めます。ホースクランプとステムを取り外して保管します。
8. ローラーを取り外した場合は、ローラーをポンプのスピンドルに取り付けてポンプ本体に再度取り付けます。
9. ローラーアセンブリ上部のスピンドルにシムの座金を取り付けます。
10. 交換したホースの端部にアウトレットホースのステムを取り付けます。ホースクランプでステムを固定します。

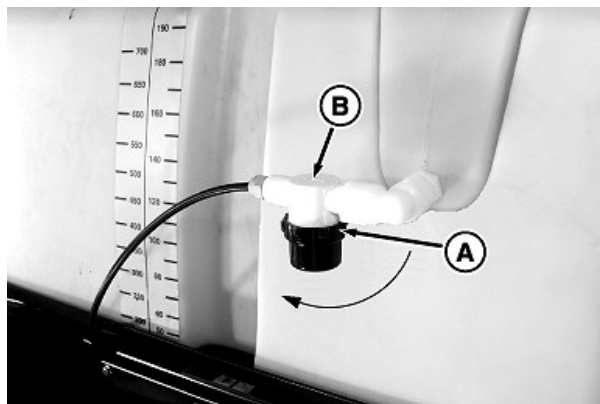


TCT006117—UN—26NOV12

11. ホース端部 (M) のステムをエルボ (C) に挿入します。
12. ホース端部 (N) のステムをバルブブロックの継手 (O) に挿入します。
13. ホースをポンプ本体に取り付け、ホースが余裕を持ってポンプ本体の経路内で固定されているか確認します。
14. カバーをポンプ本体に取り付け、ホースが余裕を持ってポンプカバーの経路内で固定されているか確認します。
15. ローラーカバーを 4 個の 10x3 in. ねじでポンプ本体に固定します。ねじを均等に回して確実に締め付けます。
16. ポンプ本体のインレットとアウトレットで残りのホースクランプを再度取り付け、ホースの位置を保持します。

フォーム溶剤用ストレーナ

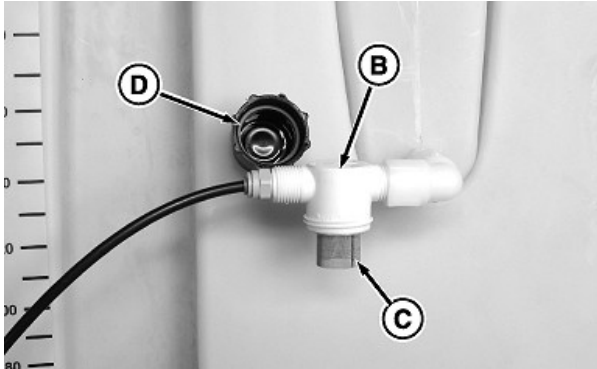
注記：フォーム溶剤用ストレーナのボウルを取り外してストレーナの点検と清掃を行うことにより、タンク内の溶剤をドレンすることができます。



TCT006118—UN—26NOV12

1. ストレーナのボウル (A) を回して緩め、ストレーナのハウジング (B) から取り外します。

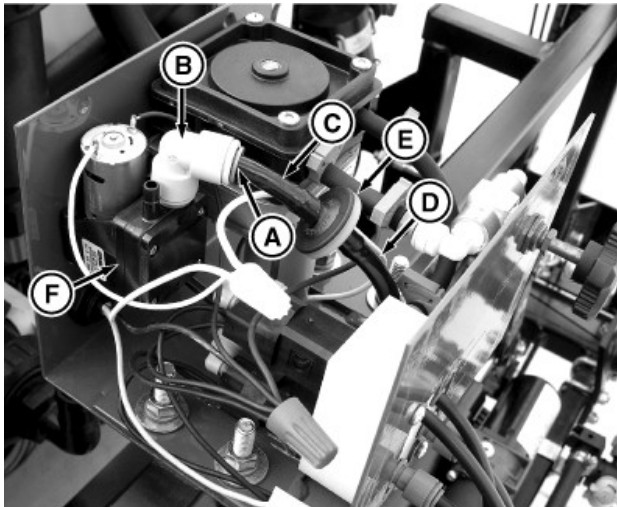
2. タンク内に残っているフォーム溶剤を適切な容器にドレンします。



TCT006119—UN—26NOV12

3. ストレーナのハウジング (B) からスクリーン (C) を取り外します。
4. ストレーナのボウルからシール (D) を取り外します。
5. 温水でスクリーンとボウルを洗い、付着物を除去します。スクリーンを損傷しないように注意してよく清掃します。
6. スクリーンとシールに損傷がないか確認します。必要に応じて交換します。
7. ストレーナのハウジングのスクリーンを交換します。
8. ストレーナのボウルのシールを交換します。
9. ストレーナのハウジングにボウルを再度組み付けます。

エアラインのチェックバルブ



TCT004597—UN—20AUG12

1. ロックリング (A) をエルボ (B) に押し込み、エルボからエア供給用ホースアセンブリ (C) を取り外します。ホース下側の端部 (D) についても手順を繰り返します。
2. エア供給用ホースのチェックバルブ (E) を点検し、

コンプレッサ (F) から離れる方向にのみ流れていることを確認します。

3. チェックバルブが損傷している場合、または両方向に流れている場合はチェックバルブを交換します。

注記：チェックバルブを交換する場合は、チェックバルブの「VAC」の文字 (G) がコンプレッサ (F) と反対側に向くようにします。

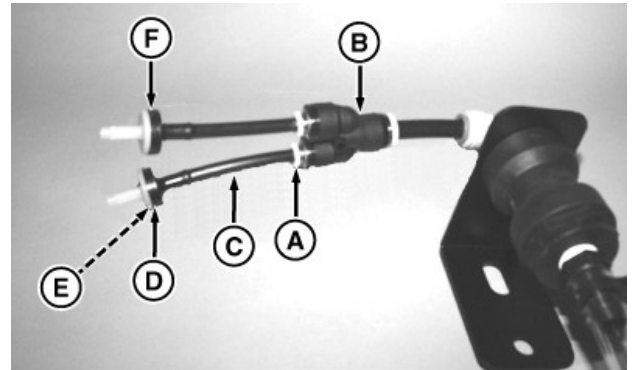


TCT004598—UN—07AUG12

4. 交換したチェックバルブをエア供給用ホースに取り付けます。
5. エア供給用ホースアセンブリをコンプレッサとバルブブロックのエルボに取り付けます。

フォームヘッド用チェックバルブ

⚠ 注意： けがを防止してください! ノズルの先端や噴霧器の他の部品を口に付けて汚れを吹くようなことはしないでください。圧縮空気が清浄な水を使用してください。



TCT004599—UN—20AUG12

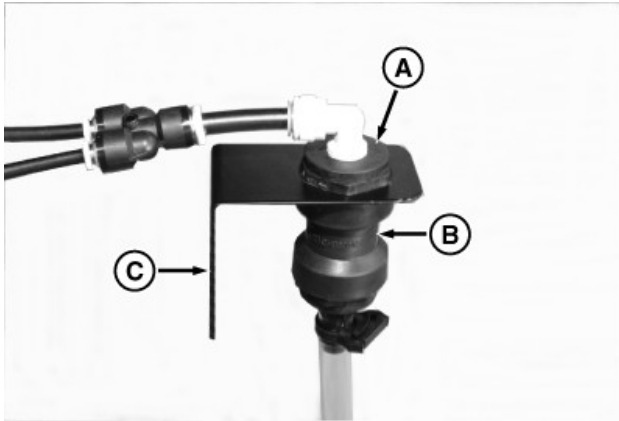
1. ロックリング (A) をコネクタ (B) に押し込み、フォームヘッドのコネクタ (B) からエア供給用ホース (C) を外します。
2. 供給ホースからチェックバルブ (D) を取り外します。

注記：「VAC」の文字 (E) がバルブ本体のアウトレット側 (フォームヘッド側) に見えるようにします。

3. チェックバルブを点検し、バルブ本体を通して一方方向にのみ流れていることを確認します。

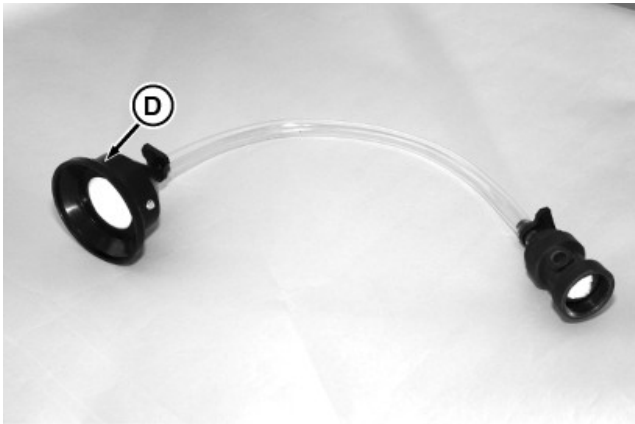
4. チェックバルブが損傷している場合、または両方向に流れている場合はチェックバルブを交換します。
5. バルブ本体の「VAC」の文字をフォームヘッドに向けて、チェックバルブをシステムのホースに取り付けます。
6. 2 番目のバルブ (F) についても点検と交換を繰り返します。
7. 反対側のブームについても作業を繰り返します。

フォームヘッドの清掃



TCT004600—UN—07AUG12

1. ブッシングのキャップ (A) を保持します。フォームヘッド (B) を回して緩め、フォームヘッドをブーム端部のブラケット (C) から取り外します。
2. 反対側のブーム端部から、フォームヘッド、ホース、およびコレクタアセンブリを取り外します。



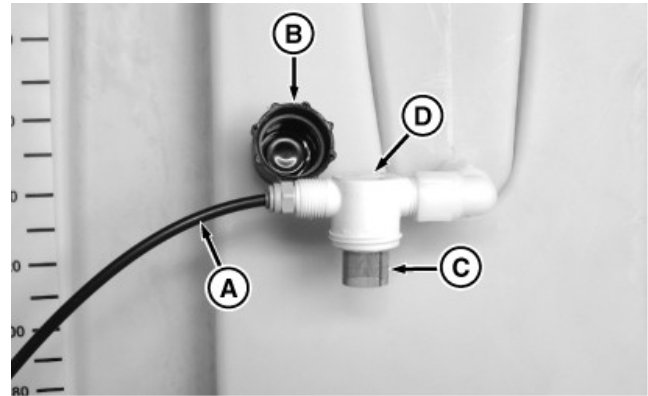
TCT004601—UN—07AUG12

3. フォームヘッド、ホース、およびコレクタアセンブリ (D) を温水でよく洗い、逆流して流します。
4. ブッシングのキャップのねじにジョイントシールテープを貼ります。ブーム端部のブラケットを通してフォームヘッドをブッシングのキャップに取り付けます。キャップを締め付けます。

防寒対策

フォーム溶剤用タンク、バルブ、およびホースは、保管する前や気温条件により凍結のおそれがある場合は

完全にドレンする必要があります。溶剤が凍結するとシステムの構成部品が損傷する場合があります。

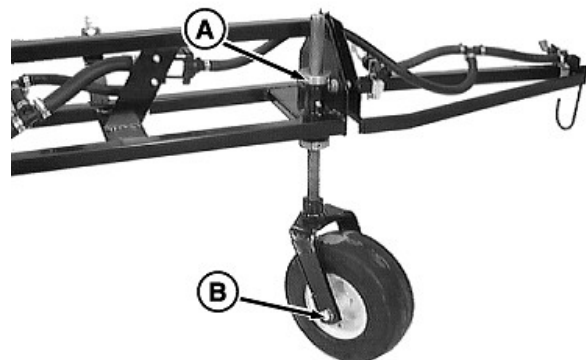


TCT004602—UN—07AUG12

1. フォーム溶剤のホース (A) を取り外し、適切な容器に溶剤をドレンします。
2. タンクのアウトレットにあるストレーナのハウジング (D) からボウル (B) とスクリーン (C) を取り外します。
3. ストレーナスクリーンを清掃します。
4. フォーム溶剤のタンクを温水で洗い流し、ドレンします。
5. タンクのストレーナスクリーンとボウルを交換します。
6. フォームシステムの電源を入れ、フォームが生成されなくなるまで作動させます。
7. フロントガラス用ウォッシュフルード等の不凍液をタンクに追加します。
8. フォームシステムの電源を入れ、不凍液がフォームヘッドに達するまで作動させます。

MX00654,0000246-40-14DEC12

グラウンドホイールの潤滑

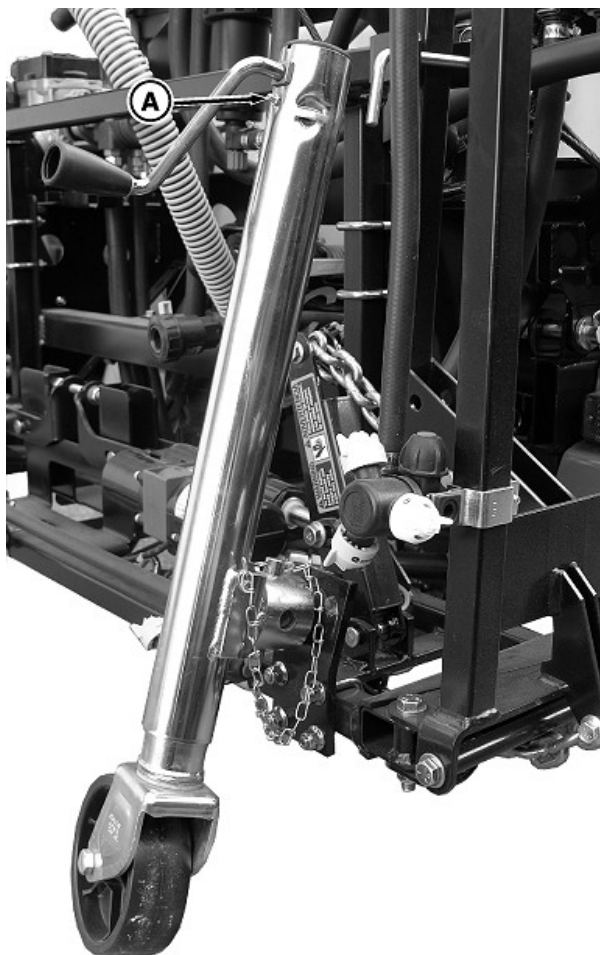


TCT006126—UN—26NOV12

1. グラウンドホイールのピボット (A) を潤滑します。
2. グラウンドホイールの車軸 (B) を潤滑します。

MX00654,0000247-40-25NOV12

ジャッキスタンドの潤滑



TCT006127—UN—26NOV12

右側のサポート位置

推奨グリースでフィッティング (A) を潤滑します。

MX00654,0000248-40-25NOV12

ホースリールの整備

重要： 損傷を防止してください! リールのテンション保持部を潤滑しすぎないようにしてください。潤滑部品に汚れやごみが堆積し、摩耗しやすくなります。

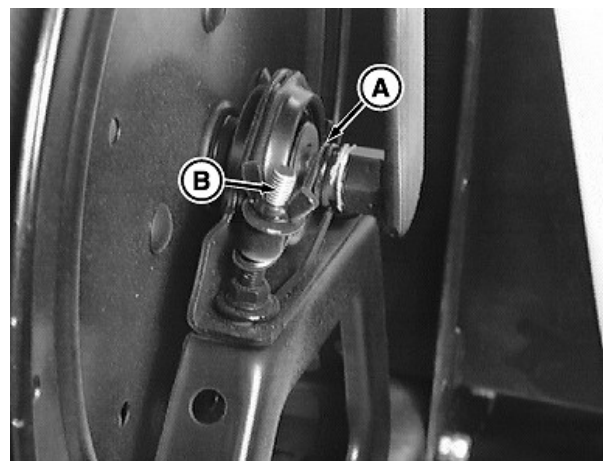
電気式ホースリールの潤滑



TCT006128—UN—26NOV12

1. 旋回フィッティング (A) に推奨グリースを少量塗布します。
2. フィッティング周辺の余分なグリースを拭き取ります。

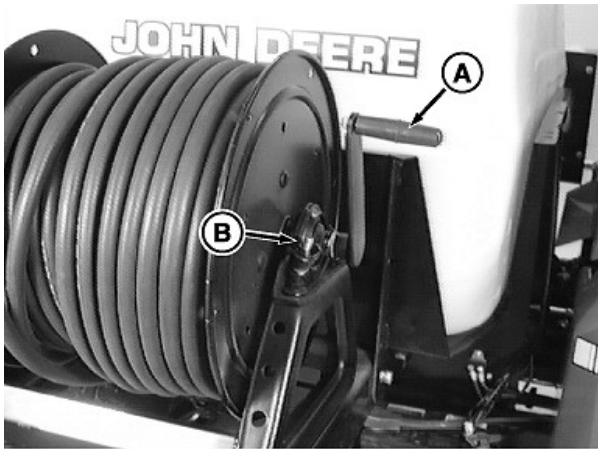
手動式ホースリールの潤滑



TCT006129—UN—26NOV12

1. リールテンションブレーキ調整部 (A) に推奨グリースを少量塗布します。
2. リールテンションブレーキ調整ボルト (B) のねじ部に推奨グリースまたはオイルを少量塗布し、錆び付きや焼き付きが起こらないようにします。

テンションブレーキの調整



TCT006130—UN—26NOV12

1. リールテンションを調整する前に、ホースリールが適切に潤滑されていることを確認します。
2. ホースを引き出し、ハンドル (A) を回してホースを巻き取ります。ドラッグ (リールテンション) はウィングナット (B) で調整できます。
3. リールテンションブレーキを調整します。
 - リールテンションを上げるにはウィングナット (B) を締め付けます。
 - リールテンションを下げるにはウィングナット (B) を緩めます。

MX00654,0000249-40-25NOV12

ダイアフラムポンプの整備

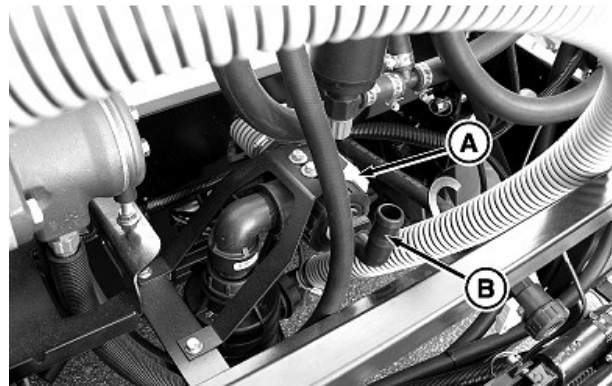
作業機をフロアのドレン、排水溝、川等から離れた、固い水平な場所に安全に駐車します。

⚠ 注意： けがを防止してください! 溶剤の揮発成分には爆発性や可燃性がある場合があります。溶剤を安全に使用するために、容器のラベルに記載された指示に従ってください。

- 十分に換気された場所で作業してください。
- 溶剤を取り扱う際は保護服を着用してください。
- 溶剤の取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花に溶剤を近づけないでください。

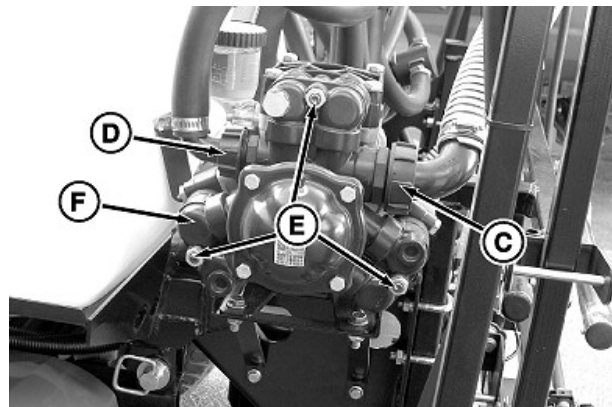
注記： このポンプでは、界面活性剤を含まない高級 SAE 30W オイルが必要です。オイルをお求めの場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

バルブの点検および交換



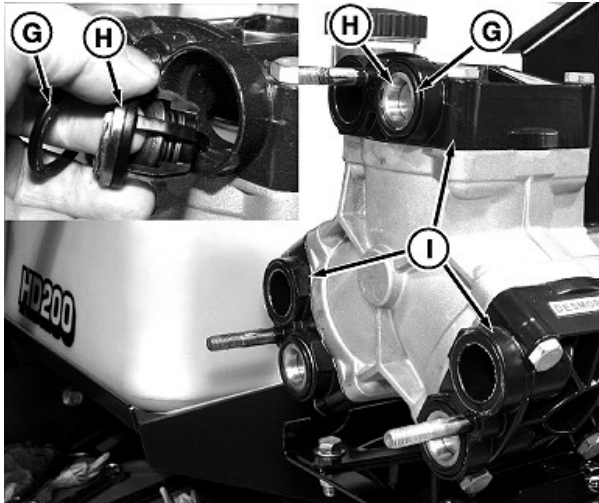
TCT006094—UN—26NOV12

1. タンク内に製品が残っている場合は、タンクのバルブ (A) を閉じます。バルブのハンドルを 180 度回して補助インレット (B) の方向に向けます。
2. 補助インレットのポートから清浄な水でポンプを完全に洗い流します。適切にラベル表示した容器にドレンします。



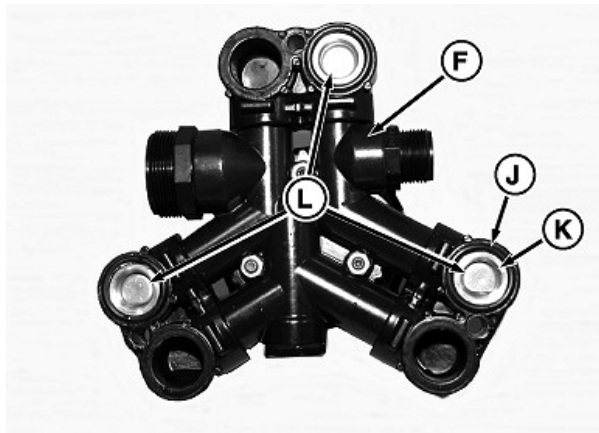
TCT006095—UN—26NOV12

3. ポンプのインレット (C) とアウトレット (D) のエルボナットを緩め、ポンプからホースとエルボアセンブリを取り外します。ホースをポンプから離して固定します。
4. マニホールドアセンブリ (F) をポンプヘッドに固定している 3 個の M10 六角ナット (E) を取り外します。マニホールドアセンブリを取り外します。



TCT006096—UN—26NOV12

5. O リング (G) とチェックバルブアセンブリ (H) をポンプヘッド (I) から取り外します。

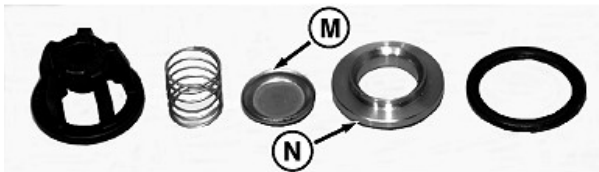


TCT006097—UN—26NOV12

6. O リング (J) とチェックバルブアセンブリ (K) をポンプマニホールド (F) の 3 つの部分 (L) から取り外します。

注記： 分解前の部品の位置を正確に覚えておきます。

7. バルブアセンブリを分解し、損傷やごみの詰まりがないか確認します。



TCT006098—UN—26NOV12

8. バルブの構成部品を清掃します。バルブの斜めのエッジ (M) とバルブシート (N) に摩耗や損傷がないか確認します。
9. バルブの構成部品を組み立てます。バルブスプリングのシートがバルブスプリングに向き合い、バルブシートの斜めのエッジがバルブに向いていることを確認します。

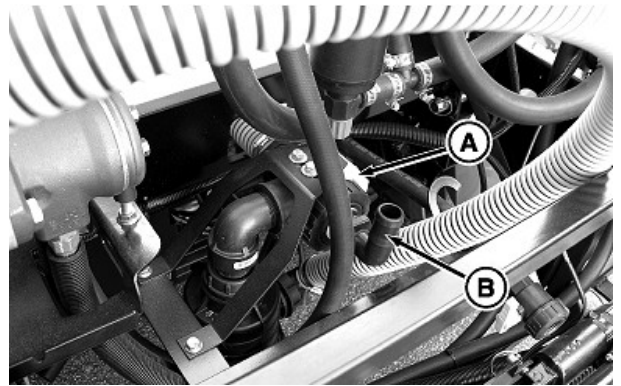
10. 再組立時に確実に保持するために、新しいバルブシールの O リング にグリースを薄く塗布します。

注記： ポンプをさらに分解する必要がある場合は、バルブアセンブリの取り付けは後回しにします。

11. バルブアセンブリをマニホールドとヘッドに取り付けます。
12. マニホールドをポンプヘッドに取り付け、3 個の M10 六角ナットで固定します。留め具を均等に締め付けます。

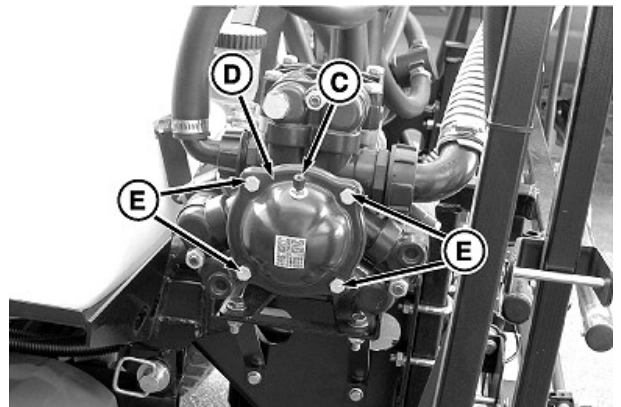
アキュムレータダイアフラムの交換

アキュムレータダイアフラムは、故障が顕著な場合や定期的なメンテナンスに応じて交換する必要があります。アキュムレータダイアフラムの故障は、ポンプ出力圧力のパルスで判断できます。ダイアフラムはポンプを配置したまま交換できます。



TCT006094—UN—26NOV12

1. タンク内に製品が残っている場合は、タンクのバルブ (A) を閉じます。バルブのハンドルを 180 度回して補助インレット (B) の方向に向けます。
2. 補助インレットのポートから清浄な水でポンプを完全に洗い流します。適切にラベル表示した容器にドレンします。



TCT006099—UN—26NOV12

3. エアバルブキャップ (C) を取り外し、アキュムレータのエアチャンバーのキャップ (D) から空気圧を排出します。
4. エアチャンバーのキャップをアキュムレータの

ベースに固定している 4 個の M8 六角ボルト (E) を緩めて取り外します。



TCT006100—UN—26NOV12

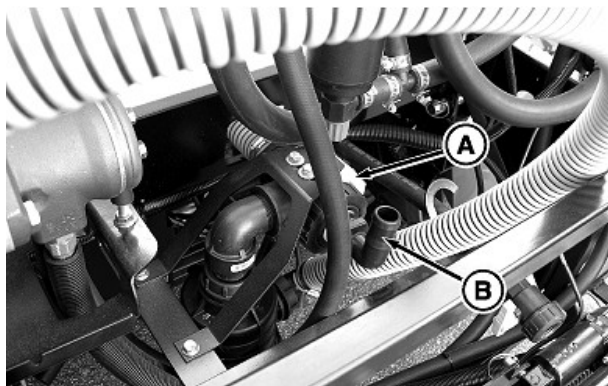
5. キャップとダイアフラム (F) をアキュムレータのベースから取り外します。
6. エアチャンバーのベースのダイアフラムシール面 (G) とキャップが汚れていないことを確認します。
7. 交換したアキュムレータダイアフラムをマニホールド本体に取り付けます。ダイアフラムのエッジが均等に接触していることを確認します。

注記：エアバルブをキャップの上にした状態で、エアチャンバーのキャップをベースに取り付けます。

8. エアチャンバーのキャップをマニホールドに取り付け、4 個の六角ボルトで固定します。
9. ボルトを均等に締め付けます。
10. 予想されるポンプの作動圧力の 20 パーセントまでアキュムレータのエアチャンバーを充填します。

ポンプダイアフラムの交換

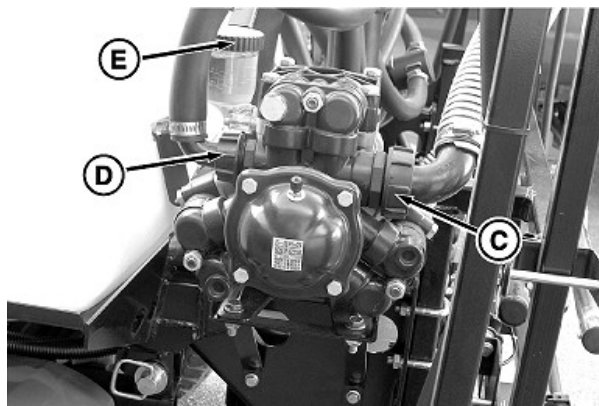
ポンプダイアフラムは、故障が顕著な場合や定期的なメンテナンスに応じて交換する必要があります。ポンプダイアフラムの故障は、ポンプ出力へのオイル漏れやポンプの潤滑油漏れで判断できます。ダイアフラムはポンプを配置したまま交換できます。



TCT006094—UN—26NOV12

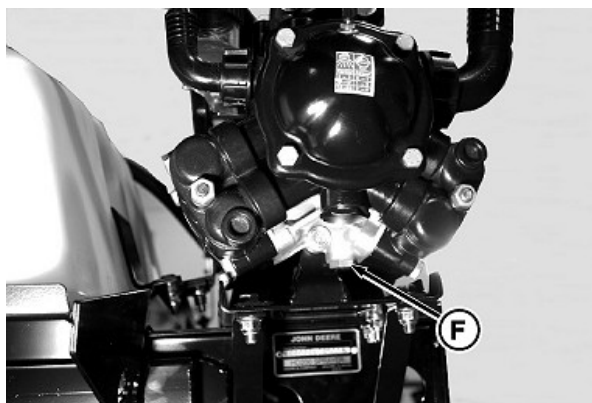
1. タンク内に製品が残っている場合は、タンクのバルブ (A) を閉じます。バルブのハンドルを 180 度回して補助インレット (B) の方向に向けます。
2. 補助インレットのポートから清浄な水でポンプを

完全に洗い流します。適切にラベル表示した容器にドレンします。



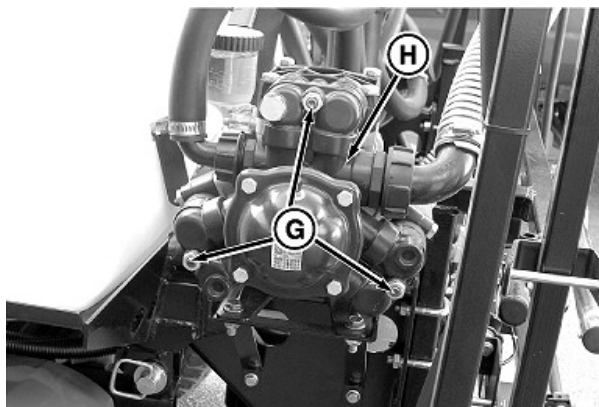
TCT006101—UN—26NOV12

3. ポンプのインレット (C) とアウトレット (D) のエルボナットを緩め、ポンプからホースとエルボアセンブリを取り外します。ホースをポンプから離して固定します。
4. 潤滑油のリザーバキャップ (E) を取り外します。



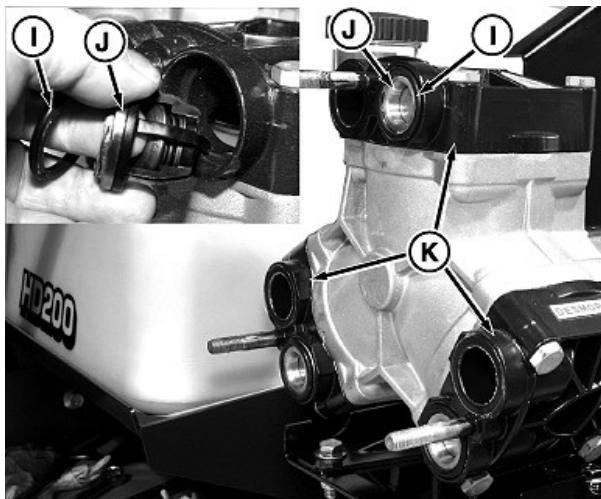
TCT006102—UN—26NOV12

5. ポンプのクランクケースのプラグ (F) を取り外し、オイルを適切な容器にドレンします。クランクシャフトを回してオイルのドレンを促します。



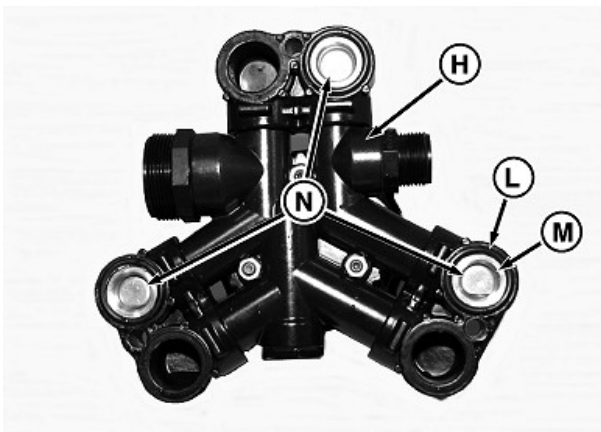
TCT006103—UN—26NOV12

6. ポンプマニホールドアセンブリ (H) をポンプヘッドに固定している 3 個の M10 六角ナット (G) を取り外します。ポンプからマニホールドアセンブリを取り外します。



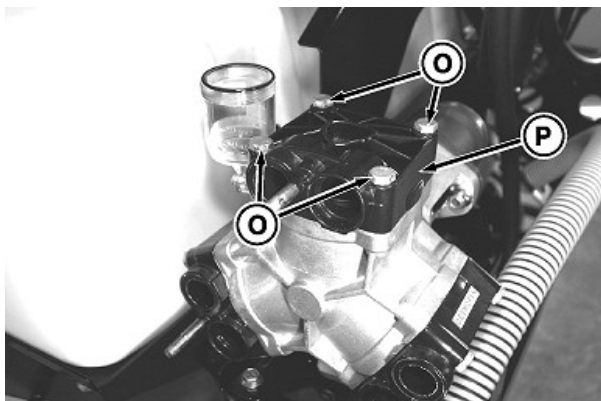
TCT006104—UN—26NOV12

7. O リング (I) とチェックバルブアセンブリ (J) を 3 つのポンプヘッド (K) から取り外します。部品を汚れない場所に置いておきます。



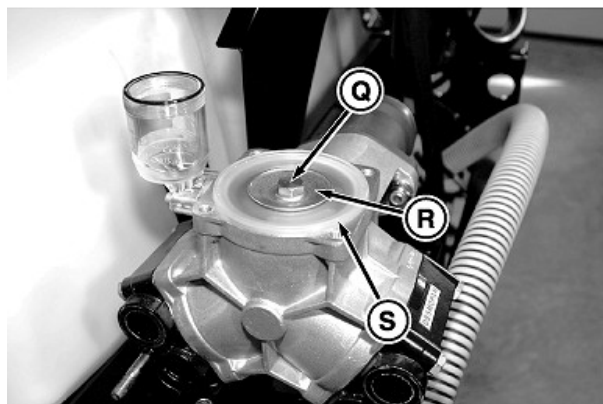
TCT006105—UN—26NOV12

8. O リング (L) とチェックバルブアセンブリ (M) をポンプマニホールド (H) の 3 つの部分 (N) から取り外します。部品を汚れない場所に置いておきます。



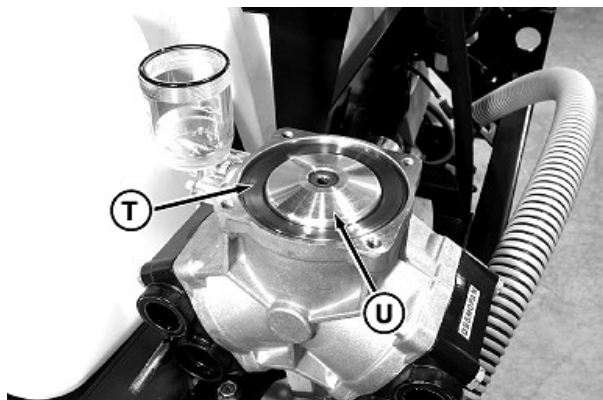
TCT006106—UN—26NOV12

9. ポンプヘッド (P) をポンプ本体に固定している 4 個の M10x55 六角ボルト (O) を取り外します。ヘッドを取り外し、汚れない場所に置いておきます。



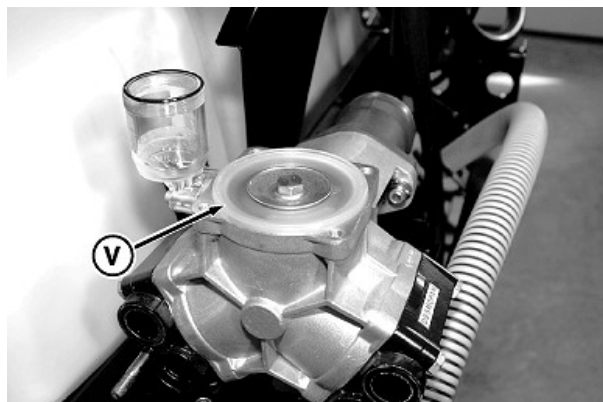
TCT006107—UN—26NOV12

10. ポンプピストンから、M12 ダイアフラム固定ボルト (Q)、支持座金 (R)、およびダイアフラム (S) を取り外します。ボルトと支持座金を保管します。



TCT006108—UN—26NOV12

11. ポンプ本体のダイアフラム設置溝 (T) が汚れていないことを確認します。
12. ポンプのクランクシャフトを回して上部ピストン (U) を上方向の最大ストロークまで動かします。
13. ダイアフラム支持座金と六角ボルトで、交換したダイアフラムをピストンに取り付けます。
14. クランクシャフトを回してダイアフラムの縁をポンプ本体の溝に置きます。ダイアフラムのボルトを締め付けます。



TCT006109—UN—26NOV12

15. ダイアフラムのシール縁 (V) がヘッドの溝に正しく

挿入されていることを確認してヘッドを取り付けます。

16. 4 個の六角ボルトでヘッドをポンプ本体に固定します。ボルトを締め付けます。
17. クランクシャフトを回して次のピストンを上方向の最大ストロークまで動かします。
18. ダイアフラムと固定金具を取り外して交換します。
19. クランクシャフトをさらに回し、ダイアフラムが正しく設置されていることを確認します。ボルトを締め付けます。
20. ダイアフラムの縁がヘッドに合っていることを確認してヘッドを取り付けます。
21. ヘッドをポンプに固定します。
22. 残りのポンプシリンダについてもダイアフラムの取り付け作業を繰り返します。
23. ポンプマニホールドアセンブリを、3 個の六角ボルトで固定してヘッドに取り付けます。ボルトを締め付けます。
24. オイル点検窓のボウルからクランクケースに潤滑油を注入しながら、ポンプを両方向にゆっくり回します。クランクケースに推奨オイルを規定量注入します。点検ボウルのカバーを交換します。
25. 予想されるポンプの作動圧力の 20 パーセントまでアキュムレータのエアチャンバーを充填します。

防寒対策

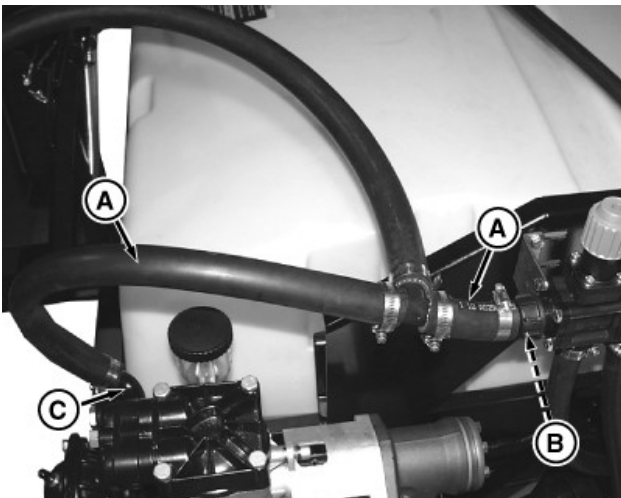
気候条件で凍結のおそれがある場合や越冬保管する場合は、ポンプを RV 不凍液で洗い流す必要があります。洗い流すことにより、凍結で損傷の原因となる水ベースの溶剤をポンプから排出します。

MX00654.0000243-40-07DEC12

1. ホースクランプを緩めて、ホース (A) を取り外します。
2. 機械に付属のホースバープ継手を圧力コントロールマニホールドの端 (B) のねじ付きバープに取り付けます。
3. 90度ホースバープ継手 (C) をダイアフラムポンプに取り付けます。
4. 継手 (B) と (C) の間に流量計を取り付けます。
5. テストが完了したら、継手と流量計を取り外してホース (A) を取り付けます。

MX00654.0000280-40-18DEC12

テスト流量計の取り付け



TCT002193—UN—18DEC12

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用

この表に掲載されていない問題が発生している場合は、整備についてテクニカルマニュアルを参照するか、販売店または他の整備工場にお問い合わせください。

MP47322.00F467B-40-17OCT25

SelectSpray HD200 | HD300

症状	点検
ポンプが作動しない	噴霧器のポンプの油圧ラインの接続が外れている 補助油圧システムに問題がある
ポンプは作動するが、液体が流れない	タンクが空になっている スリーウェイボールバルブが遮断されている インラインストレーナが詰まっている 圧力調整バルブに問題がある ソレノイドバルブに問題がある 噴霧器のワイヤハーネスのヒューズが切れている
ゲージの圧力の読み値が不適切または変動する	タンク内に液体がないまたは液体レベルが低い、圧力チューブに空気がある - システムのエア抜き 電気回路の故障
攪拌機が ON にならない	ボールバルブが開いていない ホースがねじれているか損傷している
攪拌機が停止しない	ボールバルブが閉じていない ボールバルブが故障している
何も作動しない	バッテリーを正しく接続していない 自動リセット回路ブレーカが作動している (噴霧器の電気システムでアースに短絡している)
ブームスイッチが作動しない	15 A ヒューズを点検します。
ブームウィングアクチュエータが作動しない	噴霧器電源ワイヤハーネスの 3 つのヒューズの点検
ブームまたはウィングが水平に安定しない	水平調整用金具が緩んでいるか損失している
ブームウィングが曲がらない	フレキシブルジョイントを潤滑する フレキシブルジョイントのスプリングのテンションが強すぎる
噴霧パターンの不良/不均一	ノズルが用途に合っていない ブームが水平になっていない ブームウィングが水平になっていない ノズルに合ったブーム高さになっていない すべてのノズルの設計がそろっていない 圧力の設定不良
ブームセクションがコントロールパネルのスイッチと対応していない	ブームのホースが適切なソレノイドバルブに接続されていない ブームの電気コネクタが適切なソレノイドバルブに接続されていない
個人用洗浄タンクがドレンしないまたはドレンが遅い	タンク内で栓が詰まっている ホースが詰まっている キャップのベントが詰まっている
マーカースが作動しない	ハーネスのプラグが差し込まれていない 自動リセット回路ブレーカが作動している (噴霧器の電気システムでアースに短絡している) 15 A ヒューズを点検します。
エアポンプは作動するが何も出てこない	液体ポンプが停止しているかブライミングされていない 液体ポンプのチューブが破損している チューブがねじれているか損傷している 液体ポンプのモーターが故障している
何も排出されない	タンクカバーのベントが詰まっている チューブがねじれているか損傷している タンクのアウトレットストレーナが汚れているか詰まっている ニードルバルブが詰まっているか閉じている
ほとんど水しか出ない	チューブがねじれているか損傷している エアポンプが作動していない
泡は出るが非常に水が多い	泡の濃度が低い チューブがねじれているか損傷している 硬水を使用している 液体の圧力が高すぎる エアポンプが作動していないか詰まっている
フォームの品質は良いが量が少ない	ニードルバルブを調整する

トラブルシューティング

症状	点検
フォームが逆側から出る	左右のホースが逆に接続されているか、バルブに電力が供給されていない ソレノイドが固着または損傷している
フォームが両側から出る	ソレノイドが固着または損傷している
ブームウィングがフロートしない	ブレーンホイールのロックングカラーが緩んでいる
ホイールが転がらない	潤滑する
ブームウィングが水平を維持できない	ブレーンホイールのロックングカラーが緩んでいる
ホースリールから容易にホースが出る	テンションブレーキを調整する
ホースリールからホースが出にくい	テンションブレーキを調整する
ホースがリールに合わない	ホースを均一に巻く
ホースがリールからでない	ブレーキがロック位置になっている
輸送中にホースがリールから出る	ブレーキがロック解除の位置になっている
リールが巻き取らない	自動リセット回路ブレーキが作動している (噴霧器の電気系統でアースに短絡している) ソレノイドに問題がある 電気的問題がある
ブームウィングアクチュエータが作動しない	噴霧器電源ワイヤハーネスの 3 つのヒューズの点検

YCWRHFR,1766986555953-40-30DEC25

仕様

HD200

噴霧器タンク容量 757 L (200 gal)
 積荷重量 (総重量) 261 kg (576 lb)
 噴霧器重量 (正味重量) 175 kg (386 lb)
 噴霧器タンクの材質 ポリエチレン

MX00654.0000265-40-13DEC19

オプション機器

フォームマーカー

タンク容量 15 L (4 gal)
 平均フォーム吐出量 12.1 L/min (3.2 gal/min)
 平均溶液使用量 18.1 L/hr (4.8 gal/h)
 平均滴下間隔 7.7 秒
 平均滴下距離、16 km/h (10 mph) 時 34.1 m (112 ft)

接地面ホイール

タイヤ空気圧 206 kPa (2.06 bar) (30 psi)

ホースリール

ホース径 13 mm (1/2 in)
 ホース長 61 m (200 ft)

OUMX068.0000B21-40-16JUL15

ノズル流量

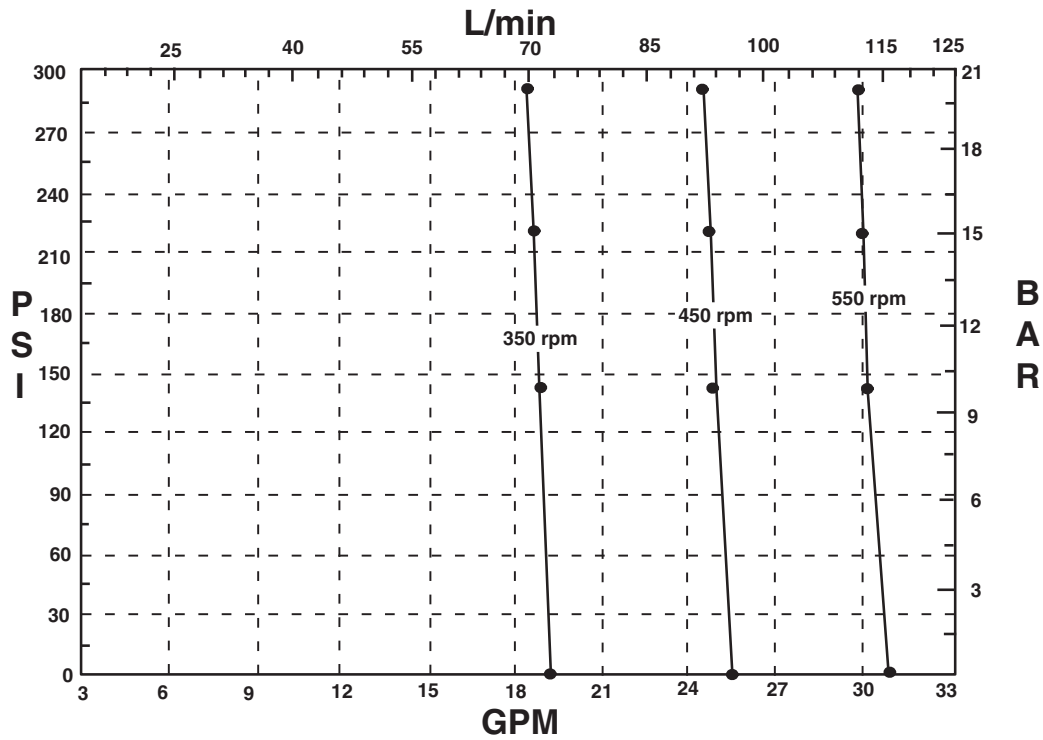
km/h での L/Hectare											
チップの 色	部品番号	圧力 (bar)	流量 (L/ min)	4 km/h	5 km/h	6 km/h	7 km/h	8 km/h	10 km/h	12 km/h	16 km/h
青	チップ - PSULA2003 フィ ラーキャップ - PS90003 ストレーナ - PS310	1.5	0.83	249	119	166	142	125	99.6	83.0	62.3
		2.0	0.96	288	230	192	165	144	115	96.0	72.0
		2.5	1.08	324	259	216	185	162	130	108	81.0
		3.0	1.18	354	283	236	202	177	142	118	88.5
		4.0	1.36	408	326	272	233	204	163	136	102
		5.0	1.52	456	365	304	261	228	182	152	114
		6.0	1.67	501	401	334	286	251	200	167	125
		7.0	1.80	540	432	360	309	270	216	180	135
赤	チップ - PSULA2004 フィ ラーキャップ - PS90004 ストレーナ - PS310	1.5	1.12	336	269	224	192	168	134	112	84.0
		2.0	1.29	387	310	258	221	194	155	129	96.8
		2.5	1.44	432	346	288	247	216	173	144	108
		3.0	1.58	474	379	316	271	237	190	158	119
		4.0	1.82	546	437	364	312	273	218	182	137
		5.0	2.04	612	490	408	350	306	245	204	153
		6.0	2.23	669	535	446	382	335	268	223	167
		7.0	2.41	723	578	482	413	362	289	241	181
茶	チップ - PSULA2005 フィ	1.5	1.39	417	334	278	238	209	167	139	104

仕様

km/h での L/Hectare											
チップの色	部品番号	圧力 (bar)	流量 (L/min)	4 km/h	5 km/h	6 km/h	7 km/h	8 km/h	10 km/h	12 km/h	16 km/h
	ラーキャップ - PS90005 ストレーナ - PS310	2.0	1.61	483	386	322	276	242	193	161	121
		2.5	1.80	540	432	360	309	270	216	180	135
		3.0	1.97	591	473	394	338	296	236	197	148
		4.0	2.27	681	545	454	389	341	272	227	170
		5.0	2.54	762	610	508	435	381	305	254	191
		6.0	2.79	837	670	558	478	419	335	279	209
		7.0	3.01	903	722	602	516	452	361	301	226

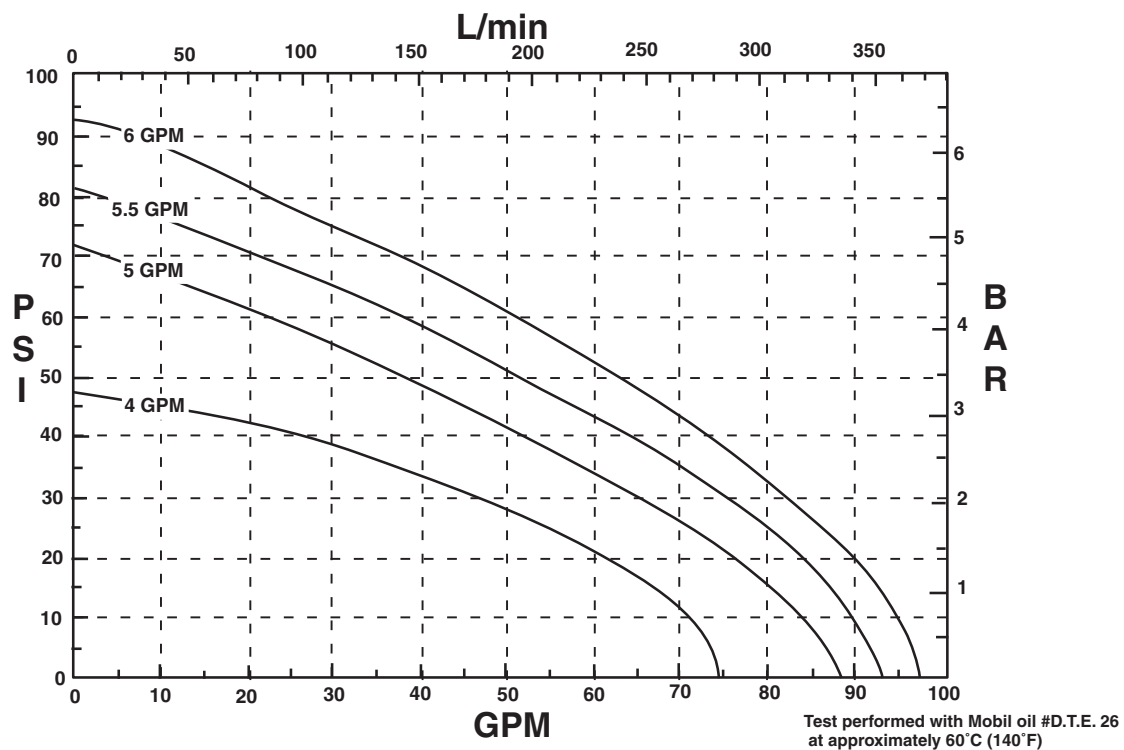
OUO2005,00006A6-40-16OCT18

ダイヤフラムポンプの性能表



TCT004414—UN—07AUG12
MX00654,0000308-40-26APR13

渦巻ポンプ性能表



TCT004413—UN—07AUG12
OUO2005,0000698-40-15NOV18

John Deere 品質に関する声明

John Deere 品質

John Deere の装置は単に購入するものではなく、品質への投資対象です。この品質は装置を越えて John Deere 取扱店の部品や整備サポートに及びます。このサポートはおお客様の満足を維持するうえで必須です。

そのため John Deere は、お客様の質問や問題が発生した場合に対応するプロセスを開始しました。プロセスを進めるうえで以下の 3 つの手順がおお客様の役に立ちます。

手順 1

オペレータマニュアルの参照

- A. 取扱説明書には、お客様の装置の安全で正しい操作に関する多数のイラストおよび詳細情報が記載されています。
- B. トラブルシューティング手順や仕様情報が記載されています。
- C. 部品カタログ、整備、技術マニュアルの注文情報が記載されています。
- D. 取扱説明書で質問の回答が見つからない場合は、手順 2 に進んでください。

手順 2

取扱店にお問い合わせください

- A. John Deere 取扱店は、質問に答え、問題を解決し、お客様の部品や整備のニーズを満たす責任、権限、能力があります。
- B. まず、取扱店の熟練した部品や整備の担当者と質問や問題を話し合ってください。
- C. 部品や整備の担当者がお客様の問題を解決できない場合は、販売店の管理者またはオーナーにお問い合わせください。
- D. 取扱店で質問や問題が解決しない場合は、手順 3 に進んでください。

手順 3

John Deere に問い合わせる

- A. 最寄りの John Deere 取扱店は懸案事項に対応する最も効率的なソースですが、取扱説明書を参照し、取扱店に問い合わせても問題を解決できない場合に、John Deere にお問い合わせください。
- B. 適切で効果的な整備を実施するため、電話をかける前に次の情報を用意してください。
 - 応対した取扱店の名前。
 - お使いの装置のモデル番号。
 - 機械の運転時間 (該当する場合)。
 - このマニュアルの表紙の内側に記録したシリアル番号。
 - アタッチメントの問題の場合は、アタッチメントの識別番号。
- C. 次に、1-800-537-8233 (米国およびカナダ) までお電

話ください。当社のアドバイザーが取扱店と共同で懸案事項を調査します。米国およびカナダ以外の国にお住まいの場合は、以下の Web サイトにアクセスしてご連絡ください：

<https://www.deere.com/en/global-country-selector/>

お住まいの国を選択し、ページの下部にある [Contact Us] のリンクをクリックしてください。

SP66632,00043A7-40-04AUG25

索引

Ｊ

John Deere の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます
 ございます 2
John Deere 品質

い

インラインストレナ、整備 50-4

こ

コントロールボックス、取り付け 15-2

と

トラブルシューティング表 55-1

ふ

ブームウイング、使用 40-16
ブーム高さ、調整 40-17

め

メッセージ 2

ら

ラベル、安全説明文あり 05-2
ラベル、安全説明文なし 06-2

わ

ワイヤハーネス
 後部、接続解除 25-1

漢字

仕様
 オプション機器 60-1
 標準機器 60-1
自動レートコントロール
 校正 40-9
自動比率制御
 構成 40-6
 散布量、プログラミング 40-10
識別番号、記録 00-1
整備関連文書 2
整備部品のオンライン注文 2, 50-1
部品 2, 50-1
噴霧器、清掃 50-2

